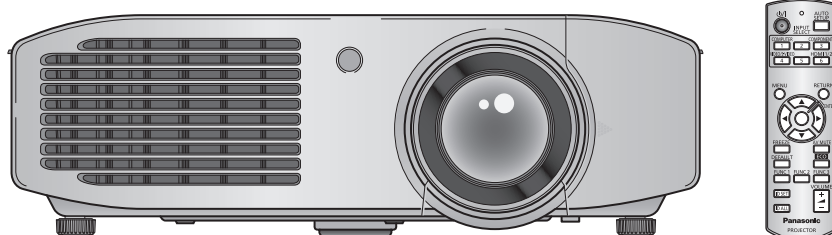
Panasonic®

取扱説明書
詳細編

液晶プロジェクター　業務用

品番　PT-LZ370

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ ご使用の前に“安全上のご注意”（☞6 ～ 9 ページ）を必ずお読みください。
■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

JAPANESE

TQBH0255

商標について

- Microsoft® とそのロゴ、Windows®、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、Safari は、米国およびほかの国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- VGA、XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- SVGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
- RoomView、Crestron RoomView は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
  Crestron Connected は Crestron Electronics, Inc. の商標です。
- オンスクリーンメニューに使用しているフォントの一部は、株式会社リコーが製作･販売した、リコービットマップフォントです。
- Adobe Flash Player は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
  なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

本書内のイラストについて

- プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを（☞00 ページ）のように示しています。

用語について

- 本書では付属品の「ワイヤレスリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本機の特長

自由度の高い設置性

▶2 倍ズームレンズ、レンズシフトの搭載により、自由度の高い設置性を実現しました。

色再現性 / コントラストの向上

▶新ランプ、新光学系の導入により、色再現性、コントラストが向上しました。

部屋の環境への調和

▶部屋の照明環境（明るさ、色）に応じて映像を自動調整するテクノロジーを搭載しました。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(21 ページ)

2. 本機と外部機器を接続する
(27 ページ)

3. 電源コードを接続する
(30 ページ)

4. 電源を入れる
(32 ページ)

5. 初期設定をする *1
(16 ページ)

6. 投写する映像を選択する
(34 ページ)

7. 映像の映り具合を調整する
(☞ 34 ページ)

*1： 本機をご購入後、初めて電源を入れてご使用になる場合に行う手順です。

もくじ

"安全上のご注意"（☞6～9ページ）を必ずお読みください。

安全上のご注意

はじめに

準備

基本的な使い方

調整と設定

点検と部品交換

その他

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

電源について

（異常・故障時には直ちに使用を中止する）

電源プラグを抜く	■ **異常があったときは、電源プラグを抜く** ［**内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音が発生したとき**］ （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。） ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ **電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む** （差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。） ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
	■ **電源プラグのほこりなどは、定期的にとる** （プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。） ⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
	■ **電源コード・プラグが破損するようなことはしない** ［**傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど**］ （傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。） ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない** （たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。）
	■ **付属の電源コード以外は使用しない** （付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。）
ぬれ手禁止	■ **ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない** （感電の原因になります。）
接触禁止	■ **雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない** （感電の原因になります。）

警告（つづき）

ご使用・設置について	
	■ **放熱を妨げない** **［布や紙などの上に置かない（吸気口に吸着する場合があります）、風通しが悪く狭い所に押し込まない］** （内部が高温になり、火災の原因になることがあります。） ⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから 10 cm 以上離して設置してください。
	■ **排気口には手やものを近づけない** **［手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない］** （排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。）
	■ **カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない** （内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。）
	■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない** （火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。）
	■ **荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない** （落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。）
	■ **使用中は投写レンズをのぞかない** （投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。） ⇒ 使用中に本機から離れる場合は主電源を切ってください。 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
	■ **内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない** （ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。） ⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。 ⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
	■ **レンズカバーを取り付けたまま投写しない** （火災の原因になることがあります。）
 分解禁止	■ **分解や改造をしない** （内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。） ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。 警告 高圧注意 サービスマン以外の方はケースをあけないでください。 内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。 「本体に表示した事項」
	■ **天井取り付け（天つり）などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する** （工事の不備により、落下事故の原因となります。）
	■ **当社で指定した天つり金具を使用する** （天つり金具の不備により、落下事故の原因となります。） ⇒ 天つり金具に付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。

警告（つづき）

付属品・消耗品について	
電源プラグを抜く	**■ ランプユニット交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く** （電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電や破裂の原因になります。）
	■ ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う （カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。）
	■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す （そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。）
	■ ランプユニットを分解しない （ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。）
	■ 電池は誤った使い方をしない **● 指定された電池以外は使用しない。** **● 乾電池は充電しない。** **● 加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない。** **● ＋と－を針金などで接続しない。** **● ＋と－を逆に入れない。** **● ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に保管しない。** **● 新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。** **● アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しない。** **● 被覆のはがれた電池は使わない。（電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。）** （液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。）
	■ 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない **［液が目に入ったら目をこすらない］** （失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。） ⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
	■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない （付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。）

注意

電源について

電源プラグを抜く

- **長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
（電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。）
- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**
（感電の原因になることがあります。）

- **電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜く**
（コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。）

ご使用・設置について

- **本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない**
（バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。）
- **異常に温度が高くなる所に置かない**
（外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。）
⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。

- **移動させる場合は、必ず接続線を外す**
（コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。）

付属品・消耗品について

- **ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない**
（散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。）
⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。
⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
- **古いランプユニットは使用しない**
[使用時間を超えたランプユニットは使用しない]
（そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。）
⇒ ランプユニットは消耗部品です。

- **長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す**
（電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。）

お手入れについて

- **1 年に 1 度は、内部の清掃を販売店に依頼する**
（本機の内部にほこりがたまったままで使用を続けると、火災の原因になることがあります。）
⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。
⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

■ 本機に付いている固定テープや保護シートなどの包装材料を取り外してからご使用ください

取り外した包装材料は、適切に処理してください。

本機の運搬について

- 運搬の際は、投写レンズに必ず付属のレンズカバーを取り付けてください。
- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口の近く：使用環境によっては、排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。本機の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- 照明器具(スタジオ用ランプなど)の近くなどの温度変化が激しい場所(“使用環境条件”(☞ 113ページ))：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください

別売品の天つり金具が必要です。
品番：ET-PKA110H（高天井用）、ET-PKA110S（低天井用）

■ レンズフォーカスに関して

高輝度プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。レンズフォーカスの調整は、映像を映した状態で 30 分以上待ってから行ってください。

■ 海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満でご使用の際は、[高地モード] を必ず [オン] に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

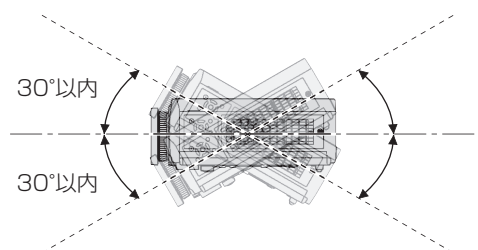
■ 海抜 1 400 m 未満でご使用の際は、[高地モード] を必ず [オフ] に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海抜 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

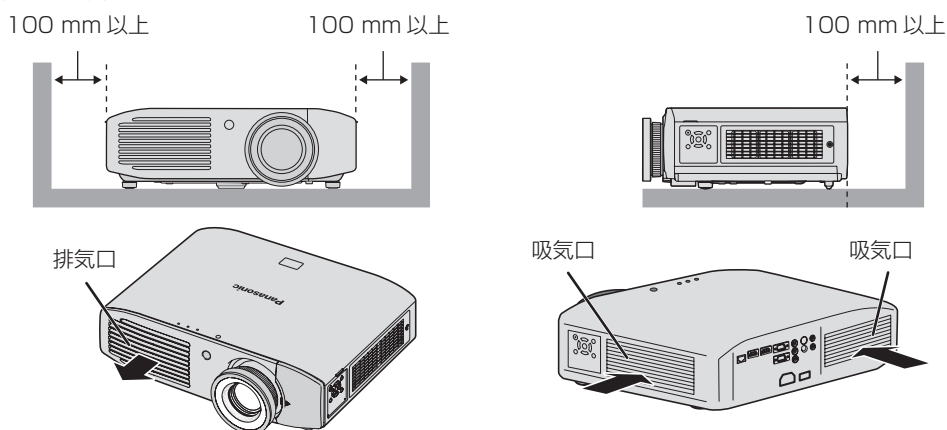
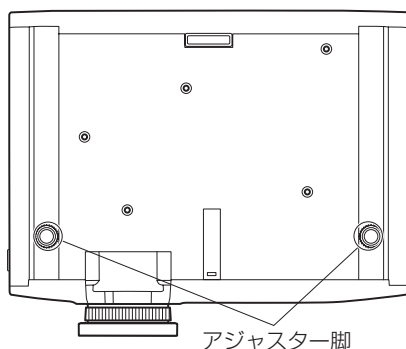
■ 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください

本機を上下方向に± 30°以上立てたり、左右方向に± 10°以上傾けたりして使用しないでください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。

■ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁や物から 10 cm 以上離して設置してください

■ 静電気が多く発生するような場所でのプロジェクターの使用は、できるだけしないでください

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でプロジェクターを使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。
  その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。
  このような場合は、リモコン、または本体操作部の電源〈⏻/｜〉ボタンで、プロジェクターの電源をいったん切ってください。
  冷却ファンが停止したあと（本体の電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R）〉がオレンジ色の点灯から赤色に点灯または点滅したあと）に電源を入れ、再度 LAN 接続処理を行ってください。

■ 設置上のご注意

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置してください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。

- 本機を密閉した空間に設置しないでください。
  密閉した空間での設置が必要な場合は、別途、空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。
- アジャスター脚は、床置き設置およびその際の角度調整にのみ使用してください。それ以外の用途で使用すると、本機が破損するおそれがあります。

セキュリティーに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティー対策を十分に行ってください。（☞ 70 ページ）

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。
ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

■ 美しい映像をご覧いただくために

- より高いコントラストで美しい映像をご覧いただくには、適切な環境を整えてください。スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消してください。
- 使用環境によっては、排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風･冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。
  本機の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■ 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。また､本機を使用しないときは､付属のレンズカバーを取り付けておいてください。

■ 液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合があります。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 光学部品について

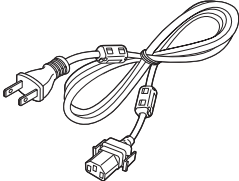
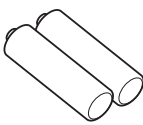
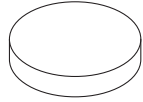
ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、たばこなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏向板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い高圧水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記のような特性があります。

- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。特に 12 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の切 / 入の繰り返しは、ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期が来たらランプユニットを交換してください。（ランプユニットの交換時期（☞ 98 ページ）、ランプユニットの交換手順（☞ 98 ページ））
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用ランプユニットをご用意ください。

<当製品に関するソフトウェア情報>

この製品は、下記のソフトウェアを搭載しております。
（1）パナソニック株式会社の独自開発ソフトウェア
（2）GNU GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェア
（3）GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェア
（2）と（3）のソフトウェアに関するライセンス条件に関しては、CD-ROM 内のソフトウェアライセンス文（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE 並びに GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）の規定をご参照ください。（なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文（英文）で記載しております。）
これらのソフトウェアに関するご質問は、E メール（sav.pj.gpl.pavc@ml.jp.panasonic.com）でお問い合わせください。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。< >は個数です。

ワイヤレスリモコン <1> （N2QAYB000696）	電源コード <1> （TXFSX02VKQ4）	CD-ROM<1> （TXFQB02VKQ4）
単 3 乾電池 <2>	レンズカバー <1> （TEEC5524）	
（リモコン用）	（お買い上げ時は、製品本体に装着されています。）	

お 願 い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。
- レンズカバーは適切に保管してください。
  レンズカバーは、投写レンズ面にごみや汚れがつくのを保護します。
  本機を使用しないときは、付属のレンズカバーを取り付けておいてください。

■CD-ROMの内容について

付属品のCD-ROMには、以下の内容が収録されています。

説明書 / 一覧表（PDF）	ソフトウェア
●**取扱説明書 詳細編** ●**複数台プロジェクター 監視制御ソフトウェア 操作説明書** ●**ロゴ転送ソフトウェア 操作説明書** ●**対応プロジェクター機種一覧表** – CD-ROMに収録されているソフトウェアに対応するプロジェクターの機種、および制約事項の一覧です。 ●**ソフトウェアライセンス文** （GNU GENERAL PUBLIC LICENSE、GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）	●**複数台プロジェクター 監視制御ソフトウェア（Windows）** – LAN接続された複数台のプロジェクターを監視・制御するソフトウェアです。 ●**ロゴ転送ソフトウェア（Windows）** – スタート時に投影する会社ロゴマークなどユーザー独自の画像をプロジェクターに転送するソフトウェアです。

別売品

別売品（品名）	品番
天つり金具	ET-PKA110H（高天井用）、ET-PKA110S（低天井用）
交換用ランプユニット	ET-LAA110

はじめにお読みください

本機をご購入後はじめて電源を入れたとき、および［全設定初期化］（☞ 69 ページ）を実行した場合、初期設定（INITIAL SETTING）の画面が表示されます。ご使用になる場合や状況に応じて設定してください。
それ以外の場合でも、メニュー操作で設定を変更できます。

お知らせ

● 初回使用の際は、メニュー画面をはっきり表示させるため、本体前面のズームリング、フォーカスリングでの調整が必要になる場合があります。
詳しくは“映像の映り具合を調整する”（☞ 34 ページ）をご覧ください。

■初期設定（表示言語）

オンスクリーンに表示させる言語を選択してください。（☞ 56 ページ）

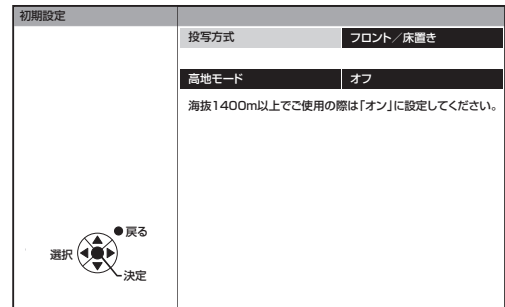
1）▲▼◀▶ボタンで表示言語を選ぶ

2）〈ENTER〉ボタンを押し、次の初期設定を行う

■初期設定（本体設定）

［投写方式］、［高地モード］で項目内の選択をしてください。

1）▲▼ボタンで項目を選ぶ

2）◀▶ボタンで設定を切り換える

● ［投写方式］（☞ 62 ページ）

［フロント／床置き］	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
［フロント／天つり］	スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合
［リア／床置き］	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合
［リア／天つり］	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

● ［高地モード］（☞ 62 ページ）

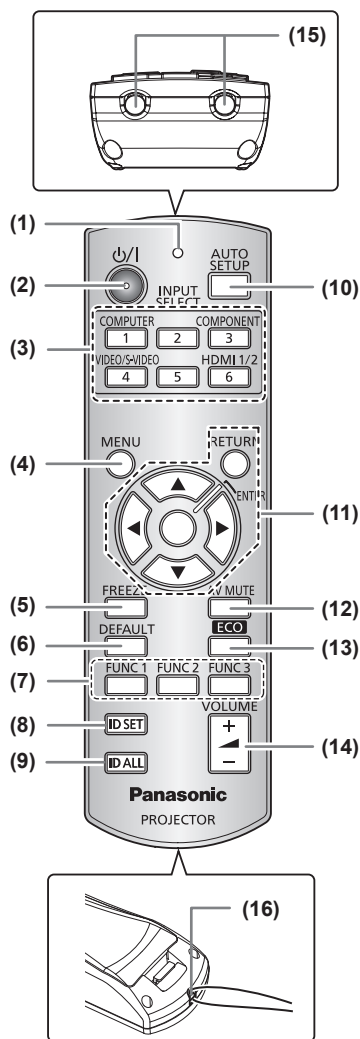
［オフ］	通常の環境（海抜 1 400 m 未満）で使用する場合
［オン］	高地（海抜 1 400 m 以上～2 700 m 未満）で使用する場合

3）〈ENTER〉ボタンを押すと初期設定が終了する

お知らせ

● 初期設定（本体設定）の画面で〈RETURN〉ボタンを押すと、初期設定（表示言語）の画面に戻ることができます。

各部の名称とはたらき

リモコン

(1) リモコン操作表示ランプ
リモコンのボタンを押すと点滅します。

(2) 電源〈⏻/|〉ボタン
本体の主電源〈MAIN POWER〉スイッチが〈ON〉側で投写状態のとき、本機の電源を切った状態（スタンバイ状態）にします。また、電源が切れている状態（スタンバイ状態）のとき、本機を投写状態にします。

(3) 入力切換（〈COMPUTER〉、〈COMPONENT〉、〈VIDEO/S-VIDEO〉、〈HDMI 1/2〉）ボタン
投写する入力信号を切り換えます。(☞ 36 ページ)
また、リモコンの ID ナンバーおよびセキュリティーパスワードを設定する場合に使用します。(☞ 20 ページ)

(4)〈MENU〉ボタン
メインメニューを表示します。(☞ 39 ページ)

(5)〈FREEZE〉ボタン
映像を一時的に静止し、音声を消したい場合に使用します。(☞ 36 ページ)

(6)〈DEFAULT〉ボタン
サブメニューの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。(☞ 40 ページ)

(7)〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタン
よく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用します。(☞ 37 ページ)

(8)〈ID SET〉ボタン
本体を複数台使用するシステム時、リモコンの ID ナンバーを設定する場合に使用します。(☞ 20 ページ)

(9)〈ID ALL〉ボタン
本体を複数台使用するシステム時、1 つのリモコンで同時制御する場合に使用します。(☞ 20 ページ)

(10)〈AUTO SETUP〉ボタン
コンピューター信号入力時に［シフト］、［ドットクロック］、［クロックフェーズ］を自動補正できます。

(11) ▲▼◀▶ボタン /〈RETURN〉ボタン /〈ENTER〉ボタン
メニュー画面の操作に使用します。
また、［セキュリティー］のパスワード入力や文字の入力にも使用します。

(12)〈AV MUTE〉ボタン
映像と音声を一時的に消したい場合に使用します。(☞ 36 ページ)

(13)〈ECO〉ボタン
ECO マネージメントに関する設定画面を表示します。(☞ 37 ページ)

(14)〈VOLUME +〉/〈VOLUME −〉ボタン
音声出力の音量を調整します。(☞ 38 ページ)

(15) リモコン発信部

(16) ストラップ穴
使用状況に合わせてストラップを取り付けることができます。

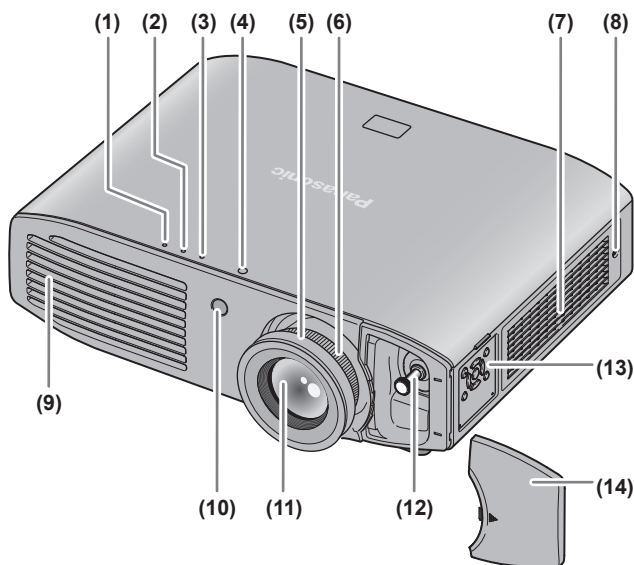
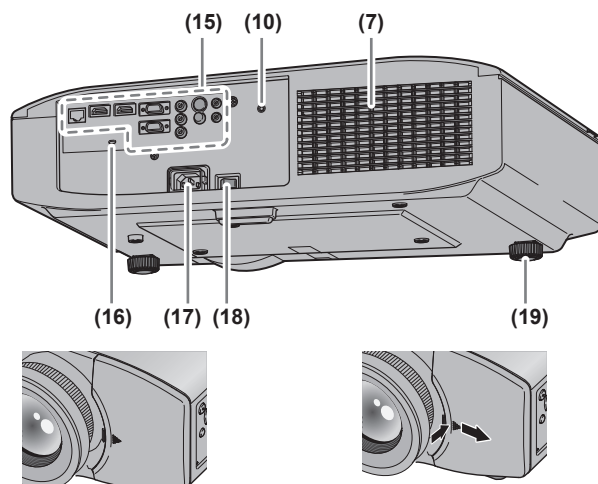
お 願 い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコンにストラップを取り付けた場合、ストラップを持って振り回さないでください。

お知らせ

- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 15 m 以内で操作してください。また、上下に± 15°と左右に± 30°まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号を、スクリーンに反射させて本機を操作できます。しかし、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- 本体のリモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たっていると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

本体

■前面・天面・側面

■後面・底面

レンズシフトカバーを取り付けた状態

レンズシフトカバーの取り外しかた
レンズシフトカバーを押しながらスライドさせ、取り外します。

警告

■排気口には手やものを近づけない

- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気口からは熱風がでているため、やけど·けが·変形の原因になります。

(1) 電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R）〉
電源の状態を表示します。

(2) ランプインジケーター〈LAMP〉
ランプの状態を表示します。

(3) 温度インジケーター〈TEMP〉
内部温度またはエアーフィルターユニットの状態を表示します。

(4) カラーセンサー受光窓
部屋の明るさや色を検知します。

(5) フォーカスリング
フォーカスを調整します。

(6) ズームリング
ズームを調整します。

(7) 吸気口

(8) エアーフィルターカバー
内部にエアーフィルターユニットがあります。
（☞ 93 ページ）

(9) 排気口

(10) リモコン受信部

(11) 投写レンズ

(12) レンズシフトレバー
レンズシフトを調整します。

(13) 本体操作部（☞ 19 ページ）

(14) レンズシフトカバー

(15) 接続端子部（☞ 19 ページ）

(16) セキュリティースロット
このセキュリティースロットは、Kensington 社製セキュリティーケーブルに対応しています。
Kensington 社製セキュリティーケーブルについてのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

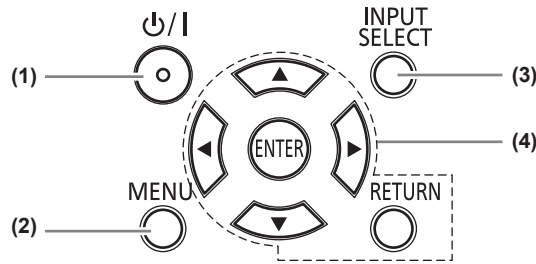
> **七陽商事株式会社　情報機器事業部**
> **〒 103-0007**
> **東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル**
> **Tel：03-3663-7740**
> **Fax：03-3669-2367**
> **http://www.nanayojapan.co.jp/**
> ●連絡先は変更される場合があります。ご了承ください。

(17)〈AC IN〉端子
付属の電源コードを接続します。

(18) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチ
主電源を切 / 入します。

(19) アジャスター脚
投写角度を調整します。

お 願 い

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。

はじめに

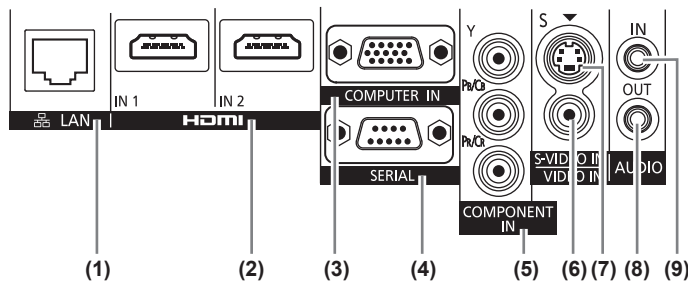
■本体操作部

(1) 電源〈⏻/|〉ボタン
本体の主電源〈MAIN POWER〉スイッチが〈ON〉側で投写状態のとき、本機の電源を切った状態（スタンバイ状態）にします。また、電源が切れている状態（スタンバイ状態）のとき、本機を投写状態にします。

(2)〈MENU〉ボタン
メインメニューを表示します。

(3)〈INPUT SELECT〉ボタン
投写する入力信号を切り換えます。（☞ 36 ページ）

(4) ▲▼◀▶選択ボタン /〈RETURN〉ボタン /〈ENTER〉ボタン
メニュー画面の操作に使用します。
また、［セキュリティー］のパスワード入力や文字の入力にも使用します。

■接続端子部

(1)〈LAN〉端子
ネットワーク接続する端子です。

(2)〈HDMI IN 1〉/〈HDMI IN 2〉端子
HDMI 信号を入力する端子です。

(3)〈COMPUTER IN〉端子
コンピューターからの RGB 信号または YC_BC_R/YP_BP_R 信号を入力する端子です。

(4)〈SERIAL〉端子
コンピューターを接続して本体を外部制御するための RS-232C 準拠の端子です。

(5)〈COMPONENT IN〉端子
YC_BC_R 信号または YP_BP_R 信号を入力する端子です。

(6)〈VIDEO IN〉端子
ビデオ信号を入力する端子です。

(7)〈S-VIDEO IN〉端子
S ビデオ信号を入力する端子です。

(8)〈AUDIO OUT〉端子
本機に入力された音声信号を出力する端子です。

(9)〈AUDIO IN〉端子
音声信号を入力する端子です。

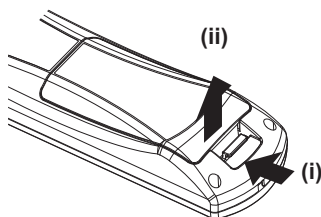
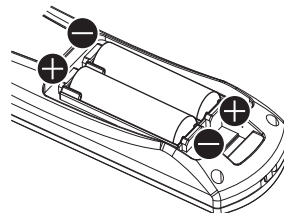
お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

はじめに

リモコンの使い方

電池を入れる、取り出す

1) ふたを開ける

2) 電池を入れ、ふたを閉じる（⊖側から先に入れます）

● 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

リモコンの ID ナンバーを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々の ID ナンバーを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。
本体の ID ナンバーを設定したあと、同じ ID ナンバーをリモコンに指定してください。
本機の ID ナンバーは、工場出荷時、[オール] に設定されています。1 台だけでご使用の場合は、リモコンの〈ID ALL〉ボタンを押してください。また、本体の ID がわからない場合でも、リモコンの〈ID ALL〉ボタンを押せば制御できます。

■設定方法

1) リモコンの〈ID SET〉ボタンを押す

2) 5 秒以内に、本体側で設定した 1 桁の ID ナンバーを、数字（〈1〉～〈6〉）ボタンを押して設定する
- 〈ID ALL〉ボタンを押した場合は、本体の ID ナンバー設定に関係なく制御できます。

お願い

- リモコンの ID ナンバー指定は、本体がなくても可能なため、〈ID SET〉ボタンは不用意に押さないでください。〈ID SET〉ボタンを押した場合は、5 秒以内に数字（〈1〉～〈6〉）ボタンを押さないと〈ID SET〉ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと消去されます。乾電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。

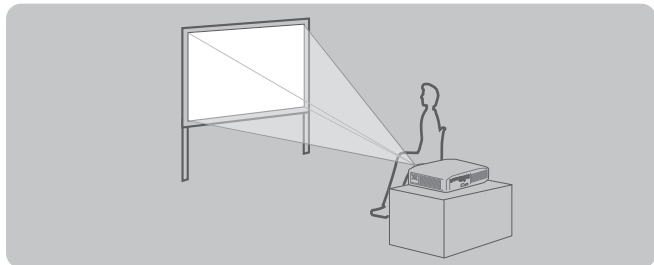
お知らせ

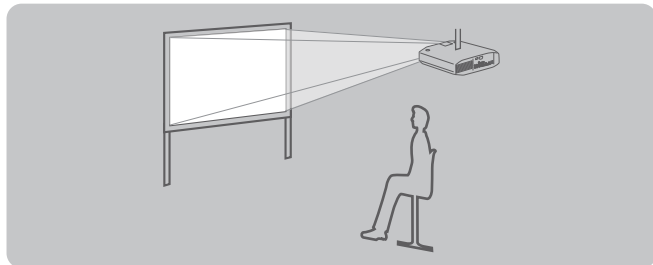
- 本体の ID ナンバーは、メニューの［プロジェクター設定］→［プロジェクター ID］（☞ 61 ページ）で設定してください。

設置する

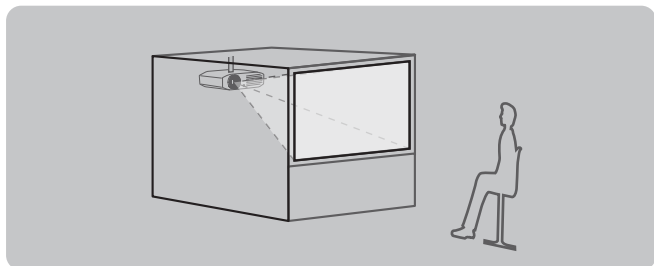
投写方式

本機は、４通りの投写方式が選択できます。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

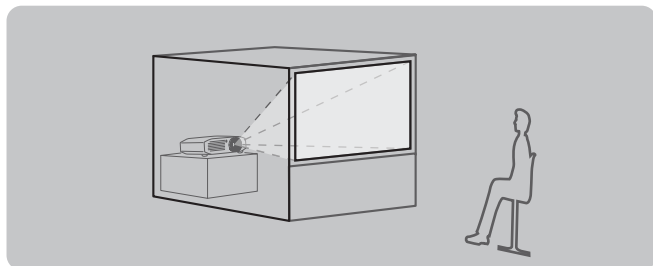
■床置き設置で前方に投写する場合

メニュー項目 *1	設定値
[投写方式]	[フロント／床置き]

■天つり設置で前方に投写する場合

メニュー項目 *1	設定値
[投写方式]	[フロント／天つり]

■天つり設置で後方から投写する場合

（透過式スクリーン使用）

メニュー項目 *1	設定値
[投写方式]	[リア／天つり]

■床置き設置で後方から投写する場合

（透過式スクリーン使用）

メニュー項目 *1	設定値
[投写方式]	[リア／床置き]

*1： メニュー項目の詳細については、メニューの［プロジェクター設定］→［投写方式］（☞ 62 ページ）でご確認ください。

設置オプションについて（別売品）

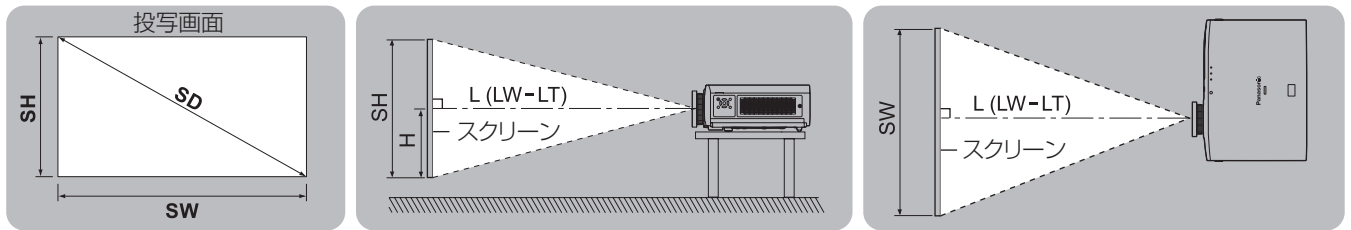
別売品の天つり金具（品番：ET-PKA110H（高天井用）、ET-PKA110S（低天井用）を取り付けて設置できます。
- 必ず、本機専用の天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、天つり金具の工事説明書をご覧ください。

お 願 い

- 天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門の技術者に施工を依頼してください。

準備

投写関係

本機の設置は、下図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整できます。

L（LW/LT）*1	投写距離（m）
SH	画像高さ（m）
SW	画像幅（m）
H	レンズセンターから画像下端までの距離（m）
SD	画面対角サイズ（m）

*1： LW：最短投写距離
LT：最長投写距離

■投写距離

●画面アスペクト 16：9 のとき

（下記の表の寸法は若干の誤差があります。）

（単位：m）

画面対角サイズ（SD）	投写距離（L）		レンズセンターから画像下端までの距離（H）
	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）	
40 型 （1.02）	1.11	2.29	–0.08 ～ 0.58
50 型 （1.27）	1.41	2.87	–0.09 ～ 0.71
60 型 （1.52）	1.70	3.46	–0.11 ～ 0.86
70 型 （1.78）	1.99	4.04	–0.13 ～ 1.00
80 型 （2.03）	2.28	4.62	–0.15 ～ 1.15
90 型 （2.29）	2.57	5.21	–0.17 ～ 1.29
100 型 （2.54）	2.87	5.79	–0.19 ～ 1.44
120 型 （3.05）	3.45	6.96	–0.22 ～ 1.71
150 型 （3.81）	4.33	8.70	–0.28 ～ 2.15
200 型 （5.08）	5.79	11.62	–0.37 ～ 2.86
250 型 （6.35）	7.25	14.53	–0.47 ～ 3.58
300 型 （7.62）	8.71	17.45	–0.56 ～ 4.30

●画面アスペクト４：３のとき
（下記の表の寸法は若干の誤差があります。）

（単位：m）

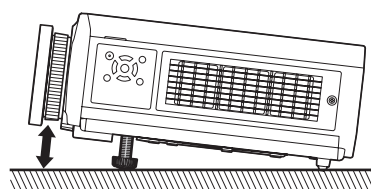
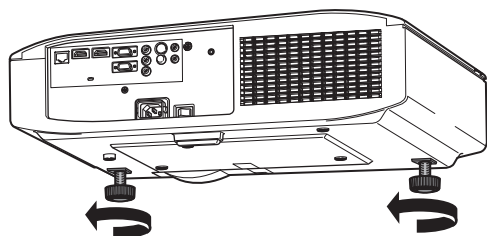
画面対角サイズ（SD）	投写距離（L）		レンズセンターから画像下端までの距離（H）
	最短投写距離（LW）	最長投写距離（LT）	
40 型　（1.02）	1.38	2.82	–0.02 ～ 0.63
50 型　（1.27）	1.74	3.53	–0.02 ～ 0.78
60 型　（1.52）	2.10	4.25	–0.03 ～ 0.94
70 型　（1.78）	2.45	4.96	–0.03 ～ 1.10
80 型　（2.03）	2.81	5.67	–0.04 ～ 1.26
90 型　（2.29）	3.17	6.39	–0.04 ～ 1.41
100 型　（2.54）	3.53	7.10	–0.05 ～ 1.57
120 型　（3.05）	4.24	8.53	–0.05 ～ 1.88
150 型　（3.81）	5.32	10.67	–0.07 ～ 2.36
200 型　（5.08）	7.11	14.24	–0.09 ～ 3.14
250 型　（6.35）	8.90	17.81	–0.12 ～ 3.93
300 型　（7.62）	10.69	21.38	–0.15 ～ 4.72

■投写距離計算式

投写寸法を、投写画面サイズ SD（m）より下記の計算式で求めることができます。
式の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）

	画面アスペクト 16：9	画面アスペクト４：３
投写画面サイズ　高さ（SH）	= SD × 0.490	= SD × 0.6
投写画面サイズ　幅（SW）	= SD × 0.872	= SD × 0.8
最短投写距離（LW）	= 1.1503 × SD − 0.056	= 1.4098 × SD − 0.053
最長投写距離（LT）	= 2.2951 × SD − 0.041	= 2.8106 × SD − 0.037

アジャスター脚の調整

投写画面が長方形になるよう、プロジェクターは、その前面がスクリーン面と平行になるように水平な場所に設置してください。
スクリーンが下向きに傾いている場合は、投写画面が長方形になるように、アジャスター脚を伸ばすことで調整します。プロジェクターが水平方向に傾いている場合も、アジャスター脚で水平になるように調整します。
図のようにアジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。

調整可能量
アジャスター脚:16 mm

お 願 い

● 排気口から熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、排気口に直接手を触れないでください。
（☞ 18 ページ）

お知らせ

● アジャスター脚は、締めつけ方向に回してカチッと音がするまで回すと、締めつけが完了します。

準備

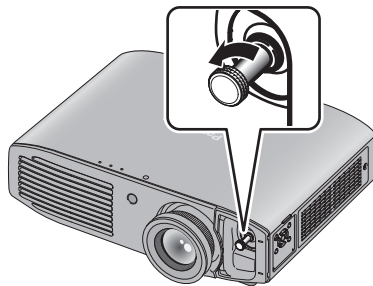
レンズシフト機能によるレンズ位置調整

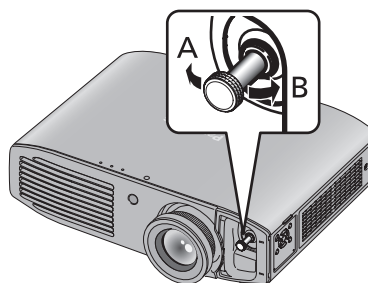
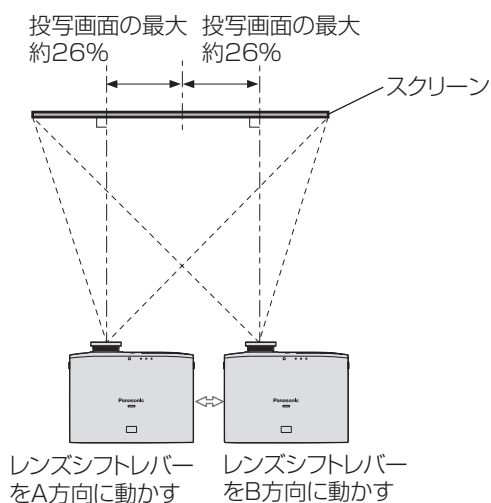
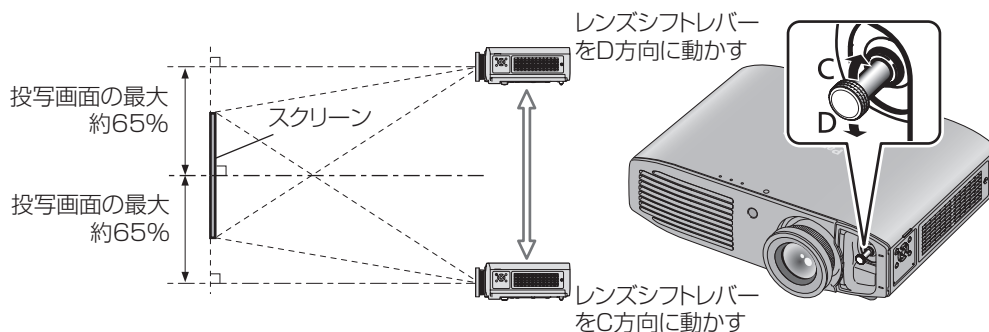
本機をスクリーン正面に設置できない場合は、レンズシフト機能を使い、投写画面がスクリーン位置に合うように調整してください。

■レンズシフトの調整方法

1) レンズシフトカバーを取り外す

- レンズシフトカバーの取り外しかたについては、“レンズシフトカバーの取り外しかた”（☞ 18 ページ）をご覧ください。

2) レンズシフトレバーを反時計方向に回し、固定を解除する

3) レンズシフトレバーを動かして調整する

- 水平位置を調整の場合、レンズシフトレバーを左右に動かして調整してください。

- 垂直位置を調整の場合、レンズシフトレバーを上下に動かして調整してください。

お願い

- レンズシフトレバーは無理に動かさないでください。無理に動かすと、故障の原因になります。

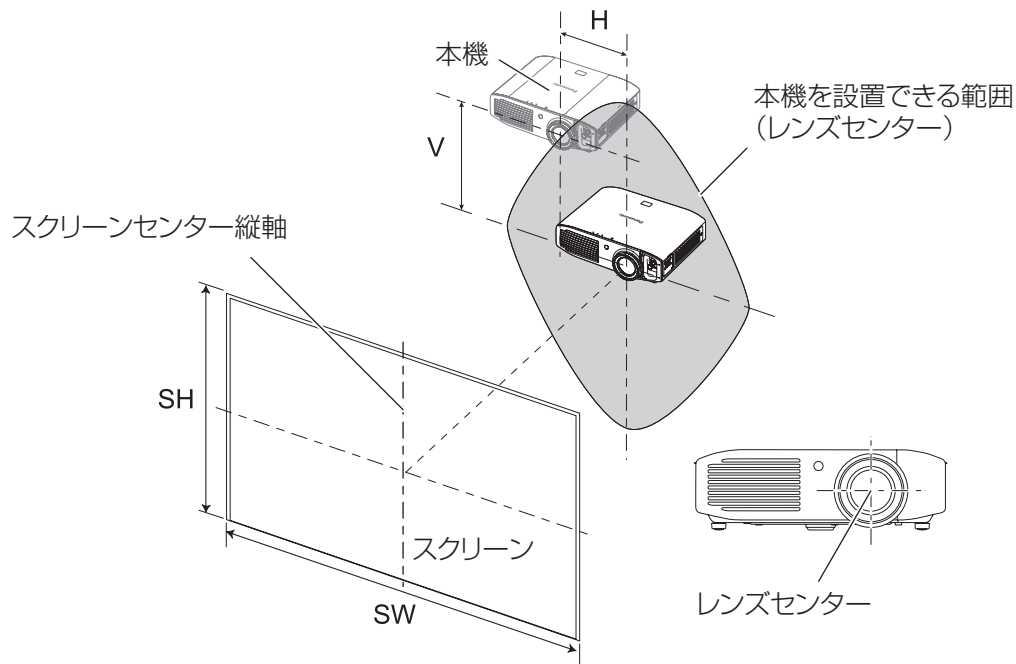
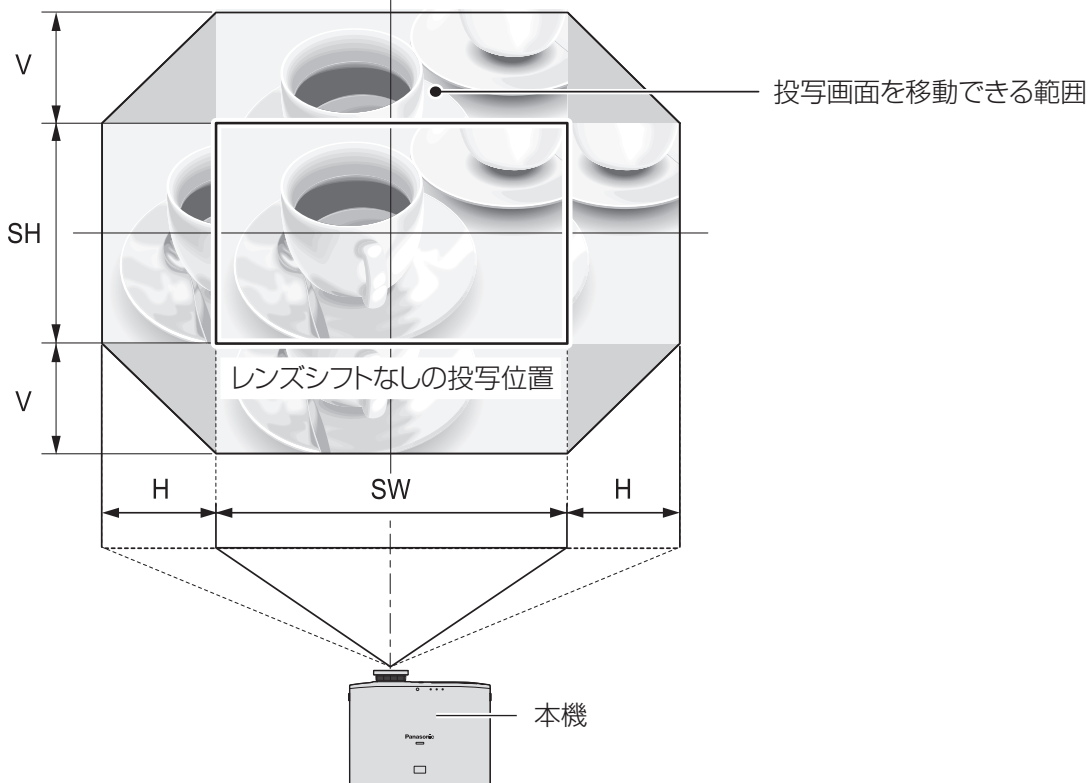
準備

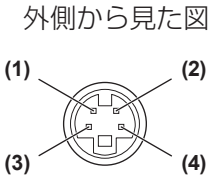
4）レンズシフトレバーを時計方向に回し、固定する

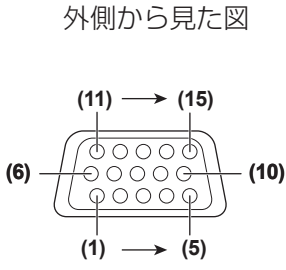
5）レンズシフトカバーを取り付ける

■レンズシフト機能による調整範囲

下記の範囲で設置位置を調整できます。
投写画面の高さ（SH）、幅（SW）については、“投写関係”（☞ 22 ページ）を参照してください。

●スクリーンを基準とした場合の、本機を設置できる範囲

●本体を基準とした場合の、投写画面を移動できる範囲

シフト方向	調整できる最大範囲
水平方向（H）	投写画面幅（SW）の左右約 26%
垂直方向（V）	投写画面高さ（SH）の上下約 65%

お知らせ

- 本機をスクリーン正面に設置し、レンズシフトレバーを中央部に調整すると最良の画面が得られます。
- 左または右方向へ最大にレンズシフトした場合は、上下方向には最大までレンズシフトできません。同様に、上または下方向へ最大にレンズシフトした場合は、左右方向には最大までレンズシフトできません。
- 調整範囲外へレンズ位置を移動すると、フォーカスが変化する場合がありますのでご注意ください。このような動作になるのは、光学部品の保護のためにレンズの移動を規制しているためです。
- レンズシフト機能だけで投写画面をスクリーン位置に合わせることができない場合は、アジャスター脚による投写角度の調整（☞ 23 ページ）を行ったうえで、メニューの［位置調整］→［台形補正］（☞ 51 ページ）で台形ひずみを補正してください。

接続する

接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、S ビデオ信号、アナログ RGB 信号（同期信号は TTL レベル）、および デジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 本機が投写できる映像信号については“対応信号リスト”（☞ 110 ページ）をご覧ください。

■〈S-VIDEO IN〉端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名
(1)	GND（輝度信号）
(2)	GND（色信号）
(3)	輝度信号
(4)	色信号

■〈COMPUTER IN〉端子のピン配列と信号名

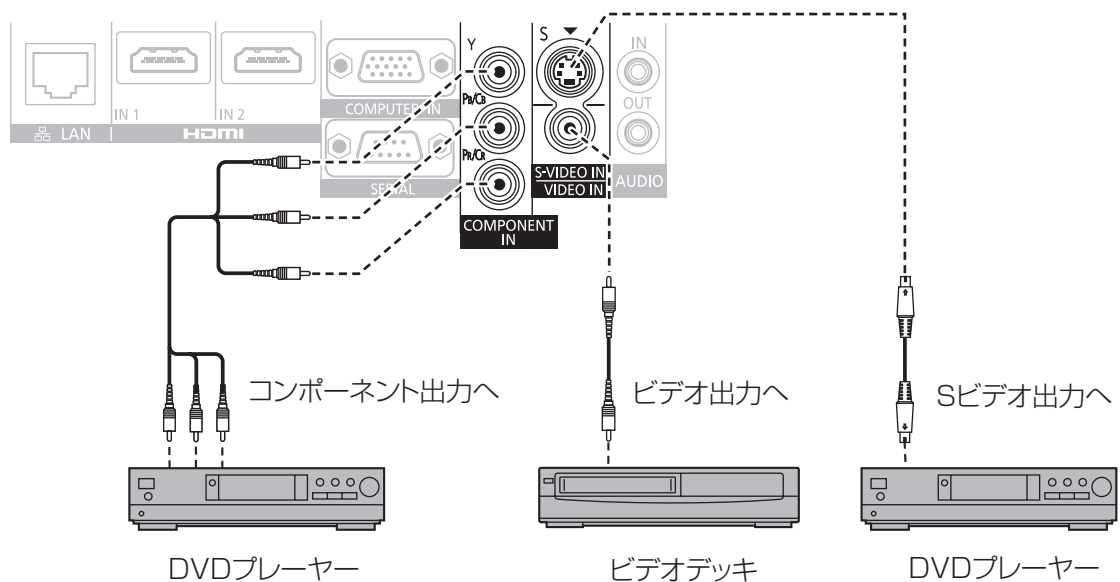
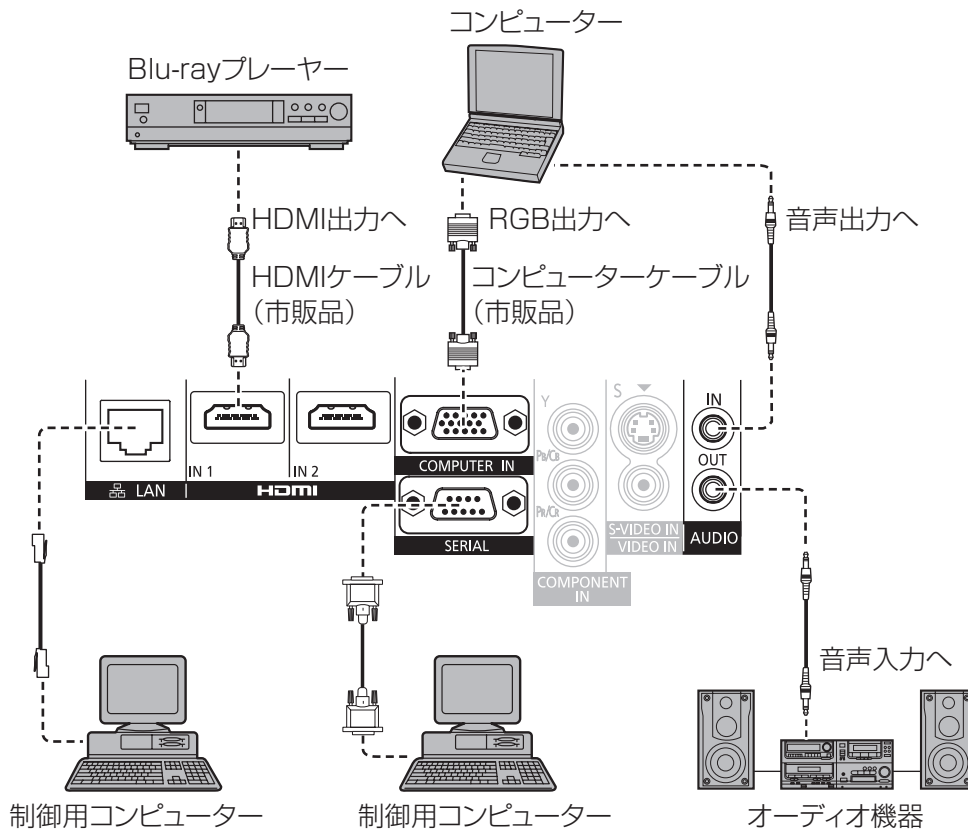
ピン No.	信号名
(1)	R/P_R
(2)	G/G・SYNC/Y
(3)	B/P_B
(12)	DDC データ
(13)	HD/SYNC
(14)	VD
(15)	DDC クロック

(4)、**(9)** は未使用です。
(5) ～ **(8)**、**(10)**、**(11)** は GND 端子です。

■〈HDMI IN 1〉/〈HDMI IN 2〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
	(1)	T.M.D.S データ 2 ＋	(11)	T.M.D.S クロックシールド
	(2)	T.M.D.S データ 2 シールド	(12)	T.M.D.S クロック－
(2) ～ (18) の偶数ピン	(3)	T.M.D.S データ 2 －	(13)	CEC
(2) → (18)	(4)	T.M.D.S データ 1 ＋	(14)	—
	(5)	T.M.D.S データ 1 シールド	(15)	SCL
	(6)	T.M.D.S データ 1 －	(16)	SDA
(1) → (19)	(7)	T.M.D.S データ 0 ＋	(17)	DDC/CEC GND
(1) ～ (19) の奇数ピン	(8)	T.M.D.S データ 0 シールド	(18)	+5 V
	(9)	T.M.D.S データ 0 －	(19)	ホットプラグ検出
	(10)	T.M.D.S クロック＋		

入力端子の接続（例）

■〈S-VIDEO IN〉/〈VIDEO IN〉/〈COMPONENT IN〉端子の場合

■〈LAN〉/〈HDMI IN 1〉/〈HDMI IN 2〉/〈COMPUTER IN〉/〈SERIAL〉/〈AUDIO IN〉/〈AUDIO OUT〉端子の場合

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで、DVI 端子がある外部機器とも接続できますが、一部の機器では、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- ［音声入力選択］の設定を間違えると、音声がでないなど、正常に動作しない場合があります。（☞ 67 ページ）
- 本機はビエラリンク（HDMI）に対応していません。
- 〈SERIAL〉端子に接続する場合は、“〈SERIAL〉端子について”（☞ 107 ページ）をご覧ください。
- レジューム機能（ラストメモリー）を持つコンピューターを使用して本機を動作させるには、レジューム機能のリセットが必要になることがあります。

注意

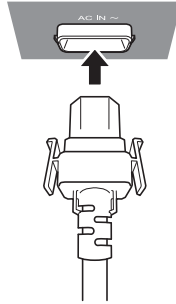
コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

電源を入れる / 切る

電源コードを接続する

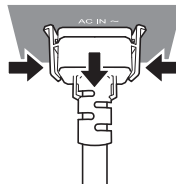
電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードを使用して、本体に根元まで確実に差し込んで固定してください。
主電源〈MAIN POWER〉スイッチが〈OFF〉側になっていることを確認してから、電源コードを接続してください。
電源コードの詳しい取り扱いについては“安全上のご注意”（☞ 6 ～ 9 ページ）をご覧ください。

■取り付けかた

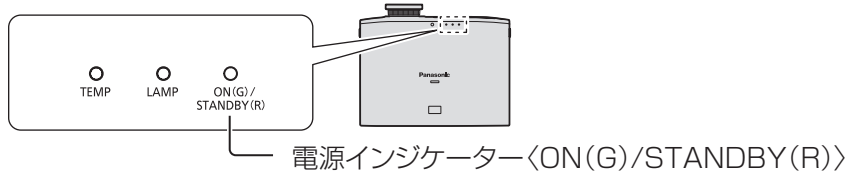
1）本体後面の〈AC IN〉端子と電源コードのコネクターの形状を確認し、向きを合わせて左右のツメがカチッと音がするまで、しっかりと差し込む

2）電源プラグをコンセントに差し込む

■取り外しかた

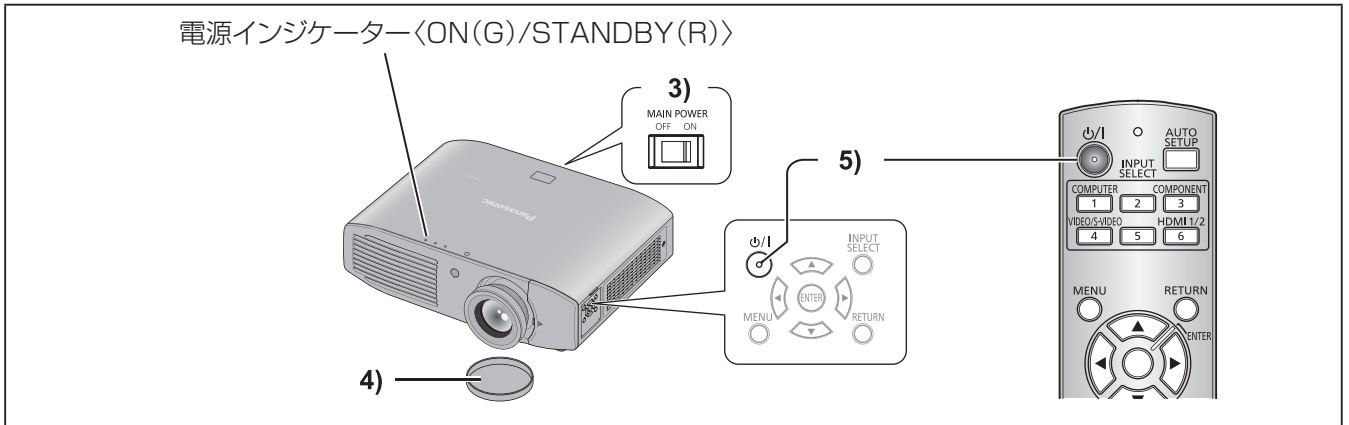
1）本体後面の主電源〈MAIN POWER〉スイッチが〈OFF〉側になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く

2）本体の〈AC IN〉端子から電源コードのコネクターを、横のつまみを押しながら抜く

電源インジケーターについて

電源の状態を表示します。電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R)〉の状態をよく確認し、操作してください。

電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉

点灯状況		本機の状態
消灯		主電源が切れています。
赤色	点灯	［スタンバイモード］の設定が［ECO］の場合、電源が切れています。（スタンバイ状態です。） 電源〈⏻/|〉ボタンを押すと投写を開始します。 ● ランプインジケーター〈LAMP〉、温度インジケーター〈TEMP〉点滅時は動作しません。（☞ 91 ページ）
	点滅	［スタンバイモード］の設定が［ノーマル］の場合、電源が切れています。（スタンバイ状態です。） 電源〈⏻/|〉ボタンを押すと投写を開始します。 ● ランプインジケーター〈LAMP〉、温度インジケーター〈TEMP〉点滅時は動作しません。（☞ 91 ページ）
緑色	点滅	投写の準備をしている状態です。 しばらくすると、映像を投写します。
	点灯	投写状態です。
オレンジ色	点灯	電源を切る準備をしています。 しばらくすると、電源が切れます。（スタンバイ状態になります。）
	点滅	電源を切る準備中に電源〈⏻/|〉ボタンを押したときの状態です。 投写の準備をしています。しばらくすると、映像を投写します。

お知らせ

- 電源を切る準備をしている状態で、電源〈⏻/|〉ボタンを押した場合は、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- 電源が切れている状態（電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R)〉が赤色に点灯または点滅時）でも、電力を消費しています。消費電力については、“消費電力”（☞ 112 ページ）をご覧ください。

電源を入れる

電源を入れる前に外部機器の接続を確認してください。

1) プロジェクターに電源コードを接続する

2) 電源プラグをコンセントに接続する

3) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの〈ON〉側を押して電源を入れる

- 電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色に点灯または点滅します。

4) レンズカバーを取り外す

- 投写する際は、必ずレンズカバーを取り外してください。

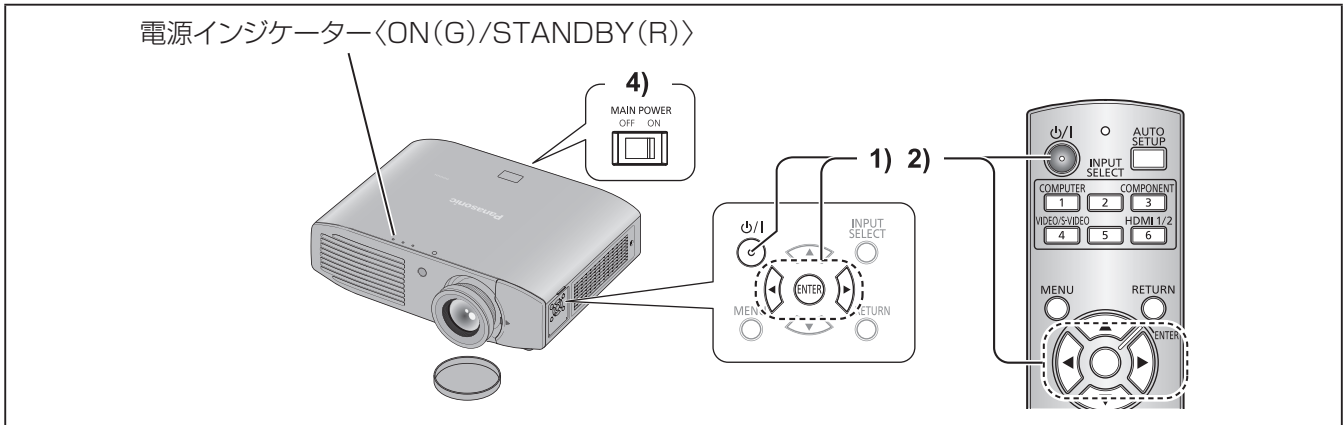
5) 電源〈⏻/|〉ボタンを押す

- 電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉が緑色に点滅し、しばらくすると点灯に変わり、映像が投写されます。

お 願 い

- レンズカバーをしたまま投写し続けると加熱され、火災の原因になることがあります。

お知らせ

- メニューの[セキュリティー]→[操作設定]（☞ 72 ページ）の［本体操作部］（本体で操作する場合）または[リモコン]（リモコンで操作する場合）が[有効］に設定されていることを確認してください。メニューの［セキュリティー］を設定する場合はパスワードの入力が必要です。（☞ 70 ページ）
- 電源を入れたときにカタカタという音や、光源ランプ点灯時にチリチリという音がしますが、故障ではありません。
- 映像投写中は、冷却ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時には、動作音が大きくなります。
- メニューの［プロジェクター設定］→［ランプパワー］（☞ 63 ページ）を［ECO］に設定すると、動作音が低減します。
- ランプ消灯直後に再び点灯を行った場合、ランプの特性上投写開始後少しの間、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］（☞ 64 ページ）で［スタンバイモード］を［ECO］に設定した場合、［ノーマル］設定時と比べて、電源を入れたときの投写開始が約 10 秒遅くなることがあります。
- 前回使用時にダイレクトパワーオフ機能を使用して、投写中に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にして終了した場合は、電源プラグをコンセントに接続した状態で主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈ON〉にすると、しばらくして電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R）〉が緑色に点灯し、映像が投写されます。（起動方法を、メニューの［プロジェクター設定］→［起動方法］（☞ 62 ページ）を［ラストメモリー］または［オンスタート］に設定時）

電源を切る

1) 電源〈⏻/|〉ボタンを押す
- 電源オフ確認メッセージが表示されます。

2) ◀▶ボタンで［はい］を選び、〈ENTER〉ボタンを押す
（または、電源〈⏻/|〉ボタンを再度押す）
- 映像の投写が停止し、本体の電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R）〉がオレンジ色に点灯します。
（ファンは回転したままです。）

3) 本体の電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R）〉が赤色に点灯または点滅（ファンが停止）するまで待つ

4) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの〈OFF〉側を押して電源を切る

お知らせ

- 電源オフ確認メッセージは［いいえ］を選択するか、〈MENU〉ボタンまたは〈RETURN〉ボタンを押すと消えます。
- 電源〈⏻/|〉ボタンを 0.5 秒以上押した場合でも電源を切ることができます。
- **電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。**
電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しないことがあります。この場合は電源インジケーターが赤色に点灯または点滅してから、主電源を切り、再度電源を入れ直してください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早めるおそれがあります。
- **電源〈⏻/|〉ボタンを押して電源を切っても、本体の主電源が入っていると、電力が消費されます。**
消費電力については、“消費電力”（☞ 112ページ）をご覧ください。

ダイレクトパワーオフ機能

投写中や光源ランプ消灯直後に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にしても、内部に蓄えられた電力によりファンが動作し、光源ランプを冷却します。天つり設置など、プロジェクターの主電源〈MAIN POWER〉スイッチを容易に〈OFF〉にできない環境でも、直接電源ブレーカーで電源を落とすことができます。また、万一停電になった場合や電源を切った直後に電源コードを抜いてしまった場合でも安心です。

お知らせ

- 前回使用時に、投写中に直接電源ブレーカーで電源を落として終了した場合は、電源ブレーカーを入れるとしばらくして電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R）〉が緑色に点灯し、映像投写へと移行します。
（起動方法を、メニューの［プロジェクター設定］→［起動方法］（☞ 62 ページ）で［ラストメモリー］または［オンスタート］に設定時）
- ダイレクトパワーオフで冷却した場合、次回電源を入れたときに、投写状態になるまで通常よりも時間がかかる場合があります。
- 運搬・保管のために梱包する場合、ファンが停止していることを確認してください。

投写する

外部機器の接続（☞ 27ページ）、電源コードの接続（☞ 30ページ）を確認し、電源を入れる（☞ 32ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。

1）外部機器の電源を入れる

- Blu-ray プレーヤーなど、外部機器の再生を行ってください。メニューの［表示オプション］→［入力検出］（☞ 59 ページ）が［オン］の場合は、本機の電源を入れたとき、自動的に入力信号を検出し投写します。

2）リモコンの入力切換（〈COMPUTER〉、〈COMPONENT〉、〈VIDEO/S-VIDEO〉、〈HDMI 1/2〉）ボタンまたは本体操作部の〈INPUT SELECT〉ボタンを押す

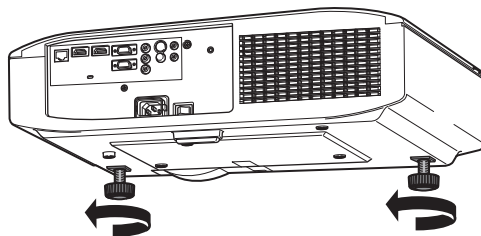
- 選択した端子に入力されている信号の映像が投写されます。

お 願 い

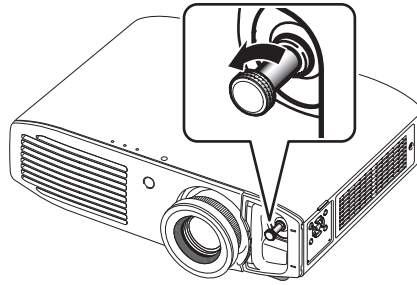
- 外部機器や再生する Blu-ray ディスク、DVD などによっては、正常に映像が映らない場合があります。［映像調整］の［TV システム］（☞ 49 ページ）、［RGB/YC$_B$C$_R$］/［RGB/YP$_B$P$_R$］（☞ 50 ページ）を設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、メニューの［位置調整］→［アスペクト］（☞ 53 ページ）で最適な縦横比に切り換えてください。

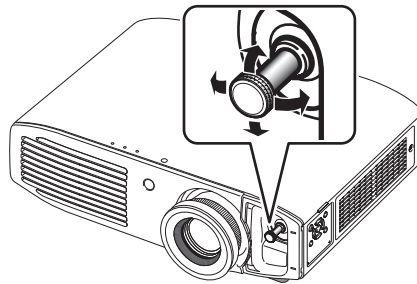
映像の映り具合を調整する

1）投写角度を調整する

- プロジェクターをスクリーン面と平行に置き、投写画面が長方形になるように水平な場所に設置します。
- プロジェクターがスクリーンより下向きになっている場合は、アジャスター脚を伸ばして投写画面が長方形になるように調整します。
- 詳しくは“アジャスター脚の調整”（☞ 23 ページ）をご覧ください。

2）レンズシフトカバーを取り外す

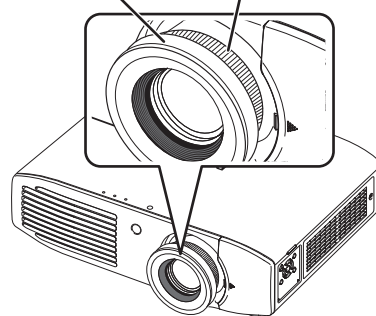
- 詳しくは“レンズシフトカバーの取り外しかた”（☞ 18 ページ）をご覧ください。

3) レンズシフトレバーを反時計方向に回してシフトレバーの固定を解除する

4) レンズシフトを調整する

- レンズシフトレバーで投写位置を調整します。
- 詳しくは“レンズシフト機能によるレンズ位置調整”（☞ 24 ページ）をご覧ください。

5) レンズシフトレバーを時計方向に回して固定する

6) レンズシフトカバーを取り付ける

7) ズームとフォーカスを調整する

- ズームリングとフォーカスリングを回して調整します。

お知らせ

- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- フォーカスリングを回すと投写画面サイズが変わるためズームリングを回して、再度投写画面サイズを微調整してください。

リモコンで操作する

AV ミュート機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことができます。

AV MUTE ボタン

1) リモコンの〈AV MUTE〉ボタンを押す

- 映像と音声が消えます。

2) 再度〈AV MUTE〉ボタンを押す

- 映像と音声がでます。

お知らせ

- 本機はスピーカーを内蔵していません。音声は、〈AUDIO OUT〉端子に接続した外部の音響システムから出力できます。

静止機能を使う

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止し、音声を消すことができます。

FREEZE ボタン

1) リモコンの〈FREEZE〉ボタンを押す

- 映像が静止し、音声が消えます。

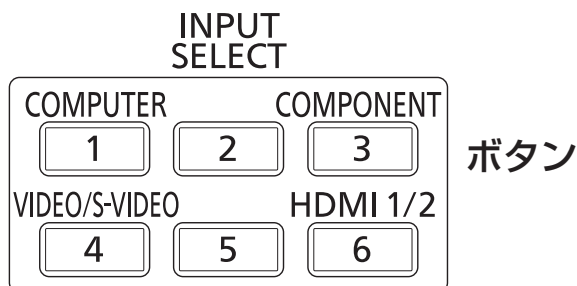
2) 再度〈FREEZE〉ボタンを押す

- 映像の静止が解除され、音声がでます。

お知らせ

- 静止中は画面に［静止］と表示されます。

入力を切り換える

投写する入力を切り換えることができます。

リモコンの入力切換（〈COMPUTER〉、〈COMPONENT〉、〈VIDEO/S-VIDEO〉、〈HDMI 1/2〉）ボタンを押す

〈COMPUTER〉	コンピューター信号に入力を切り換えます。
〈COMPONENT〉	コンポーネント（YC_BC_R/ YP_BP_R）信号に入力を切り換えます。
〈VIDEO/ S-VIDEO〉	S ビデオ / ビデオ信号に入力を切り換えます。すでにいずれかの入力が選択されている場合は、もう一方の入力に切り換えます。
〈HDMI 1/2〉	HDMI 信号に入力を切り換えます。すでにいずれかの入力が選択されている場合は、もう一方の入力に切り換えます。

お知らせ

- 本体操作部の〈INPUT SELECT〉ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。(☞ 19ページ)

オートセットアップ機能を使う

コンピューター信号入力時に［シフト］、［ドットクロック］、［クロックフェーズ］を自動補正できます。

AUTO SETUP ボタン

リモコンの〈AUTO SETUP〉ボタンを押す

お知らせ

- HDMI 信号入力時は［シフト］のみ自動補正されます。
- 無信号時は入力検出が動作します。（［入力検出］（☞ 59 ページ）を［オン］に設定時）
- ドットクロック 162 MHz を超える信号入力時は、［ドットクロック］（☞ 52ページ）、［クロックフェーズ］（☞ 52 ページ）は自動設定されません。
- 画面の端がわからないような信号や、暗い画面を入力してオートセットアップ機能を動作させると、自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画面に切り換えてから、もう一度〈AUTO SETUP〉ボタンを押してください。
- 自動補正中は画面に［自動位置補正］と表示されます。

ファンクションボタンを使う

リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンによく使う操作を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。

FUNC1 FUNC2 FUNC3 ボタン

リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンを押す

■〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンへ割り当てを設定する場合

1）本体操作部またはリモコンの〈MENU〉ボタンを押して、割り当てたいメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）を表示させる
- オンスクリーンメニューの操作については“メニュー画面の操作方法”（☞ 39ページ）をご覧ください。

2）リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンのいずれかを 3 秒以上押し続ける

お知らせ

- 割り当てが完了すると、メニュー下部のリモコン操作ガイド領域の右側に、割り当てたメニュー項目が表示されます。

ECO マネージメント機能を使う

ECO マネージメントに関する設定画面を表示できます。

ECO ボタン

リモコンの〈ECO〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは、メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］（☞ 64 ページ）をご覧ください。

出荷状態に戻す

サブメニューの設定、調整した値を工場出荷時の状態に戻すことができます。

ボタン

リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押す

お知らせ

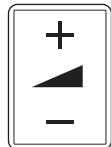
- 詳しくは、“調整値を工場出荷時の状態に戻す”（☞ 40 ページ）をご覧ください。

音量を調整する

音声出力の音量を調整できます。

VOLUME

＋

－

ボタン

リモコンの〈VOLUME ＋〉/〈VOLUME －〉ボタンを押す

〈VOLUME ＋〉	音量を大きくします。
〈VOLUME －〉	音量を小さくします。

オンスクリーンメニューについて

本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニュー（メニュー画面）を使用します。

メニュー画面の操作方法

■操作の手順

MENU
ボタン

1) リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押す

● メインメニュー画面が表示されます。

メインメニュー	サブメニュー	設定
映像調整	映像モード	スタンダード
位置調整	コントラスト	0
表示言語	明るさ	0
表示オプション	色の濃さ	
プロジェクター設定	色あい	
セキュリティー	シャープネス	0
ネットワーク	色温度設定	0
	ダイナミックアイリス	オン
	波形モニター	
	アドバンスドメニュー	
	デイライトビュー	オート
	デジタルシネマリアリティー	
	ノイズリダクション	0
	RGB/YCBCR	オート

2) ▲▼ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

● 選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。

● 選択したメインメニュー項目のサブメニューが右側に表示されます。

3)〈ENTER〉ボタンを押す

● サブメニューの項目を選択できるようになります。

4) ▲▼ボタンを押してサブメニュー項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

● 項目によっては◀▶ボタンを押すと、下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。

● 項目名のみの項目は、〈ENTER〉ボタンを押すと、次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

お知らせ

● メニュー画面が表示されている状態で〈RETURN〉ボタンまたは〈MENU〉ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

● 本機に入力されている信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。

● 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。

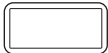
● 約 5 秒間何も操作せずに放置していると、個別調整画面は自動で消えます。

● メニューの項目については“メインメニュー”(☞41ページ)や“サブメニュー”(☞41～42ページ)をご覧ください。

調整と設定

■調整値を工場出荷時の状態に戻す

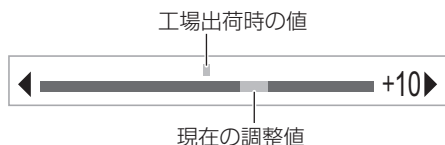
リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、サブメニュー項目で設定および調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

DEFAULT ボタン

リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押す

表示されている画面によって動作が異なります。

- サブメニュー画面表示時
  表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。
- 個別調整画面表示時
  調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。

お知らせ

- すべての設定を一度に工場出荷時の状態に戻す場合は、メニューの［プロジェクター設定］→［全設定初期化］（☞ 69 ページ）をご覧ください。
- 〈DEFAULT〉ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの上にあるマークは、工場出荷時の値を示しています。また、このマークは、入力される信号によって位置が異なります。

メインメニュー

メインメニューには以下の 7 項目があります。
メインメニュー項目を選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

メインメニュー項目		ページ
	[映像調整]	41
	[位置調整]	41
	[表示言語]	42
	[表示オプション]	42
	[プロジェクター設定]	42
	[セキュリティー]	42
	[ネットワーク]	42

サブメニュー

選択したメインメニュー項目のサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ [映像調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[映像モード]	[スタンダード] *1	43
[コントラスト]	0	43
[明るさ]	0	44
[色の濃さ]	0	44
[色あい]	0	44
[シャープネス]	0	44
[色温度設定]	0	44
[ダイナミックアイリス]	[オン]	45
[波形モニター]	―	45
[アドバンスドメニュー]	―	48
[デイライトビュー]	[オート]	48
[デジタルシネマリアリティー]	[オン]	49
[ノイズリダクション]	0*1	49
[TV システム] *1	[オート]	49
[RGB/YC_BC_R] *1、[RGB/YP_BP_R] *1	[オート]	50

*1： 入力信号によって異なります。

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。
- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

■ [位置調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[台形補正]	0	51
[シフト]	0	51
[ドットクロック]	0	52
[クロックフェーズ]	0	52
[オーバースキャン]	0*1	53
[アスペクト]	[ノーマル] *1	53
[フレームロック]	[オフ]	55

*1： 入力信号により異なります。

お知らせ

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、選択中の入力端子により表示が異なります。

■［表示言語］

項目の詳細（☞ 56 ページ）

■［表示オプション］

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
［オンスクリーン表示］	—	57
［HDMI 信号レベル］	—	58
［クローズドキャプション設定］	［オフ］	58
［スタートアップロゴ］	［デフォルトロゴ］	59
［自動位置補正設定］	［オート］	59
［入力検出］	［オン］	59
［バックカラー］	［ブルー］	59
［SXGA モード］	［SXGA］	60
［その他の機能］		60

■［プロジェクター設定］

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
［ステータス］	—	61
［プロジェクター ID］	［オール］	61
［起動方法］	［ラストメモリー］	62
［投写方式］	［フロント／床置き］	62
［高地モード］	［オフ］	62
［ランプパワー］	［ノーマル］	63
［ランプ使用時間］	—	63
［スケジュール］	［オフ］	63
［ECO マネージメント］	—	64
［エミュレート］	［デフォルト］	66
［ファンクションボタン］	—	66
［音声設定］	—	67
［日付と時刻］	—	68
［テストパターン］	—	69
［全設定初期化］	—	69

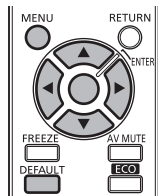
■［セキュリティー］

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
［パスワード設定］	［オフ］	70
［パスワード変更］	—	70
［表示設定］	［オフ］	71
［テキスト変更］	—	71
［メニューロック］	［オフ］	71
［メニューロックパスワード］	—	72
［操作設定］	—	72

■［ネットワーク］

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
［有線 LAN］	—	73
［プロジェクター名変更］	—	73
［ネットワークコントロール］	［オン］	74
［ステータス］	—	74
［初期化］	—	74

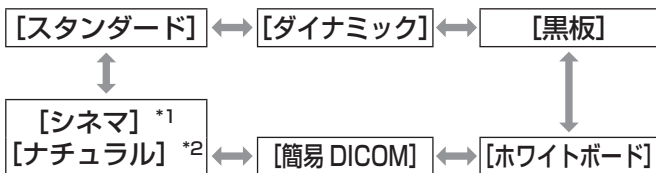
[映像調整]について

メニュー画面で、メインメニューから[映像調整]を選び、サブメニューから項目を選んでください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”(☞ 39 ページ)をご覧ください。
- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで調整してください。

[映像モード]

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像モードに設定します。

1) ▲▼ボタンで[映像モード]を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- **[映像モード]**個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンで[映像モード]を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

*1： 動画系信号入力時
*2： 静止画系信号入力時

[スタンダード]	動画系全般に適した画像になります。
[ダイナミック]	明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
[黒板]	黒板への投写に適した画像になります。
[ホワイトボード]	ホワイトボードへの投写に適した画像になります。
[簡易 DICOM] *1	DICOM Part14 グレースケール規格に近い画像になります。
[シネマ]	映画ソースに適した画像になります。
[ナチュラル]	sRGB に準拠した画像になります。

*1： [映像モード]以外の設定は工場出荷時の設定にしてください。

お知らせ

- 工場出荷時の映像モードは、静止画系信号入力時は[ダイナミック]、動画系信号入力時は[スタンダード]です。
- DICOM とは「Digital Imaging and COmmunication in Medicine」の略称で医療用画像機器のための規格です。DICOM の名称を用いていますが、本機は医療機器ではありませんので、表示画像を診断などの用途に使用しないでください。

[コントラスト]

色の明暗度を調整します。

1) ▲▼ボタンで[コントラスト]を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- **[コントラスト]**個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります。	最大値 +64
◀ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります。	最小値 −64

お 願 い

- [明るさ]と[コントラスト]を調整する必要がある場合には、[明るさ]を先に調整してください。

[明るさ]

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

1）▲▼ボタンで［明るさ］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［明るさ］個別調整画面が表示されます。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります。	最大値 +32
◀ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります。	最小値 –32

[色の濃さ]

色の濃さを調整します。

1）▲▼ボタンで［色の濃さ］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［色の濃さ］個別調整画面が表示されます。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色が濃くなります。	最大値 +32
◀ボタンを押す	色が薄くなります。	最小値 –32

[色あい]

肌色の部分を調整します。

1）▲▼ボタンで［色あい］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［色あい］個別調整画面が表示されます。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかります。	最大値 +32
◀ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかります。	最小値 –32

[シャープネス]

映像のシャープ感を調整します。

1）▲▼ボタンで［シャープネス］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［シャープネス］個別調整画面が表示されます。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	輪郭がシャープになります。	入力信号により異なります。
◀ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります。	

[色温度設定]

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

1）▲▼ボタンで［色温度設定］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［色温度設定］個別調整画面が表示されます。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	映像の赤みを抑えます。	最大値 +6
◀ボタンを押す	映像の青みを抑えます。	最小値 –6

[ダイナミックアイリス]

映像に合わせてランプ制御、光量絞り（アイリス）制御をします。暗部のよく引き締まった、メリハリ感のある映像表現に補正します。

1） ▲▼ボタンで［ダイナミックアイリス］を選択する

2） ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- **［ダイナミックアイリス］**個別調整画面が表示されます。

3） ◀▶ボタンで［ダイナミックアイリス］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オン］ ⟷ ［オフ］

［オン］	［ダイナミックアイリス］を有効にします。
［オフ］	［ダイナミックアイリス］を無効にします。

[波形モニター]

市販の調整用ディスクなどを使用し、接続した外部機器からの出力（輝度）信号レベルを本機の推奨する値の範囲内に設定することで、本機の表示性能をより発揮するように調整します。

1） ▲▼ボタンで［波形モニター］を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

- **［波形モニター］**画面が表示されます。

波形モニター	
●オフ	
全ライン表示(Y)	
全ライン表示(R)	
全ライン表示(G)	
全ライン表示(B)	
ライン選択(Y)	
ライン選択(R)	
ライン選択(G)	
ライン選択(B)	
モニターポジション	左上
波形自動調整	

3） ▲▼ボタンで調整する項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 波形モニターが表示されます。

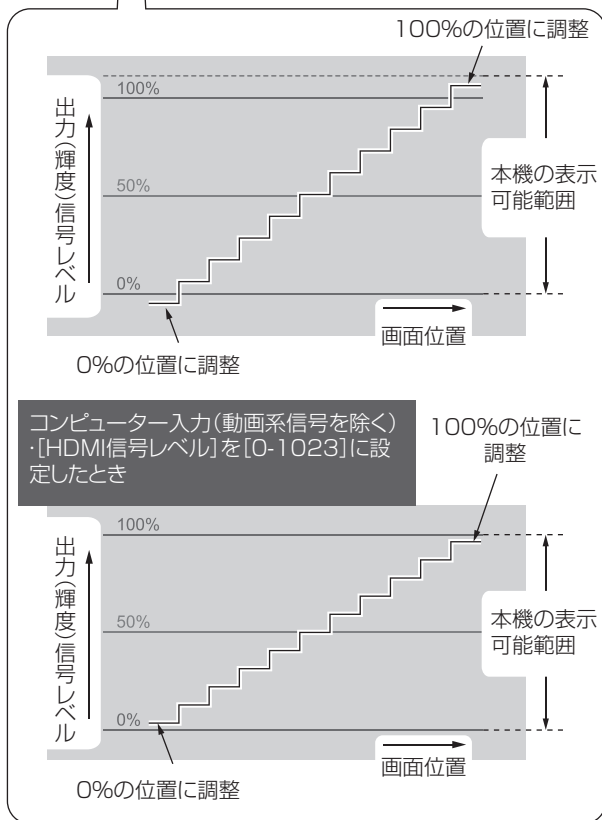
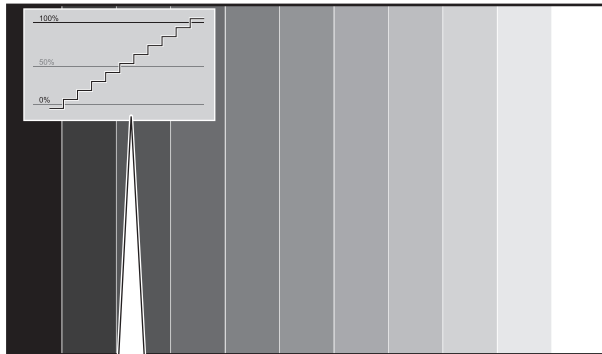
［オフ］	波形モニターが消えます。
［全ライン表示(Y)］ ［全ライン表示(R)］ ［全ライン表示(G)］ ［全ライン表示(B)］	画面全体の（Y-輝度）、(R-赤色)、(G-緑色)、(B-青色）のそれぞれの波形が推奨する範囲に納まっているかを確認します。
［ライン選択(Y)］ ［ライン選択(R)］ ［ライン選択(G)］ ［ライン選択(B)］	画面上部から下部までの任意の横ラインで(Y-輝度)、(R-赤色)、(G-緑色)、(B-青色）のそれぞれの波形が推奨する範囲に納まっているかを確認します。 ● ライン位置は▲▼ボタンで移動できます。 ● ライン位置によって、波形モニター表示位置が変わります。
［モニターポジション］	全ライン表示時の入力波形の表示位置を設定します。
［波形自動調整］	接続した外部機器からの出力（輝度）信号レベルを波形自動調整項目の設定をすることで、自動調整します。

お知らせ

- 波形モニター上において0%以下の信号は映像上では0%として表示されます。
- ［ライン選択（Y)］［ライン選択（R)］［ライン選択（G)］［ライン選択（B)］は、［全ライン表示（Y)］［全ライン表示（R)］［全ライン表示（G)］［全ライン表示（B)］よりもさらに細かく画面上部から下部までの横ラインを（Y-輝度)、(R-赤色)、(G-緑色)、(B-青色）で表示することができ、各項目で［全ライン表示（Y)］［全ライン表示（R)］［全ライン表示（G)］［全ライン表示（B)］と同じように調整することができます。
- ［全ライン表示（Y)］［全ライン表示（R)］［全ライン表示（G)］［全ライン表示（B)］を選択しているときに▲▼◀▶ボタンで入力波形の表示位置を設定することができます。
- ［映像調整］での個別調整画面の表示が波形モニターに干渉しないよう、個別調整画面の表示位置は、そのときの状態によって変更されます。
- 波形モニターを表示中に、〈DEFAULT〉ボタンを押すと［波形自動調整］が実行されます。(☞47ページ)

調整と設定

■波形を調整する

市販の調整用ディスクなどの輝度調整用信号（0%（0 IRE または 7.5 IRE）～ 100%（100 IRE））を投写し、調整します。

波形モニターを表示させた状態で、〈MENU〉ボタンを押し、メインメニュー項目の［映像調整］と、そのサブメニュー項目の［アドバンスドメニュー］で調整します。

1) [全ライン表示 (Y)] / [ライン選択 (Y)] を調整する

● メニューの［映像調整］にし、[明るさ]、[コントラスト］項目の順に◀▶ボタンで調整します。

[明るさ]	表示信号の黒レベル 0%（0 IRE または 7.5 IRE）を 0%の位置に調整します。 ● 設定可能範囲： –32 ～ +32
[コントラスト]	表示信号の白レベル 100%（100 IRE）を 100%の位置に調整します。 ● 設定可能範囲： –64 ～ +64

2) [全ライン表示 (R)] / [ライン選択 (R)] を調整する

● メニューの［映像調整］→［アドバンスドメニュー］にし、[ブライト R]、[コントラスト R] 項目の順に◀▶ボタンで調整します。

[ブライト R]	表示信号の黒レベル 0%（0 IRE または 7.5 IRE）を 0%の位置に調整します。 ● 設定可能範囲： –16 ～ +16
[コントラスト R]	表示信号の白レベル 100%（100 IRE）を 100%の位置に調整します。 ● 設定可能範囲： –32 ～ +32

3) [全ライン表示 (G)] / [ライン選択 (G)] を調整する

● メニューの［映像調整］→［アドバンスドメニュー］にし、[ブライト G]、[コントラスト G] 項目の順に◀▶ボタンで調整します。

[ブライト G]	表示信号の黒レベル 0%（0 IRE または 7.5 IRE）を 0%の位置に調整します。 ● 設定可能範囲： –16 ～ +16
[コントラスト G]	表示信号の白レベル 100%（100 IRE）を 100%の位置に調整します。 ● 設定可能範囲： –32 ～ +32

4) [全ライン表示 (B)] / [ライン選択 (B)] を調整する

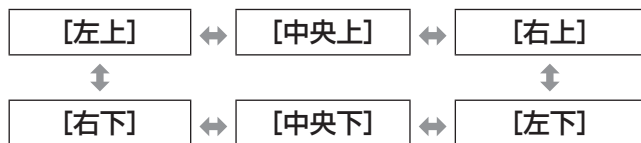
● メニューの [映像調整] → [アドバンスドメニュー] にし、[ブライト B]、[コントラスト B] 項目の順に◀▶ボタンで調整します。

[ブライト B]	表示信号の黒レベル 0% (0 IRE または 7.5 IRE) を 0%の位置に調整します。 ● 設定可能範囲： −16 ～ +16
[コントラスト B]	表示信号の白レベル 100% (100 IRE) を 100%の位置に調整します。 ● 設定可能範囲： −32 ～ +32

■ [モニターポジション] を設定する

全ライン表示時の入力波形の表示位置を設定します。

◀▶ボタンで [モニターポジション] を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[左上]	入力波形を左上に表示します。
[中央上]	入力波形を中央上に表示します。
[右上]	入力波形を右上に表示します。
[左下]	入力波形を左下に表示します。
[中央下]	入力波形を中央下に表示します。
[右下]	入力波形を右下に表示します。

■ [波形自動調整] を設定する

接続した外部機器からの出力 (輝度) 信号レベルを波形自動調整項目の設定をすることで、自動調整します。

1) ▲▼ボタンで調整する項目を選択する

波形自動調整項目	工場出荷時
[自動調整開始]	—
[黒レベル調整]	[オン]
[白レベル調整]	[オン]
[RGB 個別調整 (黒側)]	[オフ]
[RGB 個別調整 (白側)]	[オフ]

2) ◀▶ボタンで調整を切り換える

3) ▲▼ボタンで [自動調整開始] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

● [自動調整中] のメッセージが表示され、調整が終了すると結果反映の確認メッセージが表示されます。

4) ◀▶ボタンで [はい] を選択する

5) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

● [黒レベル調整] が [オン] のとき、表示信号の Y (輝度) の黒レベルを 0% の位置に自動調整します。
● [白レベル調整] が [オン] のとき、表示信号の Y (輝度)の白レベルを 100% の位置に自動調整します。
● [RGB 個別調整 (黒側)] が [オン] のとき、表示信号の R (赤色)、G (緑色)、B (青色) のそれぞれの黒レベルを 0% の位置に自動調整します。
● [RGB 個別調整 (白側)] が [オン] のとき、表示信号の R (赤色)、G (緑色)、B (青色) のそれぞれの白レベルを 100% の位置に自動調整します。
● [波形モニター] が [オフ] の場合、[波形自動調整] は実行できません。
● 市販の調整用ディスクなどの輝度調整用信号を投写し、自動調整を行ってください。ただし調整用ディスクでも、ディスク自体にノイズが含まれている場合や、再生機がノイズを発生する場合、正しく自動調整できない場合があります。
● [波形自動調整] は、画面内の 0% および 100% の基準信号をもとに調整します。オーバースキャンなどで基準信号が画面内に表示されない場合、または 0% 未満の信号や 100% を超える信号が画面内に表示されている場合は、正しく自動調整できません。

［アドバンスドメニュー］

映像をさらに詳細に調整します。

1) ▲▼ボタンで［アドバンスドメニュー］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［アドバンスドメニュー］画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで［コントラスト R］～［ブライト B］を選択する

4) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- 各調整項目の個別調整画面が表示されます。

5) ◀▶ボタンでレベルを調整する

［コントラスト R］

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	明るい部分の赤色が強くなります。	最大値 +32
◀ボタンを押す	明るい部分の赤色が弱くなります。	最小値 −32

［コントラスト G］

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	明るい部分の緑色が強くなります。	最大値 +32
◀ボタンを押す	明るい部分の緑色が弱くなります。	最小値 −32

［コントラスト B］

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	明るい部分の青色が強くなります。	最大値 +32
◀ボタンを押す	明るい部分の青色が弱くなります。	最小値 −32

［ブライト R］

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	暗い部分の赤色が強くなります。	最大値 +16
◀ボタンを押す	暗い部分の赤色が弱くなります。	最小値 −16

［ブライト G］

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	暗い部分の緑色が強くなります。	最大値 +16
◀ボタンを押す	暗い部分の緑色が弱くなります。	最小値 −16

［ブライト B］

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	暗い部分の青色が強くなります。	最大値 +16
◀ボタンを押す	暗い部分の青色が弱くなります。	最小値 −16

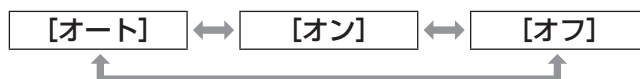
［デイライトビュー］

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

1) ▲▼ボタンで［デイライトビュー］を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［デイライトビュー］個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンで［デイライトビュー］を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オート］ ⟷ ［オン］ ⟷ ［オフ］

［オート］	［デイライトビュー］の自動補正を有効にします。カラーセンサーが部屋の明るさや色を検知し、自動的に補正をかけます。
［オン］	［デイライトビュー］を有効にします。
［オフ］	［デイライトビュー］を無効にします。

お知らせ

- ［プロジェクター設定］の［投写方式］で、［リア／床置き］または［リア／天つり］を選択した場合、［オート］の設定はできません。
- プロジェクターの上面に物などを置くと、［オート］モードが正常に動作しない場合があります。

［デジタルシネマリアリティー］

2-2、2-3 プルダウン時に適用する機能で、垂直解像度を向上させることができます。
一部の信号入力時のみ有効となります。
525i（480i）、625i（576i）、1125（1080）/60i、1125（1080）/50i、S ビデオ信号、ビデオ信号

1）▲▼ボタンで［デジタルシネマリアリティー］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- **［デジタルシネマリアリティー］**個別調整画面が表示されます。

3）◀▶ボタンで［デジタルシネマリアリティー］を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オン］ ⟷ ［オフ］

［オン］	［デジタルシネマリアリティー］を有効にします。
［オフ］	［デジタルシネマリアリティー］を無効にします。

［ノイズリダクション］

入力された映像が劣化して、映像信号ノイズが発生している場合に切り換えます。

1）▲▼ボタンで［ノイズリダクション］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- **［ノイズリダクション］**個別調整画面が表示されます。

3）◀▶ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	除去効果が強くなります。	最大値 +3
◀ボタンを押す	除去効果が弱くなります。	最小値 0

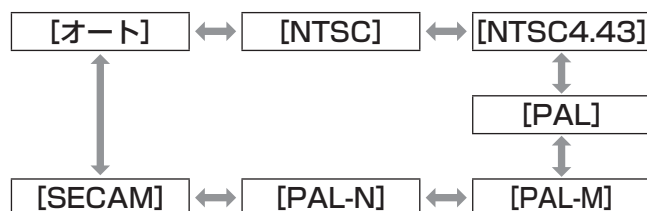
お願い
- ノイズが少ない入力信号に対して設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は 0 に設定してください。

［TV システム］

●〈S-VIDEO IN〉/〈VIDEO IN〉端子を選択している場合のみ
本機は入力信号を自動判別しますが、不安定な信号を入力する場合は、手動でカラー方式を設定します。入力に合ったカラー方式を設定してください。

1）▲▼ボタンで［TV システム］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- **［TV システム］**画面が表示されます。

3）◀▶ボタンでカラー方式を選択する
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

お願い
- 通常は［オート］に設定してください。
- それぞれのテレビのカラー方式に設定を切り換えてください。日本国内では NTSC のカラー方式が使われています。

お知らせ
- ［オート］は、[NTSC]、[NTSC4.43]、[PAL]、[PAL-M]、[PAL-N]、[SECAM]、[PAL60］の中から自動的に判別します。

[RGB/YC_BC_R] / [RGB/YP_BP_R]

通常は［オート］に設定してください。［オート］で正常に映らない場合は、入力する信号に合わせて［RGB］または［YC_BC_R］、［YP_BP_R］に設定してください。

1) ▲▼ボタンで［RGB/YC_BC_R］または［RGB/YP_BP_R］を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［RGB/YC_BC_R］または［RGB/YP_BP_R］個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンで設定を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オート]	同期信号により、[RGB] / [YC_BC_R] / [YP_BP_R] 信号を自動的に選択します。
[RGB]	RGB 信号を入力時に設定してください。
[YP_BP_R]	YP_BP_R 信号を入力時に設定してください。
[YC_BC_R]	YC_BC_R 信号を入力時に設定してください。

■〈COMPUTER IN〉端子を選択している場合

●525i（480i）、625i（576i）、525p（480p）、625p（576p）、VGA60 入力時

[オート]、[RGB]、[YC_BC_R] から選択します。

●上記以外の動画系信号入力時

[オート]、[RGB]、[YP_BP_R] から選択します。

■〈HDMI IN 1〉/〈HDMI IN 2〉端子を選択している場合

●525p（480p）、625p（576p）入力時

[オート]、[RGB]、[YC_BC_R] から選択します。

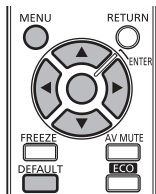
●上記以外の動画系信号入力時

[オート]、[RGB]、[YP_BP_R] から選択します。

お知らせ

- 信号の詳細については "対応信号リスト"（☞ 110 ページ）をご覧ください。
- 接続する一部の機器では、正常に動作しない場合があります。
- 〈COMPONENT IN〉端子を選択している場合は、設定できません。

[位置調整] について

メニュー画面で、メインメニューから［位置調整］を選び、サブメニューから項目を選んでください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 39 ページ）をご覧ください。
- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで調整してください。

[台形補正]

本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていたりしている場合に発生する台形ひずみを補正します。

1）▲▼ボタンで［台形補正］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［台形補正］個別調整画面が表示されます。

3）▲▼◀▶ボタンで台形ひずみを補正する

操作	変化内容
▲ボタンまたは▶ボタンを押す	
▼ボタンまたは◀ボタンを押す	

- 設定可能範囲：–32 ～ +32

お知らせ

- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して± 30°まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- ［台形補正］を行うと、画面サイズも変化します。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
- 補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

[シフト]

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合は、上下左右に映像位置を移動します。

1）▲▼ボタンで［シフト］を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

- ［シフト］個別調整画面が表示されます。

3）▲▼◀▶ボタンで位置調整する

お知らせ

- 直接▲▼◀▶ボタンを押して、本機能を操作することもできます。

■垂直位置（上下）調整の場合

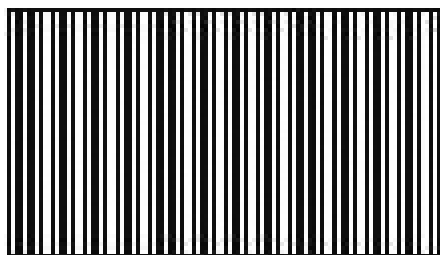
操作	変化内容	
▲ボタンを押す	映像位置が上へ移動します。	
▼ボタンを押す	映像位置が下へ移動します。	

■水平位置（左右）調整の場合

操作	変化内容	
▶ボタンを押す	映像位置が右へ移動します。	
◀ボタンを押す	映像位置が左へ移動します。	

[ドットクロック]

●コンピューター（RGB）信号入力時のみ

縦縞模様を投写したときに発生するノイズを軽減する際に調整します。
下記のような縞模様を投写したときに、周期的な縞模様（ノイズ）が発生することがあります。この場合にもっともノイズが少なくなるように調整してください。

1) ▲▼ボタンで［ドットクロック］を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- **[ドットクロック]** 個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、−32 ～ +32 です。

お知らせ

- ドットクロック調整は 525i（480i）、625i（576i）、525p（480p）、625p（576p）以外のコンピューター（RGB）信号入力時に調整できます。

お 願 い

- ［クロックフェーズ］より先に調整してください。

[クロックフェーズ]

画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1) ▲▼ボタンで［クロックフェーズ］を選択する

2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- **[クロックフェーズ]** 個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、0 ～ +31 まで変化します。ノイズが少なくなるように調整してください。

お知らせ

- 入力しているコンピューターの出力が不安定であると最適値がない場合があります。
- ドットクロック周波数が 162 MHz 以上の信号を投写する場合は、［クロックフェーズ］の調整をしてもノイズがなくならない場合があります。
- 525i（480i）、625i（576i）のコンポーネント（YC_BC_R）信号入力時は調整できません。
- 525i（480i）、625i（576i）のコンピューター（RGB）信号入力時は調整できません。
- デジタル信号入力時は調整できません。

[オーバースキャン]

投写映像の周辺で文字や映像が欠ける場合に調整します。

1) ▲▼ボタンで［オーバースキャン］を選択する
2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
   - ［オーバースキャン］個別調整画面が表示されます。
3) ◀▶ボタンで調整する
   - 調整値は、0 ～ +10 です。

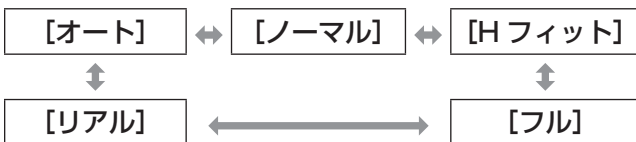
お知らせ

- 静止画系コンピューター（RGB）信号には対応していません。

[アスペクト]

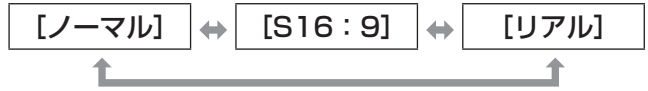
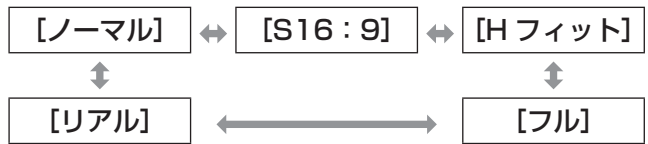
映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。

1) ▲▼ボタンで［アスペクト］を選択する
2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
   - ［アスペクト］個別調整画面が表示されます。
3) ◀▶ボタンで設定を切り換える
   - ボタンを押すごとに、各図のように切り換わります。

■S ビデオ / ビデオ信号入力時

お知らせ

- ［オート］は S ビデオ / ビデオ信号とも NTSC 入力時のみ動作します。

■静止画系コンピューター（RGB）信号入力時

- 1280 × 720 入力時

- VGA70、VGA85、1280 × 768、1280 × 800、WXGA+、WSXGA+ 入力時

- WUXGA 入力時

- 上記以外の静止画系コンピューター（RGB）信号入力時

*1： UXGA は［リアル］には切り換わりません。

■HDMI 信号入力時

- 1125（1080）/60i、1125（1080）/50i、1125（1080）/60p、1125（1080）/50p、1125（1080）/24p 入力時

- 750（720）/60p、750（720）/50p 入力時

[ノーマル] ↔ [S16 : 9] ↔ [リアル]

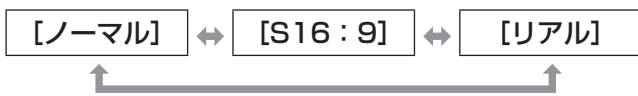
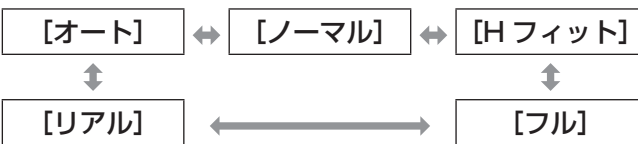
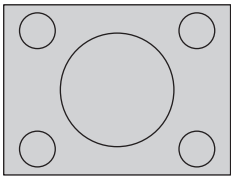
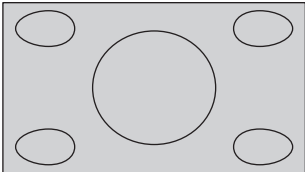
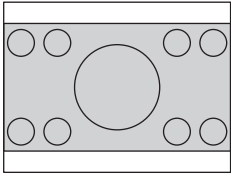
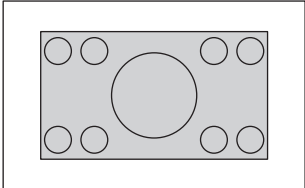
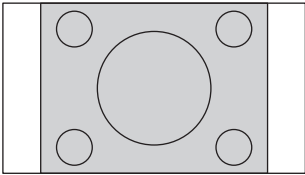
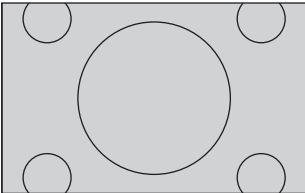
- 525p（480p）、625p（576p）入力時

調整と設定

■コンポーネント（YC_BC_R/YP_BP_R）信号 / 動画系コンピューター（RGB）信号入力時

● 1125（1080）/60i、1125（1080）/50i、1125（1080）/60p、1125（1080）/50p、1125（1080）/24p 入力時

[ノーマル] ⟷ [S16：9]

● 750（720）/60p、750（720）/50p 入力時

● 525i（480i）（YC_BC_R）入力時

● 525i（480i）（RGB）、625i（576i）、525p（480p）、625p（576p）入力時

お願い

● アスペクト比 4:3 の映像を［フル］で投写すると、変形したり、周辺画像が一部見えなくなったりします。制作者の意図を尊重した映像は、元のアスペクト比で投写してください。

お知らせ

● 入力信号によっては、選択できないアスペクトモードがあります。
● 入力している信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。
● 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
● ［オート］に設定したとき、入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換わります。
● S ビデオ、ビデオ、コンポーネント（YC_BC_R/YP_BP_R）信号の場合、［オート］が表示されない場合があります。
● シネマビジョンサイズなどの 16：9 よりも横長の映像を投写すると、上下に黒い領域ができる場合があります。

アスペクトモード	画面
[ノーマル] アスペクト比を維持したまま、水平または垂直方向どちらかのパネル画素をすべて使って、画像が切れないように投写されます。	入力信号 ↓ 投写画面
[S16：9] アスペクト比 16：9 の映像を 4：3 のスクリーンに投写します。	入力信号 ↓ 投写画面

アスペクトモード	画面
[フル] パネル画素（スクリーン）全体に映像を投写します。入力信号をパネル（スクリーン）のアスペクト比に変換して投写します。	入力信号 投写画面
[リアル] リサイズを行わず、入力信号の解像度のまま投写します。	入力信号 投写画面
[H フィット] アスペクト比を固定したまま水平方向のパネル画素すべて使って、画像の上下が切れて投写されます。	入力信号 投写画面

[フレームロック]

●コンピューター（RGB）/HDMI 信号入力時のみ

一部のコンピューター信号で設定可能になります。
動画再生時に映像が乱れる場合に設定してください。

1）▲▼ボタンで［フレームロック］を選択する

2）◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［フレームロック］個別調整画面が表示されます。

3）◀▶ボタンで［フレームロック］を切り換える

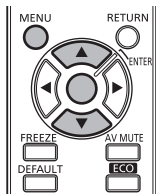
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

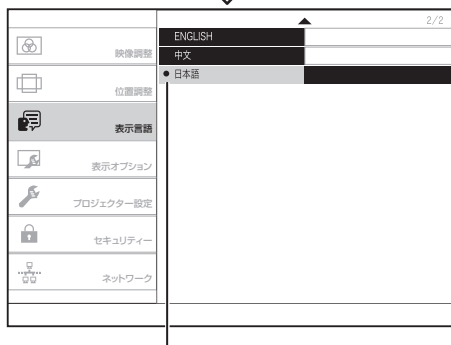
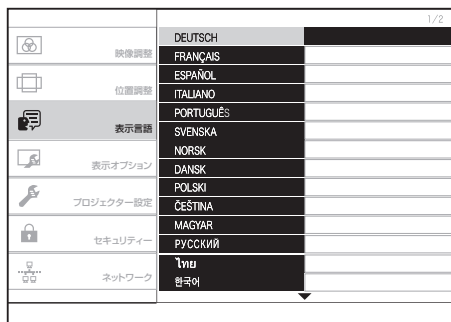
［オフ］ ⟷ ［オン］

［オフ］	フレームロックを無効にします。
［オン］	フレームロックを有効にします。

［表示言語］について

メニュー画面で、メインメニューから［表示言語］を選び、サブメニューを表示させます。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 39 ページ）をご覧ください。

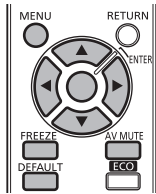
- ▲▼ボタンで選び、〈ENTER〉ボタンで言語の設定をしてください。

表示言語を切り換える

オンスクリーン表示の言語を切り換えます。

設定している言語に表示されます。

- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、ロシア語、タイ語、韓国語、英語、中国語、日本語の切り換えができます。

調整と設定

[表示オプション] について

メニュー画面で、メインメニューから［表示オプション］を選び、サブメニューから項目を選んでください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 39 ページ**）をご覧ください。**
- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。

[オンスクリーン表示]

オンスクリーン表示を設定します。

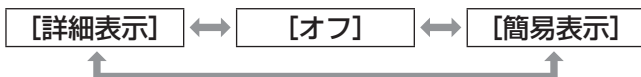
1) ▲▼ボタンで［オンスクリーン表示］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- **［オンスクリーン表示］**画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで切り換える

■ [入力ガイド]

投写画面右上に表示される入力端子名の表示方法を設定します。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［詳細表示］ ↔ ［オフ］ ↔ ［簡易表示］

［詳細表示］	入力端子をグラフィック表示します。
［オフ］	入力ガイドを無効にします。
［簡易表示］	現在選択されている入力端子名のみ表示します。

お知らせ
- ［詳細表示］に設定中、〈COMPUTER IN〉端子または〈HDMI IN 1〉/〈HDMI IN 2〉端子に信号が入力されていないと、コンピューターを接続するためのヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面を表示させたくない場合は、［簡易表示］または［オフ］に設定してください。

● コンピューターを接続するためのヘルプ画面について

コンピューター側の映像出力切り換えコマンドについては、下記の表をご覧ください。

メーカー	映像出力切り換えコマンド
Panasonic	Fn + F3
SAMSUNG	Fn + F4
acer SHARP TOSHIBA	Fn + F5
lenovo LG SONY	Fn + F7
EPSON	Fn + F8
FUJITSU	Fn + F10
NEC	Fn + F3 / F5
HP	Fn + F4 / F5
DELL	Fn + F1 / F8
Apple	F7 / Command + F2

お知らせ
- コンピューターの機種によって異なりますので、ご使用のコンピューターの説明書をご覧ください。

■ [OSD デザイン]

メニュー画面（OSD）の色を設定します。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［タイプ 1］ ↔ ［タイプ 2］

［タイプ 1］	背景を黒色で表示します。
［タイプ 2］	背景を青色で表示します。

■ [警告メッセージ]

警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オン］ ↔ ［オフ］

［オン］	警告メッセージを表示します。
［オフ］	警告メッセージを表示しません。

[HDMI 信号レベル]

本機と外部機器とを HDMI ケーブルで接続しているときに正常な映像が映らない場合は、設定を切り換えてください。

1) ▲▼ボタンで [HDMI 信号レベル] を選択する

2) ◀▶ボタンで [HDMI 信号レベル] を切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[0-1023] ⟷ [64-940]

[0-1023]	外部機器（コンピューターなど）の HDMI 端子および DVI-D 端子出力を、HDMI ケーブルまたは DVI-HDMI 変換ケーブルなどを使用して〈HDMI IN 1〉/〈HDMI IN 2〉端子に接続している場合などに選択します。
[64-940]	外部機器（DVD プレーヤーなど）の HDMI 端子出力を〈HDMI IN 1〉/〈HDMI IN 2〉端子に接続している場合などに選択します。

お知らせ
- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。

[クローズドキャプション設定]

●NTSC、525i（480i）入力時のみ
クローズドキャプションを設定します。

1) ▲▼ボタンで [クローズドキャプション設定] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [クローズドキャプション設定] 画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える

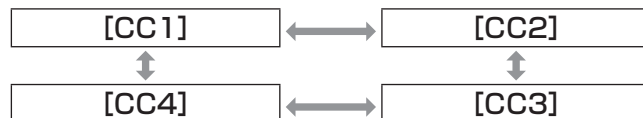
■ [クローズドキャプション]

クローズドキャプションを表示するかどうかを設定します。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。
- [オン] に設定する場合は、[選択されたモードの CC 信号が入力された場合、セキュリティーテキスト / ロゴは表示されません。] の確認メッセージが表示されるので、[はい] または [いいえ] を選択して〈ENTER〉ボタンを押してください。[いいえ] を選択した場合、[オン] に設定されません。

[オフ] ⟷ [オン]

[オフ]	クローズドキャプションを表示しません。
[オン]	クローズドキャプションを表示します。

■ [モード]

クローズドキャプションのモードを設定します。
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[CC1] ⟷ [CC2]
↕ ↕
[CC4] ⟷ [CC3]

[CC1]	CC1 のデータを表示します。
[CC2]	CC2 のデータを表示します。
[CC3]	CC3 のデータを表示します。
[CC4]	CC4 のデータを表示します。

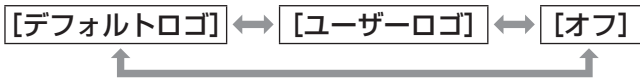
お知らせ
- クローズドキャプションは、主に北米で使用されている映像信号の文字情報を表示する機能です。接続する機器や再生するコンテンツによってはクローズドキャプションが表示できません。
- 選択したモードのクローズドキャプション信号が入力された場合、メニューの [セキュリティー] → [表示設定] (☞ 71 ページ) で設定したセキュリティーメッセージは表示されません。
- [台形補正] の補正量が大きい場合、文字が欠ける場合があります。
- メニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。

［スタートアップロゴ］

電源を入れたときのロゴ表示を設定します。

1）▲▼ボタンで［スタートアップロゴ］を選択する

2）◀▶ボタンで［スタートアップロゴ］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［デフォルトロゴ］	Panasonic ロゴを表示します。
［ユーザーロゴ］	「ロゴ転送ソフトウェア」*1 で転送されたロゴを表示します。
［オフ］	スタートアップロゴ表示を無効にします。

*1：「ロゴ転送ソフトウェア」は付属の CD-ROM に収録されています。

お知らせ

- ［ユーザーロゴ］の画像作成には、付属の CD-ROM に収録されている「ロゴ転送ソフトウェア」を使用します。
- スタートアップロゴは、約 30 秒で消えます。
- ［ユーザーロゴ］を選択しても、「ロゴ転送ソフトウェア」でロゴが転送されていない場合は、スタートアップロゴは表示されません。

［自動位置補正設定］

オートセットアップ機能を設定します。通常は［オート］に設定してください。

1）▲▼ボタンで［自動位置補正設定］を選択する

2）◀▶ボタンで［自動位置補正設定］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オート］ ⟷ ［ボタン］

［オート］	投写中の映像信号がコンピューター信号に変わると、オートセットアップ機能が動作します。
［ボタン］	〈AUTO SETUP〉ボタンを押したときのみ、オートセットアップ機能が動作します。(☞37ページ)

お知らせ

- コンピューター信号、HDMI 信号入力時のみ動作します。

［入力検出］

電源を入れたとき、信号が入力されている端子を自動的に検出して切り換える機能を設定します。

1）▲▼ボタンで［入力検出］を選択する

2）◀▶ボタンで［入力検出］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オン］ ⟷ ［オフ］

［オン］	入力検出を有効にします。
［オフ］	入力検出を無効にします。

お知らせ

- ［オン］に設定し、選択している入力が無信号のときにリモコンの〈AUTO SETUP〉ボタンを押した場合、信号が入力されている端子を自動的に検出して切り換えます。

［バックカラー］

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

1）▲▼ボタンで［バックカラー］を選択する

2）◀▶ボタンで［バックカラー］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［ブルー］	投写画面全体に青色を表示します。
［ブラック］	投写画面全体に黒色を表示します。
［デフォルトロゴ］	投写画面に Panasonic ロゴを表示します。
［ユーザーロゴ］	投写画面に「ロゴ転送ソフトウェア」*1 で転送されたロゴを表示します。

*1：「ロゴ転送ソフトウェア」は付属の CD-ROM に収録されています。

[SXGA モード]

SXGA 入力時に、映像全体が表示されていない場合に設定します。
通常は［SXGA］に設定してください。

1）▲▼ボタンで［SXGA モード］を選択する

2）◀▶ボタンで［SXGA モード］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[SXGA] ⟷ [SXGA+]

[SXGA]	［SXGA］に設定して映像全体が表示されている場合
[SXGA+]	［SXGA］に設定して映像全体が表示されていない場合

[その他の機能]

■ [自動位置補正]

詳しくは“オートセットアップ機能を使う”（☞37 ページ）をご覧ください。

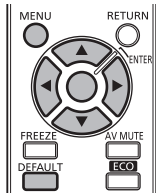
■ [静止]

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させ、音声を消すことができます。
〈RETURN〉ボタンまたはリモコンの〈FREEZE〉ボタンで解除されます。

■ [AV ミュート]

一定時間本機を使用しない場合に、映像と音声を消すことができます。
〈RETURN〉ボタンまたはリモコンの〈AV MUTE〉ボタンで解除されます。

[プロジェクター設定] について

メニュー画面で、メインメニューから［プロジェクター設定］を選び、サブメニューから項目を選んでください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 39 ページ）をご覧ください。
- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。

[ステータス]

本機の状態を表示します。

1) ▲▼ボタンで［ステータス］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- **［ステータス］**画面が表示されます。

[信号]

[名前]	入力信号名を表示します。
[周波数]	入力信号の周波数を表示します。

[使用時間]

[プロジェクター]	プロジェクターの稼働時間を表示します。
[ランプ]	ランプの実使用時間をモード別に表示します。

[シリアル番号]

[プロジェクター]	本機のシリアル番号を表示します。

お知らせ

- ランプの交換時期を予測するには、［プロジェクター設定］の［ランプ使用時間］（☞ 63 ページ）で表示されるランプの使用時間（換算値）をご確認ください。
- ［ECO］と［ノーマル］の実使用時間の合計はランプの使用時間（換算値）より小さい場合があります。

[プロジェクター ID]

本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べて使用する場合、1 つのリモコンで同時制御や個別制御をすることができます。

1) ▲▼ボタンで［プロジェクター ID］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- **［プロジェクター ID］**画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで［プロジェクター ID］を選択する

- ［オール］、［1］～［6］の一覧から選択してください。

4) 〈ENTER〉ボタンを押して決定する

- ［プロジェクター ID］が設定されます。

お知らせ

- ID ナンバーを指定して個別制御する場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバーを［オール］に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、ID ナンバーを何番に指定しても本機は動作します。
本機を複数台並べて設置する場合、ID ナンバーを［オール］に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御できなくなります。
- リモコンの ID ナンバーを設定する方法は“リモコンの ID ナンバーを指定する”（☞ 20 ページ）を参照してください。

調整と設定

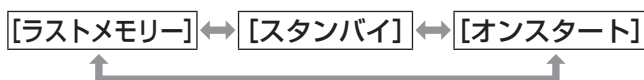
[起動方法]

主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈ON〉にしたときの起動方法を設定します。

1) ▲▼ボタンで [起動方法] を選択する

2) ◀▶ボタンで [起動方法] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

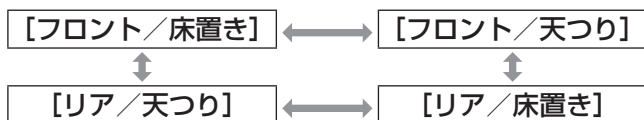
[ラストメモリー] ↔ [スタンバイ] ↔ [オンスタート]

[ラストメモリー]	主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にする前の状態で起動します。
[スタンバイ]	スタンバイ状態で起動します。
[オンスタート]	すぐに投写を開始します。

[投写方式]

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。画面表示が上下逆になったり、反転して映ったりしている場合は、投写方式を変更してください。

1) ▲▼ボタンで [投写方式] を選択する

2) ◀▶ボタンで [投写方式] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[フロント／床置き]	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
[フロント／天つり]	スクリーン前方にある天つり金具（別売品）を使用して設置する場合
[リア／床置き]	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合
[リア／天つり]	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

[高地モード]

海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満の高地で使用する場合は、[オン] に設定します。

1) ▲▼ボタンで [高地モード] を選択する

2) ◀▶ボタンで [高地モード] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オフ] ↔ [オン]

[オフ]	海抜 1 400 m 未満で使用する場合
[オン]	高地（海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満）で使用する場合

お知らせ

- 海抜 1 400 m 未満で使用する場合は必ず [オフ] に、海抜 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満で使用する場合は必ず [オン] に設定してください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- 海抜 2 700 m 以上の場所には設置しないでください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- [オン] に設定した場合、ファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。

[ランプパワー]

本機のランプ電力を切り換えます。使用環境や目的に合わせて設定してください。

1) ▲▼ボタンで [ランプパワー] を選択する

2) ◀▶ボタンで [ランプパワー] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[ノーマル] ⟷ [ECO]

[ノーマル]	高い輝度が必要な場合
[ECO]	高い輝度を必要としない場合

お知らせ

- [ECO] の場合は、消費電力の節約、動作音の低減を図ることができます。
- 本項目は、付属の CD-ROM に収録されている「複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア」の「ECO 設定レベル」の表示に反映されます。

[ランプ使用時間]

ランプの使用時間（換算値）を表示します。

お 願 い

- ランプを交換する場合は、"ランプユニットの交換手順"（☞ 98 ページ）に従って交換し、ランプの使用時間（換算値）を 0 にリセットしてください。

お知らせ

- ランプユニットの交換時期に達すると、ランプの使用時間（換算値）を赤色とグレーで交互に表示してお知らせします。交換時期については、"ランプユニットの交換時期"（☞ 98 ページ）をご覧ください。

[スケジュール]

コマンドの実行スケジュールを曜日ごとに設定します。

1) ▲▼ボタンで [スケジュール] を選択する

2) ◀▶ボタンで [スケジュール] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オフ] ⟷ [オン]

[オフ]	設定したスケジュールを無効にします。
[オン]	設定したスケジュールを有効にします。

お知らせ

- [スケジュール] を [オン] に設定すると、[ECO マネージメント]の[スタンバイモード]（☞65ページ）の設定は強制的に [ノーマル] となり設定の変更はできなくなります。この状態で [スケジュール] を [オフ] にしても、[スタンバイモード] の設定は [ノーマル] のままです。

■プログラムの割り当て方法

3) 手順 2）で [オン] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- **[スケジュール]** 画面が表示されます。

4) 曜日ごとにプログラムを選択し、割り当てる

- ▲▼ボタンで曜日を選び、◀▶ボタンでプログラム番号を選択します。
- プログラムは、プログラム番号 1 ～ 7 まで設定できます。"- - -" は未設定を表します。

■各プログラムの設定方法

1 プログラムにつき 16 コマンドまでの設定ができます。

3) 手順 2）で［オン］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
4) ▲▼ボタンで［プログラム編集］を選択する
5) ◀▶ボタンで設定したいプログラム番号（［プログラム 1］～［プログラム 7］）を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
6) ▲▼ボタンでコマンド番号（01 ～ 16）を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
   - ▲▼ボタンでページの切り換えができます。
7) ▲▼ボタンで［時刻］または［コマンド］を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

<table>
<tr><td>[時刻]</td><td colspan="2">コマンドを実行する時刻を、▲▼ボタンで設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">[コマンド]</td><td colspan="2">設定した時刻に実行するコマンドを、以下のいずれかから選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">[電源オン]</td></tr>
<tr><td colspan="2">[スタンバイ]</td></tr>
<tr><td>[AV ミュート]</td><td>[オン]
[オフ]</td></tr>
<tr><td>[入力]</td><td>[COMPUTER]
[VIDEO]
[S-VIDEO]
[COMPONENT]
[HDMI 1]
[HDMI 2]</td></tr>
<tr><td>[ランプパワー]</td><td>[ノーマル]
[ECO]</td></tr>
<tr><td>[スタンバイ時動作]</td><td>[オン]
[オフ]</td></tr>
<tr><td colspan="2">[音量]</td></tr>
</table>

8) ▲▼ボタンで［登録］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- ランプの短期間点滅を行うような設定を登録しようとすると、画面上にエラーメッセージが表示され、登録されません。再度時刻とコマンドの設定を行ってください。
- 同じ時刻に設定されたコマンドは、コマンド番号の若い順に実行されます。
- 時刻はローカル時刻で動作します。（☞ 68ページ）
- ［スケジュール］で設定されたコマンドの実行前に、リモコンや本体操作部での操作、制御コマンドによる操作を実行した場合、本機能で設定したコマンドが実行されないことがあります。

[ECO マネージメント]

使用状態に応じてランプ電力を最適化し、消費電力を低減する機能です。

1) ▲▼ボタンで［ECO マネージメント］を選択する
2) 〈ENTER〉ボタンを押す
   - ［ECO マネージメント］画面が表示されます。
3) ▲▼ボタンで項目を選択する

■手順 3）で［省エネ設定］を設定する場合

［環境照度連動］、［無信号連動］、［AV ミュート連動］の 3 つの機能を有効にするかどうかを設定します。

お知らせ

- ［ランプパワー］（☞ 63 ページ）の設定が［ECO］の場合は、設定できません。

4) ◀▶ボタンで［省エネ設定］を切り換える
   - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オン］ ⟷ ［オフ］

[オン]	省エネ設定を有効にします。
[オフ]	省エネ設定を無効にします。

5) ▲▼ボタンで［環境照度連動］、［無信号連動］または［AV ミュート連動］を選択する

[環境照度連動]	設置場所の明るさにより、ランプ電力を調整します。
[無信号連動]	無信号時、ランプ電力を下げます。
[AVミュート連動]	AV ミュート時、ランプ電力を下げます。

6）◀▶ボタンで設定を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オン］ ←→ ［オフ］

［オン］	設定を有効にします。
［オフ］	設定を無効にします。

お知らせ

- 以下の場合はランプ電力が自動で低下しないことがあります。
  - ［ランプパワー］を［ECO］に設定している場合
  - ランプ点灯直後や［ランプパワー］設定直後などの場合
- ［省エネ設定］が［オフ］の場合、［環境照度連動］、［無信号連動］、［AV ミュート連動］の設定はできません。
- 本項目は、付属の CD-ROM に収録されている「複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア」の「ECO 設定レベル」の表示に反映されます。

■手順 3）で［無信号自動オフ］を設定する場合

入力信号がない状態が続くと、自動的に本機の電源をスタンバイ状態にする機能です。スタンバイ状態にするまでの時間を設定できます。

4）◀▶ボタンで［無信号自動オフ］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［無効］ ←→ ［15 分］ ←……→ ［60 分］

［無効］	無信号自動オフを無効にします。
［15分］～［60分］	無信号自動オフを有効にします。 5 分間隔で設定が可能です。

お知らせ

- 本項目は、付属の CD-ROM に収録されている「複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア」の「ECO 設定レベル」の表示に反映されます。
- お買い上げ時、または全設定初期化後は、［30 分］に設定されています。

■手順 3）で［スタンバイモード］を設定する場合

スタンバイ状態での電力を設定します。

4）◀▶ボタンで［スタンバイモード］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［ECO］ ←→ ［ノーマル］

［ECO］	スタンバイ状態時に一部の機能を制限し、電力を下げます。
［ノーマル］	スタンバイ状態時の機能を制限しません。

お知らせ

- ［スケジュール］を［オン］に設定すると、［ECO マネージメント］の［スタンバイモード］の設定は強制的に［ノーマル］となり設定の変更はできなくなります。この状態で［スケジュール］を［オフ］にしても、［スタンバイモード］の設定は［ノーマル］のままです。
- ［ECO］に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能の使用はできません。また、〈SERIAL〉端子からの制御コマンドの一部が使用できません。電源を入れた後の投写開始が［ノーマル］設定時と比べて遅くなることがあります。
- ［ノーマル］に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能が使用できます。

[エミュレート]

本機の〈SERIAL〉端子を使用してコンピューターで制御する際に、以前に購入した弊社プロジェクターの制御コマンドを使用する場合に設定します。既存の弊社プロジェクター用制御ソフトウェア等を引き続き使用できます。

1) ▲▼ボタンで [エミュレート] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [エミュレート] 画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択する

[デフォルト]	LZ370 系
[D3500]	D3500 系
[D4000]	D4000 系
[D/W5k シリーズ]	DX800 系、DW730 系、D5700 系、DW5100 系、D5600 系、DW5000 系、D5500 系
[D/W/Z6k シリーズ]	DZ6710 系、DZ6700 系、DW6300 系、D6000 系、D5000 系、DZ570 系、DW530 系、DX500 系
[L730]	L730 系、L720 系、L520 系
[L780]	L780 系、L750 系
[L735]	L735 系
[L785]	L785 系
[LB/W シリーズ]	LB3 系、LB2 系、LB1 系、ST10 系、LB90 系、LW80NT 系、LB80 系、LB75 系
[F/W シリーズ]	FW430 系、FX400 系、FW300 系、F300 系、F200 系、FW100 系、F100 系

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- "〈SERIAL〉端子について" (☞ 107ページ) をご覧ください。

[ファンクションボタン]

リモコンの〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。また、その割り当て設定を解除します。

■〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンへの割り当てを解除する場合

1) ▲▼ボタンで [ファンクションボタン] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

3) ▲▼ボタンを押して、割り当てを解除したいファンクションボタン (F1 ～ F3) の [無効] を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

5) 確認メッセージが表示されるので、[はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

［音声設定］

音声機能の詳細を設定します。

1）▲▼ボタンで［音声設定］を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

- **［音声設定］**画面が表示されます。

3）▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンでレベルの調整、または設定の切り換えを行う

■［音量］

音声出力の音量を調整します。

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	音量が大きくなります。	最大値 63
◀ボタンを押す	音量が小さくなります。	最小値 0

■［バランス］

音声出力の左右の音声バランスを調整します。

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	右の音量が大きくなります。	L16～R16
◀ボタンを押す	左の音量が大きくなります。	

■［スタンバイ時動作］

スタンバイ状態での音声出力を設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オフ］ ←→ ［オン］

［オフ］	スタンバイ時は音声を出力しません。
［オン］	スタンバイ時に音声を出力します。

お知らせ

- ［ECO マネージメント］の［スタンバイモード］手順 3）で［スタンバイモード］を設定する場合（☞ 65 ページ）を［ECO］に設定しているときは、スタンバイ状態での音声出力はできません。

■［音声入力選択］

接続機器からの音声入力を選択します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

●［HDMI 1］を設定する場合

［HDMI 1 AUDIO IN］ ←→ ［AUDIO IN］

［HDMI 1 AUDIO IN］	HDMI 1 入力選択時に HDMI 1 の音声を出力します。
［AUDIO IN］	HDMI 1 入力選択時に〈AUDIO IN〉端子に接続した音声を出力します。

●［HDMI 2］を設定する場合

［HDMI 2 AUDIO IN］ ←→ ［AUDIO IN］

［HDMI 2 AUDIO IN］	HDMI 2 入力選択時に HDMI 2 の音声を出力します。
［AUDIO IN］	HDMI 2 入力選択時に〈AUDIO IN〉端子に接続した音声を出力します。

お知らせ

- 入力切り換えで［HDMI 1］または［HDMI 2］以外を選択時は、〈AUDIO IN〉端子に接続した音声を出力します。

[日付と時刻]

本機内蔵の時計のタイムゾーンと日時を設定します。
工場出荷時は日本時間の設定（+09:00）です。

■タイムゾーンの設定

1) ▲▼ボタンで［日付と時刻］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［日付と時刻］画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで［タイムゾーン］を選択する

4) ◀▶ボタンで［タイムゾーン］を切り換える

■自動で日時を設定する場合

1) ▲▼ボタンで［日付と時刻］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［日付と時刻］画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで［時刻設定］を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［時刻設定］画面が表示されます。

5) ▲▼ボタンで［NTP 同期］を選択し、◀▶ボタンで［オン］に切り換える
- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オフ］ ⟷ ［オン］

［オフ］	NTP サーバーに同期しません。
［オン］	NTP サーバーに同期します。

6) ▲▼ボタンで［確定］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 日付と時刻設定が完了します。

■手動で日時を設定する場合

1) ▲▼ボタンで［日付と時刻］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［日付と時刻］画面が表示されます。

3) ［時刻設定］を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［時刻設定］画面が表示されます。

5) ▲▼ボタンで［NTP 同期］を選択し、◀▶ボタンで［オフ］に切り換える

6) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択し、◀▶ボタンでローカル日時を設定する

7) ▲▼ボタンで［確定］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 日付と時刻設定が完了します。

お知らせ

- 自動で日時を設定するには、ネットワークへの接続が必要です。
- ［NTP 同期］を［オン］にした直後の NTP サーバーとの同期に失敗したときや、NTP サーバーの設定がされていない状態で［NTP 同期］を［オン］にした場合、［NTP 同期］は［オフ］に戻ります。
- NTP サーバーの設定は WEB ブラウザーから本機にアクセスして実行してください。詳しくは、“［時刻設定］ページ”（☞ 82 ページ）をご覧ください。

［テストパターン］

本機内蔵のテストパターンを表示します。
位置、サイズなどの設定内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種調整を行ってください。

1) ▲▼ボタンで［テストパターン］を選択する

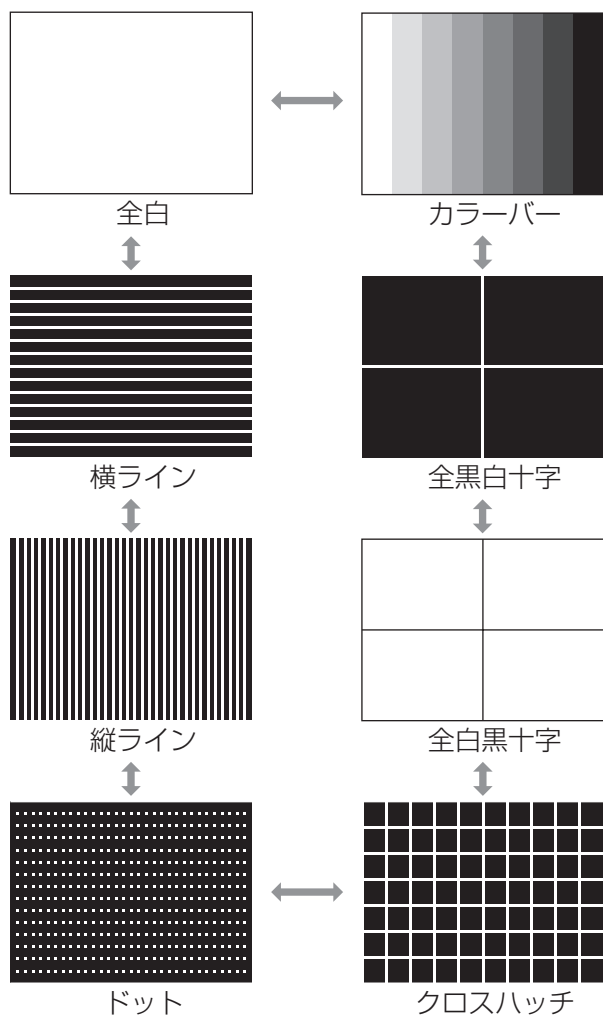
2)〈ENTER〉ボタンを押す

- テストパターンが表示されます。

3) ◀▶ボタンで各種テストパターンを切り換える

- 〈MENU〉ボタンまたは〈RETURN〉ボタンを押すと、［プロジェクター設定］のサブメニュー表示に戻ります。

■内蔵テストパターンの表示チャート

◀▶ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

お知らせ

- 初期画面は全白のパターンです。〈FUNC1〉～〈FUNC3〉ボタンに割り当てた場合は、クロスハッチが初期画面となります。

［全設定初期化］

各種設定値を工場出荷時の値に戻します。
この操作を実行すると、本機は初期化のためにスタンバイ状態になります。

1) ▲▼ボタンで［全設定初期化］を選択する

2)〈ENTER〉ボタンを押す

- ［全ての設定を初期化します。よろしいですか？］と表示されます。
- メニューの［セキュリティー］→［パスワード設定］（☞ 70 ページ）を［オン］に設定している場合、パスワード入力が必要です。

3) ◀▶ボタンで［はい］を選択する

4)〈ENTER〉ボタンを押す

- ［初期化中･･･］の画面が表示され、その後［電源をオフします。］と表示されます。

5)〈ENTER〉ボタンを押す

- このとき、〈ENTER〉ボタンと電源〈⏻/｜〉ボタン以外のキー操作はすべて無効となっています。

6) 本体の電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R）〉が赤色に点灯または点滅（ファンが停止）するまで待つ

7) 主電源〈MAIN POWER〉スイッチの〈OFF〉側を押して電源を切る

- 再度電源を入れると初期設定（INITIAL SETTING）の画面が表示されます。（☞ 16ページ）

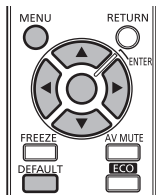
お知らせ

- プロジェクターの使用時間、ランプの使用時間、［ネットワーク］の設定は初期化されません。
- 全設定初期化後は、パスワードは工場出荷時の状態に戻り、［パスワード設定］は［オフ］になります。

［セキュリティー］について

メニュー画面で、メインメニューから［セキュリティー］を選び、サブメニューから項目を選んでください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 39 ページ）をご覧ください。

- 初めてご使用になる場合
  初期パスワード：▲▶▼◀▲▶▼◀ボタンの順に押し、〈ENTER〉ボタンを押してください。
- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。

お願い

- **［セキュリティー］**画面を表示してから行ってください。
- **［セキュリティー］**画面を表示するとパスワードの入力が求められます。設定したセキュリティーパスワードを入力してから操作を続けてください。
- 以前にパスワードを変更した場合、変更後のパスワードを入力し、〈ENTER〉ボタンを押してください。

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、＊印で表示されます。

［パスワード設定］

投写を開始したときにセキュリティーパスワード画面を表示させます。間違ったパスワードを入力した場合、電源〈⏻/｜〉ボタン以外の操作ができなくなります。

1）▲▼ボタンで［パスワード設定］を選択する

2）◀▶ボタンで［パスワード設定］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オフ］ ⟷ ［オン］

［オフ］	セキュリティーパスワード入力を無効にします。
［オン］	セキュリティーパスワード入力を有効にします。

お知らせ

- お買い上げ時、または全設定初期化後は、［パスワード設定］は［オフ］になっています。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- セキュリティーパスワードは、［パスワード設定］を［オン］に設定したあと、電源を切る（スタンバイ状態にする）と有効になります。

［パスワード変更］

セキュリティーパスワードを変更します。

1）▲▼ボタンで［パスワード変更］を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

- **［パスワード変更］**画面が表示されます。

3）▲▼◀▶ボタン、数字（〈1〉～〈6〉）ボタンでパスワードを設定する

- 最大 8 つのボタン操作を設定できます。

4）〈ENTER〉ボタンを押す

5）確認のため、再度パスワードを入力する

6）〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、＊印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。
- セキュリティーパスワードに数字を用いた場合、リモコンを紛失すると、セキュリティーパスワードの初期化が必要になります。初期化方法については、販売店にご相談ください。

[表示設定]

投写中の映像に、セキュリティーメッセージ（文字や画像）を重ねて表示させせます。

1) ▲▼ボタンで [表示設定] を選択する

2) ◀▶ボタンで [表示設定] を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オフ]	テキスト / ユーザーロゴ表示を無効にします。
[テキスト]	テキスト表示を有効にします。
[ユーザーロゴ]	「ロゴ転送ソフトウェア」で転送されたロゴを表示します。*1

*1 : 「ロゴ転送ソフトウェア」は付属の CD-ROM に収録されています。

お知らせ

● [ユーザーロゴ] の画像作成には、付属の CD-ROM に収録されている「ロゴ転送ソフトウェア」を使用します。
● クローズドキャプションと同時に表示できません。

[テキスト変更]

[表示設定] で [テキスト] を選択し、テキスト表示を有効にしたときに表示する文字を変更します。

1) ▲▼ボタンで [テキスト変更] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

● **[テキスト変更]** 画面が表示されます。

3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する

● 最大 22 文字まで入力できます。

4) ▲▼◀▶ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

● テキストが変更されます。

[メニューロック]

〈MENU〉ボタンを押したときに、メニューを表示して操作できるようにするかどうかを設定します。

1) ▲▼ボタンで [メニューロック] を選択する

2) ◀▶ボタンで [メニューロック] を切り換える

● ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オフ] ⟷ [オン]

[オフ]	メニュー操作のロックを無効にします。
[オン]	メニュー操作をロックします。

お知らせ

● [メニューロック] を [オン] に設定後、間違ったメニューロックパスワードを入力した場合は、メニューの操作ができません。
● お買い上げ時、または全設定初期化後は、[メニューロック] は [オフ] に設定されています。
● ロック解除の状態は、本機がスタンバイ状態になるまで維持されます。

[メニューロックパスワード]

メニューロックパスワードを変更します。

1) ▲▼ボタンで [メニューロックパスワード] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [メニューロックパスワード] 画面が表示されます。

3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する
- 最大 16 文字まで入力できます。

4) ▲▼◀▶ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 中止する場合は [キャンセル] を選んでください。

お願い
- 初めてご使用になるとき、または全設定初期化後、初期のパスワードは「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

[操作設定]

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

1) ▲▼ボタンで [操作設定] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [操作設定] 画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える
- [無効] に設定すると確認メッセージが表示されるので、[はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押してください。

■ [本体操作部]

- 本体操作部からの制御の制限を設定できます。

[有効]	本体のボタン操作を有効にします。
[無効]	本体のボタン操作を無効にします。

■ [リモコン]

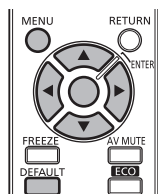
- リモコンからの制御の制限を設定できます。

[有効]	リモコンのボタン操作を有効にします。
[無効]	リモコンのボタン操作を無効にします。

お知らせ
- [本体操作部] と [リモコン] の操作を両方とも [無効] にした場合、電源を切る（スタンバイ状態にする）ことができなくなります。
  [無効] の解除方法：
  スタンバイ状態や投写中に、本体操作部の〈ENTER〉ボタンを押しながら〈MENU〉ボタンを 2 秒以上押すと、[本体操作部] の設定が [無効] から [有効] に切り換わります。
  [リモコン] の設定は本体操作部で変更してください。

[ネットワーク] について

メニュー画面で、メインメニューから [ネットワーク] を選び、サブメニューから項目を選んでください。
メニュー画面の操作については、"メニュー画面の操作方法" (☞ 39 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。

[有線 LAN]

ネットワーク機能を使用する前に、ネットワークの初期設定を行ってください。

1) ▲▼ボタンで [有線 LAN] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- [有線 LAN 詳細設定] 画面が表示されます。

3) ▲▼ボタンで各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

[DHCP]	DHCP サーバーを利用し自動的に IP アドレスを取得する場合は [オン] にします。DHCP サーバーを利用しない場合は [オフ] にします。
[IP アドレス]	DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
[デフォルトゲートウェイ]	DHCP サーバーを利用しない場合はデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

4) ▲▼◀▶ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 現在のネットワーク設定を保存します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時、あらかじめ下記の設定がされています。

[DHCP]	[オフ]
[IP アドレス]	192.168.10.100
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[デフォルトゲートウェイ]	192.168.10.1

[プロジェクター名変更]

ネットワーク上で表示される本機の名前を変更できます。

1) ▲▼ボタンで [プロジェクター名変更] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- [プロジェクター名変更] 画面が表示されます。

3) ▲▼◀▶ボタンで文字を選び、〈ENTER〉ボタンを押して入力する

- [全削除] を選ぶと入力した文字のすべてを削除でき、リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択されている 1 文字を消去できます。

4) プロジェクター名の入力を完了後、▲▼◀▶ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 変更をキャンセルする場合は、[キャンセル] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押してください。

お知らせ

- プロジェクター名の工場出荷時の設定は、Name0000 です。

[ネットワークコントロール]

ネットワーク接続しているコンピューターからプロジェクターを制御したい場合に設定します。

1）▲▼ボタンで［ネットワークコントロール］を選択する

2）◀▶ボタンで［ネットワークコントロール］を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オン］ ←→ ［オフ］

［オン］	ネットワーク接続しているコンピューターからの制御を有効にします。
［オフ］	ネットワーク接続しているコンピューターからの制御を無効にします。

[ステータス]

本機のネットワーク状態を表示します。

1）▲▼ボタンで［ステータス］を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ステータス］画面が表示されます。

[初期化]

ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻します。

1）▲▼ボタンで［初期化］を選択する

2）〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ネットワークの設定を初期化します。よろしいですか？］と表示されます。

お知らせ

- メニューの［セキュリティー］→［パスワード設定］(☞ 70 ページ)を［オン］に設定している場合、セキュリティーパスワード入力が必要です。

3）◀▶ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、WEB ブラウザーコントロールを使用してコンピューターから下記のような操作ができます。
- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- E メールメッセージの送信設定

「Crestron RoomView」はネットワークに接続された複数のシステムの様々な機器を、コンピューターで一括して管理・制御する Crestron Electronics, Inc. 製のシステムです。
本機は「Crestron RoomView」に対応しています。
- 「Crestron RoomView」の詳細については、Crestron Electronics, Inc. の WEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
  URL http://www.crestron.com
  また、「Crestron RoomView Express」のダウンロードは、Crestron Electronics, Inc. の WEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
  URL http://www.crestron.com/getroomview

お知らせ
- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。
- WEB サイトの情報や URL は予告なく変更・中止・削除されることがあります。

- 本機能をご使用になる場合は、WEB ブラウザーが必要です。あらかじめ WEB ブラウザーが利用できることを確認してください。
  対応 OS：Windows XP/Windows Vista/Windows 7、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7
  対応ブラウザー：Internet Explorer 7.0/8.0/9.0、Safari 4.0/5.0 以降（Mac OS）
- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはストレートまたはクロス結線 *1 で、カテゴリー 5 以上対応のものをご使用ください。
  *1： システム構成により、ストレート / クロスのいずれか、または両方使用可能かは異なります。詳細はネットワーク管理者にご相談ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

接続に必要なコンピューター環境

- はじめに、お使いのコンピューターに有線 LAN が装備されているかどうかご確認ください。
- プロジェクターとコンピューターを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

■チェック 1　LAN ケーブルについて

- ケーブルが正しく接続されていますか。
- LAN ケーブルは、カテゴリー 5 以上に対応したのものを使用してください。

■チェック 2　有線 LAN の設定

有線 LAN 機能が内蔵されているコンピューター
- 有線 LAN が有効になっていますか。

有線 LAN 機能が内蔵されていないコンピューター
- 有線 LAN アダプターが正しく認識されていますか。
- 有線 LAN アダプターが有効になっていますか。
- 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
  ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

コンピューターのネットワーク設定

使用するコンピューターのネットワーク設定（有線 LAN）を行います。

1) コンピューターの電源をオンにする

2) ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

- プロジェクターの設定が工場出荷の状態（☞ 73 ページ）であれば、コンピューター側は下記ネットワーク設定でお使いいただけます。

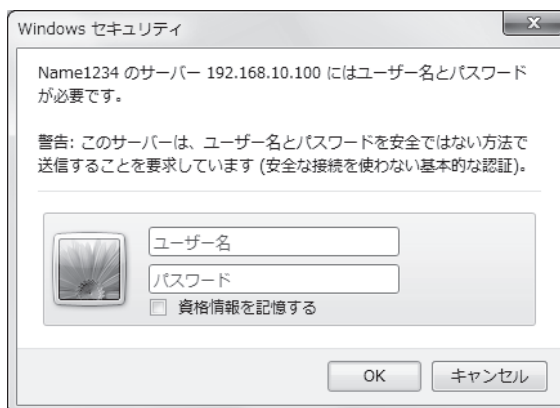
IP アドレス	192.168.10.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1

WEB ブラウザーからのアクセスのしかた

1) コンピューターの WEB ブラウザーを起動する

2) WEB ブラウザーの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力する

3) ユーザー名とパスワードを入力する

- 工場出荷時の設定は、ユーザー名：user1（ユーザー権限）/admin1（アドミニストレーター権限）、パスワード：panasonic（小文字）です。

4) OK をクリックする

- ［プロジェクター情報］ページが表示されます。

お知らせ

- WEBブラウザーで制御する場合は、[ネットワークコントロール]（☞74ページ）を[オン]に設定してください。
- WEB ブラウザーを同時に複数立ち上げて、設定や制御をするのは避けてください。また、複数台のパソコンから同一のプロジェクターに対して設定や制御をするのも避けてください。
- 最初にパスワードを変更してください。（☞87 ページ）
- アドミニストレーター権限は、全機能を使用できます。ユーザー権限は、[プロジェクター情報]（☞78ページ）、[ネットワーク情報]（☞80ページ）、[基本制御]（☞80ページ）、[詳細制御]（☞80ページ）、[パスワード変更]（☞87 ページ）のみ画面に表示され、使用できます。
- パスワードを 3 回続けて間違えると、数分間ロックされます。

■各項目の説明

(1) ページ切り換えタブ
クリックすると、ページが切り換わります。

(2) [モニター情報]
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

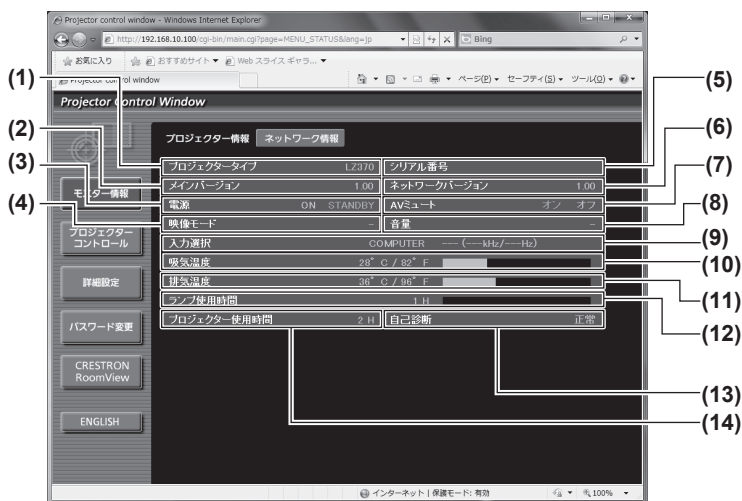
(3) [プロジェクターコントロール]
この項目をクリックすると、［プロジェクターコントロール］ページが表示されます。

(4) [詳細設定]
この項目をクリックすると、［詳細設定］ページが表示されます。

(5) [パスワード変更]
この項目をクリックすると、［パスワード変更］ページが表示されます。

(6) [CRESTRON RoomView]
この項目をクリックすると、RoomView の操作ページが表示されます。

■ [プロジェクター情報] ページ

[モニター情報] → [プロジェクター情報] をクリックします。
以下の項目における本機の状態を表示します。

(1) [プロジェクタータイプ]
プロジェクターの種類を表示します。

(2) [メインバージョン]
プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。

(3) [電源]
電源の状態を表示します。

(4) [映像モード]
映像モードの状態を表示します。

(5) [シリアル番号]
プロジェクターのシリアル番号を表示します。

(6) [ネットワークバージョン]
ネットワークのファームウェアのバージョンを表示します。

(7) [AV ミュート]
AV ミュートの状態を表示します。

(8) [音量]
音量の状態を表示します。

(9) [入力選択]
選択している映像入力を表示します。

(10) [吸気温度]
プロジェクターの吸気温度状態を表示します。

(11) [排気温度]
プロジェクターの排気温度状態を表示します。

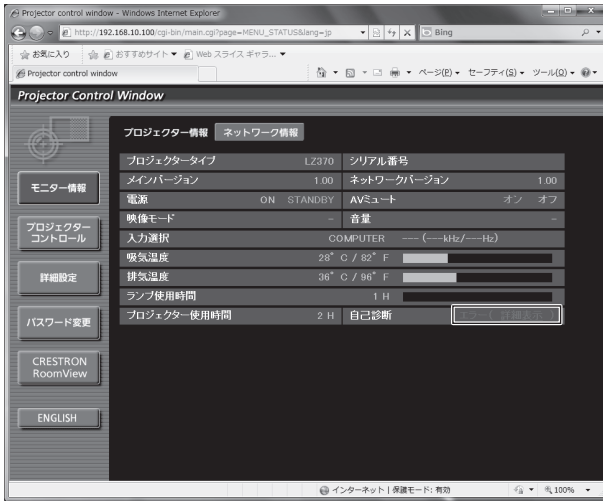
(12) [ランプ使用時間]
ランプの使用時間（換算値）を表示します。

(13) [自己診断]
自己診断情報を表示します。

(14) [プロジェクター使用時間]
プロジェクターの稼働時間を表示します。

■エラー情報ページ

［プロジェクター情報］画面の自己診断情報表示欄に［エラー(詳細表示)］が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。

[OK]:正常動作
[FAILED]:異常発生
[WARNING]:警告

●異常発生［FAILED］の項目説明：

項目	説明
[MAIN CPU BUS]	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[FAN]	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[INTAKE AIR TEMPERATURE]	吸気温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している、吸気口がふさがれている、あるいはエアーフィルターが目づまりしている可能性があります。
[EXHAUST AIR TEMPERATURE]	排気温度が高くなっています。排気口がふさがれている、または高地モードの設定を間違えている可能性があります。
[LAMP REMAIN TIME]	ランプ使用時間が所定の時間を超えており、ランプを交換する時期になっています。
[LAMP STATUS]	ランプ点灯に失敗しています。光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
[APERTURE（CONTRAST-SHUTTER)]	コントラストシャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[INTAKE AIR TEMP.SENSOR]	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
[EXHAUST AIR TEMP.SENSOR]	排気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
[BATTERY]	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
[AIR FILTER]	エアーフィルターユニットにほこりがたまりすぎています。 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にして(☞ 33 ページ)、エアーフィルターのお手入れをしてください。(☞ 93 ページ)

[ネットワーク情報] ページ

[モニター情報] → [ネットワーク情報] をクリックします。
現在のネットワークの設定情報が表示されます。

[基本制御] ページ

[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。

(1) [入力切換]
入力を切り換えます。

(2) [音量]
音量を調整します。

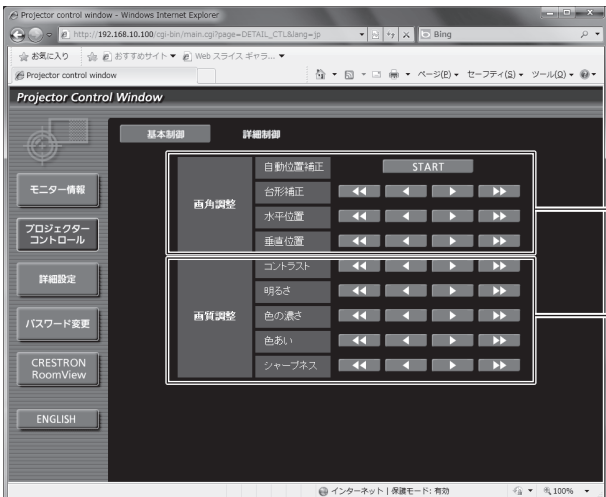
(3) [映像モード]
映像モードを切り換えます。

(4) [AV ミュート]
AV ミュートのオン / オフを切り換えます。

(5) [電源]
電源の切 / 入を切り換えます。

(6) [クローズドキャプション]
クローズドキャプションの設定を切り換えます。

[詳細制御] ページ

[プロジェクターコントロール] → [詳細制御] をクリックします。

(1) [画角調整]
画角に関する項目を操作します。

(2) [画質調整]
画質に関する項目を操作します。

■ [LAN 設定]ページ

[詳細設定] → [LAN 設定]をクリックします。

- [LAN 設定]をクリックすると、[CAUTION!]画面が表示されます。
- [Next]ボタンをクリックすると、現在の設定内容が表示されます。
- [Change]ボタンをクリックすると、下図の設定変更画面が表示されます。

(1) [DHCP オン] / [DHCP オフ]
DHCP クライアント機能を有効にする場合は[DHCP オン]にします。

(2) [IP アドレス]
DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。

(3) [サブネットマスク]
DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

(4) [デフォルトゲートウェイ]
DHCP サーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

(5) [DNS1]
DNS1 サーバーアドレス(プライマリー)の入力使用可能文字:
数字(0 ~ 9)、ピリオド(.)
(例:192.168.0.253)

(6) [DNS2]
DNS2 サーバーアドレス(セカンダリー)の入力使用可能文字:
数字(0 ~ 9)、ピリオド(.)
(例:192.168.0.254)

(7) [Back] / [Next]
[Back]ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。[Next]ボタンをクリックすると、設定内容を確認する画面が表示されます。[Submit]ボタンをクリックして設定を更新します。

お知らせ

- ブラウザーの「戻る」または「進む」機能を使用した場合、「ページの有効期限切れ」という警告画面が表示されることがあります。その場合、以降の動作は保証されませんので、再度[LAN 設定]をクリックしてください。

■[時刻設定]ページ

[詳細設定] → [時刻設定]をクリックします。

(1) [タイムゾーン]
タイムゾーンを選択します。（GMT+09:00）

(2) [タイムゾーンのセット]
タイムゾーンの設定を更新します。

(3) [NTP 同期]
自動で日時を設定する場合は［ON］にします。

(4) [NTP サーバー名]
自動で日時を設定する場合は NTP サーバーの IP アドレスかサーバー名を入力します。
（サーバー名を入力する場合は DNS サーバーの設定が必要です。）

(5) [日付]
変更する日付を入力します。

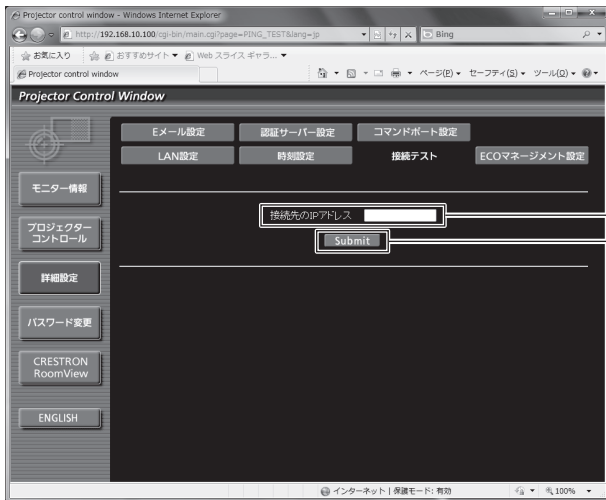
(6) [時刻]
変更する時間を入力します。

(7) [日時のセット]
日時設定を更新します。

お知らせ

- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、本機内部の電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

■[接続テスト]ページ

メールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
[詳細設定] → [接続テスト]をクリックします。

(1) [接続先の IP アドレス]
テストするサーバーの IP アドレスを入力します。

(2) [Submit]
接続テストを実行します。

```
PING 192.168.10.218 (192.168.10.218): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.10.218: seq=0 ttl=128 time=1.228 ms
64 bytes from 192.168.10.218: seq=1 ttl=128 time=0.942 ms
64 bytes from 192.168.10.218: seq=2 ttl=128 time=0.854 ms
64 bytes from 192.168.10.218: seq=3 ttl=128 time=0.962 ms

--- 192.168.10.218 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.854/0.996/1.228 ms
```

```
PING 192.168.10.217 (192.168.10.217): 56 data bytes

--- 192.168.10.217 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

(3) 接続できた場合の表示例

(4) 接続できなかった場合の表示例

■ [ECO マネージメント設定］ページ

プロジェクターの ECO マネージメントに関する設定を行うことができます。
ここでの設定は、プロジェクターの［プロジェクター設定］→［ランプパワー］、［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［省エネ設定］、［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［無信号自動オフ］で設定する内容と同じです。
［詳細設定］→［ECO マネージメント設定］をクリックします。

(1)［ランプパワー］
ランプパワーの設定を選択します。

(2)［省エネ設定］
省エネ設定を選択します。

(3)［環境照度連動］
環境照度連動の設定を選択します。

(4)［無信号連動］
無信号連動の設定を選択します。

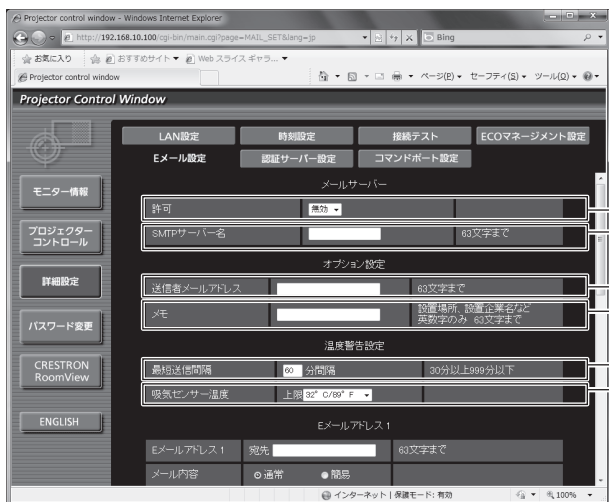
(5)［AV ミュート連動］
AV ミュート連動の設定を選択します。

(6)［無信号自動オフ］
無信号自動オフの設定を選択します。

(7)［Submit］
設定を更新します。

■［E メール設定］ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいた E メールアドレス（最大 2 か所）にメールを送信できます。

［詳細設定］ →［E メール設定］をクリックします。

(1)［許可］
E メール機能を使用する場合は［有効］を選択してください。

(2)［SMTP サーバー名］
E メールサーバー（SMTP）の IP アドレスかサーバー名を入力してください。サーバー名を入力する場合は、DNS サーバーの設定が必要です。

(3)［送信者メールアドレス］
プロジェクターの E メールアドレスを入力してください。（半角で 63 文字まで）

(4)［メモ］
E メールの発信元がわかりやすいように、プロジェクターの設置場所などを入力できます。（半角で 63 文字まで）

(5)［最短送信間隔］
温度警告メールの最短時間間隔を変更できます。初期値は 60 分です。この場合、温度警告メールを送信後 60 分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

(6)［吸気センサー温度］
温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

(1)［E メールアドレス 1］
送信する宛先の E メールアドレスを入力してください。

(2) E メールを送信する条件の設定
E メールを送信する条件を選択します。

［メール内容］：
　［通常］か［簡易］を選択します。

［エラー発生時］：
　自己診断でエラーが発生した場合に送信します。

［ランプ使用時間］：
　ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合に送信します。

［吸気センサー温度］：
　吸気温度が上欄に設定された値になった場合に送信します。

［定期報告］：
　E メールを定期的に送信する場合はチェックします。
　チェックの付いている曜日・時間にメールを送信します。

■［E メール設定］ページ（つづき）

(1)［E メールアドレス 2］
2 つの E メールアドレスを使う場合に、送信する宛先の E メールアドレスを入力します。
2 つの E メールアドレスを使わない場合は未記入にします。

(2) E メールを送信する条件の設定
2 つ目の E メールアドレスに E メールを送信する条件を選択します。

［メール内容］：
［通常］か［簡易］を選択します。

［エラー発生時］：
自己診断でエラーが発生した場合に送信します。

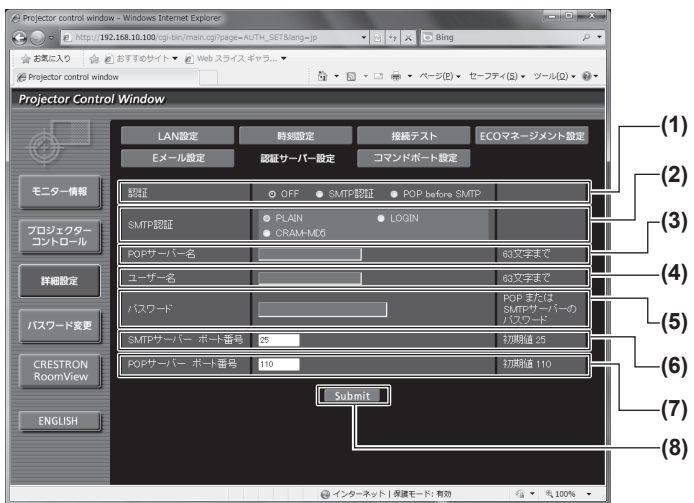
［ランプ使用時間］：
ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合に送信します。

［吸気センサー温度］：
吸気温度が上欄に設定された値になった場合に送信します。

［定期報告］：
2 つ目の E メールアドレスに E メールを定期的に送信する場合はチェックします。チェックの付いている曜日・時間にメールを送信します。

(3)［Submit］
設定を更新します。

■［認証サーバー設定］ページ

メール送信に POP 認証または SMTP 認証が必要な場合は認証項目を設定します。
［詳細設定］→［認証サーバー設定］をクリックします。

(1)［認証］
インターネットプロバイダー側が指示する認証方式を選択します。

(2)［SMTP 認証］
SMTP 認証を選択した場合に設定します。

(3)［POP サーバー名］
POP サーバー名を入力します。（半角で 63 文字まで）
使用可能文字：
英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）
マイナス記号（–）ピリオド（.）

(4)［ユーザー名］
POP サーバーまたは SMTP サーバーのユーザー名を入力します。（半角で 63 文字まで）

(5)［パスワード］
POP サーバーまたは SMTP サーバーのパスワードを入力します。（半角で 63 文字まで）

(6)［SMTP サーバー ポート番号］
SMTP サーバーのポート番号を入力します。
（通常は 25 番です）

(7)［POP サーバー ポート番号］
POP サーバーのポート番号を入力します。
（通常は 110 番です）

(8)［Submit］
設定を更新します。

■送信するメール内容

●E メール設定時のメール送信例

E メール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

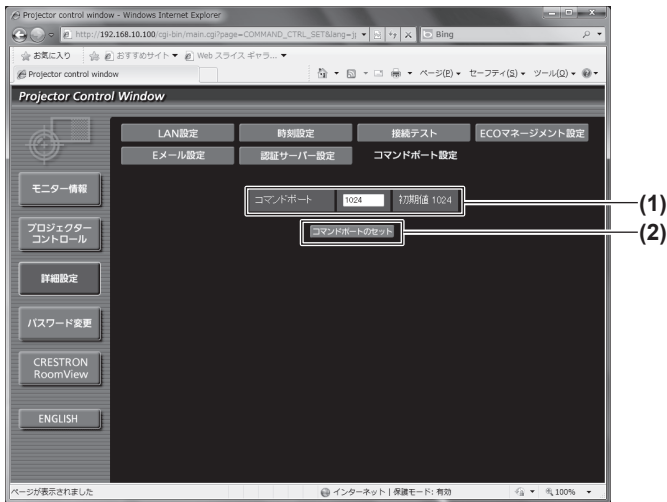
```
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type         : LZ370
Serial No              : SC1234567

-----  E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME                    at [ 60] minutes interval
INTAKE AIR TEMPERATURE  Over [ 32C / 89F ]

ERROR                                        [ OFF ]
LAMP RUNTIME                                 [ OFF ]   at REMAIN [ 400] H
LAMP RUNTIME                                 [ OFF ]   at REMAIN [ 200] H
INTAKE AIR TEMPERATURE                       [ OFF ]
PERIODIC REPORT
Sunday    [ OFF ]    Monday    [ OFF ]     Tuesday   [ OFF ]  Wednesday [ OFF ]
Thursday  [ OFF ]    Friday    [ OFF ]     Saturday  [ OFF ]

00:00  [ OFF ]    01:00  [ OFF ]    02:00  [ OFF ]    03:00  [ OFF ]
04:00  [ OFF ]    05:00  [ OFF ]    06:00  [ OFF ]    07:00  [ OFF ]
08:00  [ OFF ]    09:00  [ OFF ]    10:00  [ OFF ]    11:00  [ OFF ]
12:00  [ OFF ]    13:00  [ OFF ]    14:00  [ OFF ]    15:00  [ OFF ]
16:00  [ OFF ]    17:00  [ OFF ]    18:00  [ OFF ]    19:00  [ OFF ]
20:00  [ OFF ]    21:00  [ OFF ]    22:00  [ OFF ]    23:00  [ OFF ]

-----  check system -----
MAIN CPU BUS                                          [    OK    ]
FAN                                                   [    OK    ]
INTAKE AIR TEMPERATURE                                [    OK    ]
EXHAUST AIR TEMPERATURE                               [    OK    ]
LAMP REMAIN TIME                                      [    OK    ]
LAMP STATUS                                           [    OK    ]
APERTURE(CONTRAST-SHUTTER)                            [    OK    ]
INTAKE AIR TEMP.SENSOR                                [    OK    ]
EXHAUST AIR TEMP.SENSOR                               [    OK    ]
BATTERY                                               [    OK    ]
AIR FILTER                                            [    OK    ]
(Error code 00 00 00 00 00 00 00 00)
```

●エラー時のメール送信例

エラーになったときはこのようなメールを発信します。

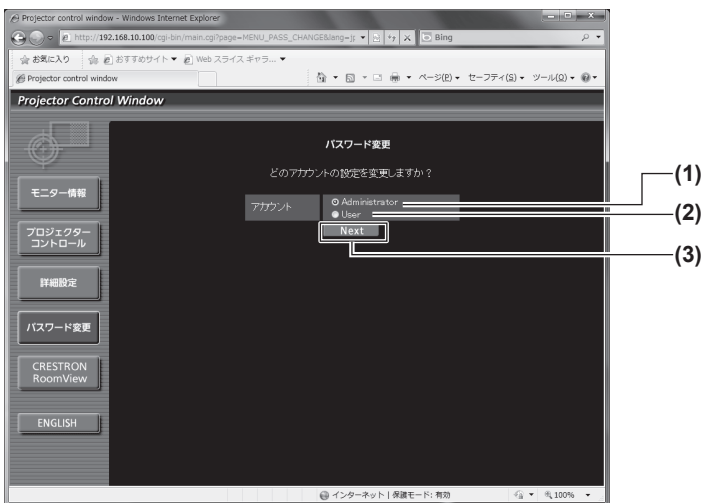
```
=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type         : LZ370
Serial No              : SC1234567

-----  check system -----
MAIN CPU BUS                                          [ FAILED ]
FAN                                                   [    OK    ]
INTAKE AIR TEMPERATURE                                [    OK    ]
EXHAUST AIR TEMPERATURE                               [    OK    ]
LAMP REMAIN TIME                                      [    OK    ]
LAMP STATUS                                           [    OK    ]
APERTURE(CONTRAST-SHUTTER)                            [    OK    ]
INTAKE AIR TEMP.SENSOR                                [    OK    ]
EXHAUST AIR TEMP.SENSOR                               [    OK    ]
BATTERY                                               [    OK    ]
AIR FILTER                                            [    OK    ]
(Error code 80 00 00 00 30 00 00 00)

Intake air temperature       : 27 degC /  80 degF
Exhaust air temperature     : 39 degC / 102 degF
PROJECTOR RUNTIME           2 H
LAMP  ON                       10 times
LAMP  ECO                        0 H
LAMP  NORMAL                     2 H
LAMP  REMAIN                 1998 H
-------- Current status ---------
MAIN VERSION                              1.00
NETWORK VERSION                           1.00
SUB VERSION                               1.00
LAMP STATUS                               LAMP=OFF
INPUT SIGNAL                              COMPUTER

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client                  OFF
IP address                   10.69.104.183
MAC address                  00:40:64:00:02:08

Fri Sep 30 19:52:37 2011
```

■[コマンドポート設定] ページ

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。
[詳細設定] → [コマンドポート設定] をクリックします。

(1) [コマンドポート]
コマンドコントロールで使用するポート番号を入力します。

(2) [コマンドポートのセット]
設定を更新します。

■ユーザー名 [パスワード変更] ページ

[パスワード変更] をクリックします。

(1) [Administrator]
[Administrator] (アドミニストレーター) の設定を変更する場合に選択します。

(2) [User]
[User] (ユーザー) の設定を変更する場合に選択します。

(3) [Next]
パスワードの設定を変更する画面を表示します。

● [Administrator] (アドミニストレーター) について

(1) [変更アカウント]
変更するアカウントが表示されます。

(2) [変更前] [ユーザー名]
変更前のユーザー名を入力します。

(3) [変更前] [パスワード]
変更前のパスワードを入力します。

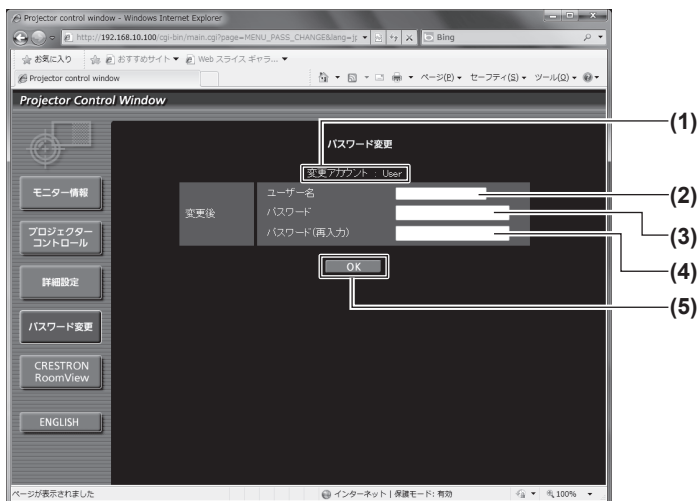
(4) [変更後] [ユーザー名]
変更後のユーザー名を入力します。(半角で 16 文字まで)

(5) [変更後] [パスワード]
変更後のパスワードを入力します。(半角で 16 文字まで)

(6) [変更後] [パスワード (再入力)]
変更後のパスワードを再度入力します。

(7) [OK]
パスワードの変更を確定します。

調整と設定

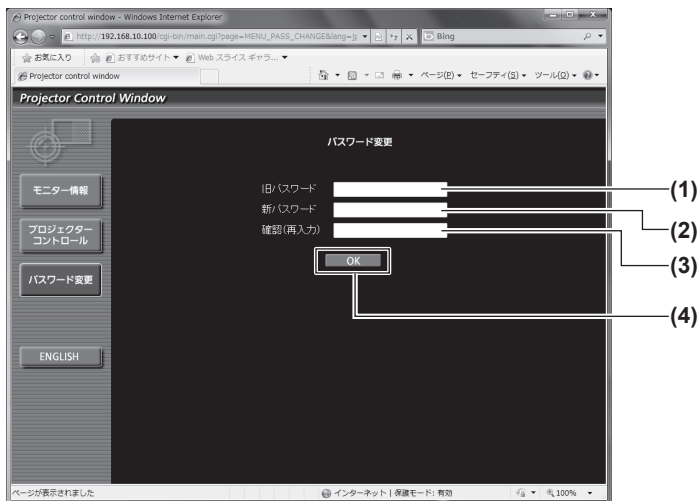
● ［User］（ユーザー）について

(1)［変更アカウント］
変更するアカウントが表示されます。

(2)［変更後］［ユーザー名］
変更後のユーザー名を入力します。（半角で 16 文字まで）

(3)［変更後］［パスワード］
変更後のパスワードを入力します。（半角で 16 文字まで）

(4)［変更後］［パスワード（再入力）］
変更後のパスワードを再度入力します。

(5)［OK］
パスワードの変更を確定します。

● ［パスワード変更］（ユーザー権限でアクセスした場合）
ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。

(1)［旧パスワード］
変更前のパスワードを入力します。

(2)［新パスワード］
変更後のパスワードを入力します。（半角で 16 文字まで）

(3)［確認（再入力）］
変更後のパスワードを再度入力します。

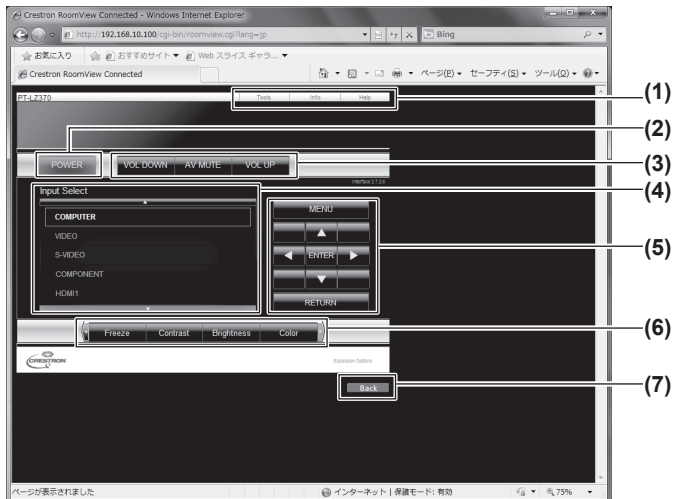
(4)［OK］
パスワードの変更を確定します。

お知らせ

● アドミニストレーターのアカウントを変更する場合は、［変更前］の［ユーザー名］と［パスワード］の入力が必要です。

■［CRESTRON RoomView］ページ

RoomView でプロジェクターの監視 / 制御を行うことができます。
Web コントロール画面から RoomView の操作ページを起動するには、アドミニストレーター権限でアクセスする必要があります。（ユーザー権限では、Web コントロール画面に［CRESTRON RoomView］ボタンが表示されません。）
［CRESTRON RoomView］をクリックすると、RoomView の操作ページが表示されます。
ご使用のコンピューターに Adobe Flash Player がインストールされていない場合、もしくは Flash に対応していないブラウザーでは表示されません。その場合、操作ページの［Back］をクリックして前のページに戻ってください。

●操作ページ

(1)［Tools］［Info］［Help］
プロジェクターの設定 / 情報 / ヘルプページに切り換えるタブです。

(2)［POWER］
電源の切 / 入を切り換えます。

(3)［VOL DOWN］［AV MUTE］［VOL UP］
音量 /AV ミュートの操作をします。
プロジェクターの電源が切れている場合、［VOL DOWN］［AV MUTE］［VOL UP］の操作はできません。

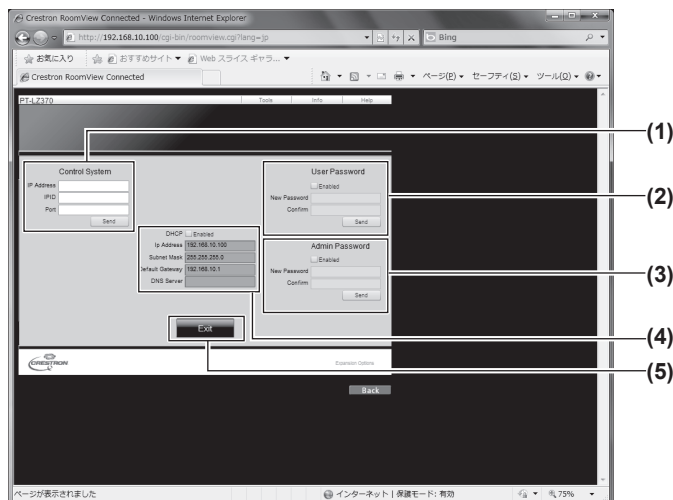
(4)［Input Select］
入力切り換えの操作をします。
プロジェクターの電源が切れている場合、操作はできません。

(5) メニュー画面の操作ボタン
メニュー画面の操作をします。

(6) フリーズ / 画質調整
フリーズ / 画質に関する項目の操作をします。

(7)［Back］
前のページへ戻る操作をします。

●［Tools］ページ

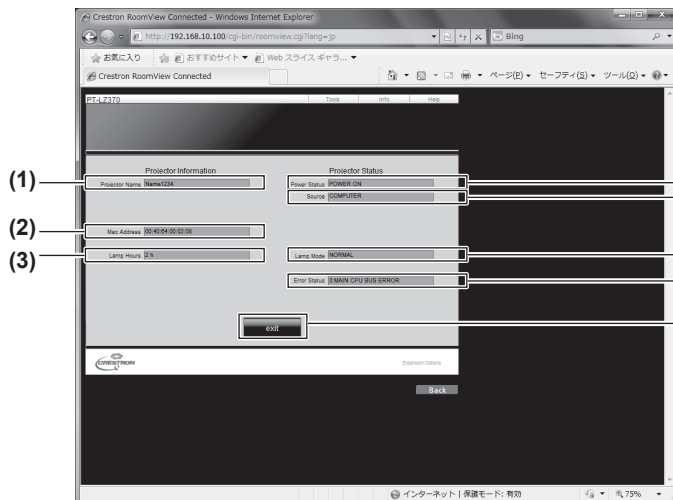
操作ページで［Tools］をクリックします。

(1)［Control System］
プロジェクターに接続するコントローラーとの通信に必要な情報を設定します。

(2)［User Password］
RoomView の操作ページ内でのユーザー権限パスワードを設定します。

(3)［Admin Password］
RoomView の操作ページ内でのアドミニストレーター権限パスワードを設定します。

(4) Network Status
有線 LAN の設定内容を表示します。
［DHCP］
　現在設定している値を表示します。
［Ip Address］
　現在設定している値を表示します。
［Subnet Mask］
　現在設定している値を表示します。
［Default Gateway］
　現在設定している値を表示します。
［DNS Server］
　現在設定している値を表示します。

(5)［Exit］
操作ページに戻ります。

●［Info］ページ
操作ページで［Info］をクリックします。

(1) ［Projector Name］
プロジェクター名を表示します。

(2) ［Mac Address］
MAC アドレスを表示します。

(3) ［Lamp Hours］
ランプの使用時間（換算値）を表示します。

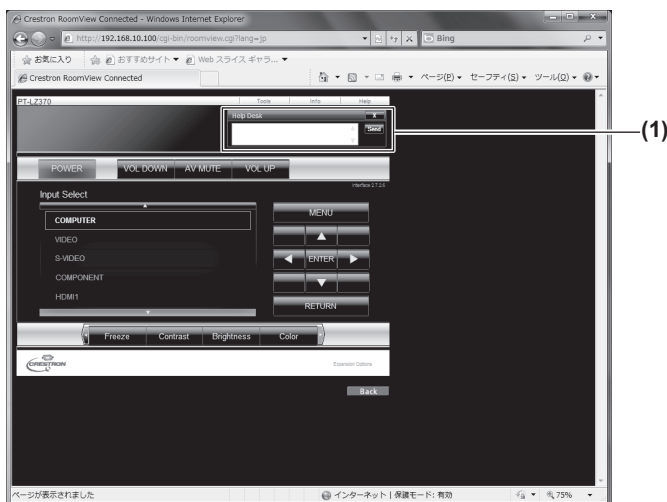
(4) ［Power Status］
電源の状態を表示します。

(5) ［Source］
選択している映像入力を表示します。

(6) ［Lamp Mode］
ランプモードを表示します。

(7) ［Error Status］
エラーの状態を表示します。

(8) ［exit］
操作ページに戻ります。

●［Help］ページ
操作ページで［Help］をクリックします。
［Help Desk］ウィンドウが表示されます。

(1) ［Help Desk］
Crestron RoomViewを利用する管理者に対してメッセージの送受信ができます。

ランプ / 温度インジケーター

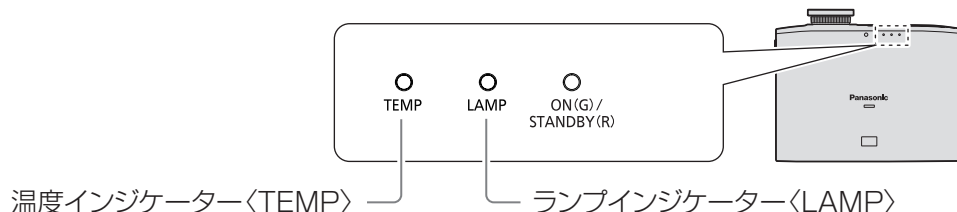
インジケーターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、ランプインジケーター〈LAMP〉·温度インジケーター〈TEMP〉のインジケーターが点灯や点滅でお知らせします。
インジケーターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い

- 処置を行う際に電源を切るときは、“電源を切る”（☞ 33 ページ）の手順を必ずお守りください。

お知らせ

- 電源の状態は、電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R)〉で確認してください。（☞ 31 ページ）

■ランプインジケーター〈LAMP〉

点灯状況	赤色点灯	赤色点滅	
状態	ランプユニットの交換時期を表示している（☞ 98 ページ）	ランプユニットの不具合、ランプ電源の異常、またはランプの破損などを検知しています。	
お調べください	● 本機の電源を入れたときに［ランプを交換してください。］という表示が出ませんでしたか。 ● ランプの使用時間（換算値）*1 が 2 800 時間に達すると点灯します。	● 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。	● ランプユニットの不具合、ランプ電源の異常、またはランプの破損などが発生しています。
処置方法	● ランプユニットを交換してください。	● 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから、主電源を切り、再度電源を入れ直してください。	● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にして(☞ 33ページ)、販売店にご相談ください。

*1： ランプの使用時間（換算値）はメニューの［プロジェクター設定］→［ランプ使用時間］（☞ 63 ページ）で表示されます。

お知らせ

- 上記の処置をしてもランプインジケーター〈LAMP〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

■温度インジケーター〈TEMP〉

点灯状況	● 投写中に赤色点灯 （投写画面に［取扱説明書の「温度インジケーター」をご覧ください。］と表示されます。） ● 電源オフの状態で赤色点滅（自動的に投写を中止）			
状態	周囲または内部が異常に高温になっている			
お調べください	● 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。	● 気温の高い所で使用していませんか。	● エアーフィルターユニットが目づまりしていませんか。	● 海抜 1 400 m 以上の場所で使用していませんか。
処置方法	● 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。	● 仕様で定められた周囲温度、周囲湿度の場所に設置してください。（☞ 113ページ）	● エアーフィルターユニットのお手入れ・交換を行ってください。（☞ 93ページ）	● 電源を入れてから約 2 分間のみ本体を動作させることができます。2 分以内に［高地モード］（☞ 62 ページ）を［オン］にしてください。

お知らせ

● 上記の処置をしても温度インジケーター〈TEMP〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行うときは、必ず電源を切ってください。（☞30、33 ページ）
- 電源を切るときは、“電源を切る”（☞ 33 ページ）の手順を必ずお守りください。

お手入れ

■外装ケース

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■レンズ

レンズにごみやほこりが付着すると、スクリーンにごみやほこりが拡大されて映ります。
レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お 願 い

- レンズはガラス部品です。堅いものに当てたり、強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

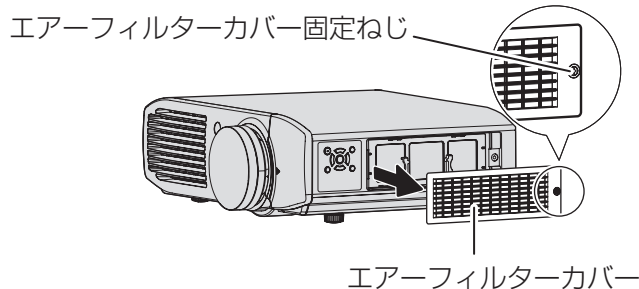
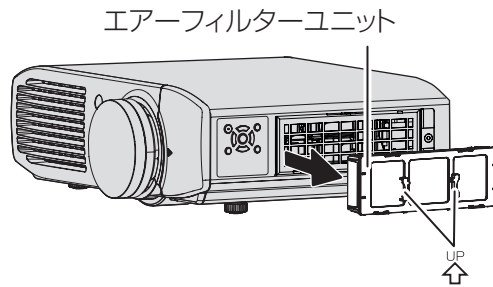
■エアーフィルターユニット

エアーフィルターユニットにほこりがたまり過ぎると、本機の内部温度を正常な状態に保てなくなります。画面上に確認メッセージが表示されるとともに温度インジケーター〈TEMP〉が赤色に点灯し、しばらくすると自動的に電源が切れます。そのときは掃除してください。

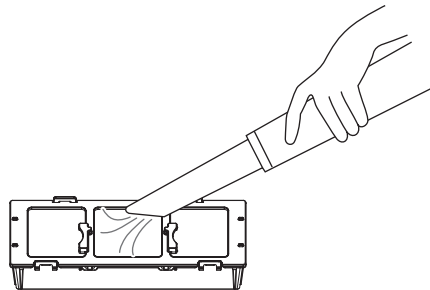
1）エアーフィルターカバーを取り外す

- エアーフィルターカバー固定ねじをプラスドライバーで空回りするまで回して、取り外してください。

点検と部品交換

2) エアーフィルターユニットを取り出す

● エアーフィルターユニットのつまみを持ち、プロジェクター本体からエアーフィルターユニットを引き出してください。

・エアーフィルターユニットを取り外したあとに、エアーフィルターユニット収納部およびプロジェクター側の吸気口に大きなごみ、ほこりがある場合は取り除いてください。

3) エアーフィルターユニットを掃除する

● 掃除機でほこりを吸い取ってください。

4) エアーフィルターユニットをプロジェクター本体に取り付ける

● 手順 2）の逆の手順で取り付けてください。

・エアーフィルター枠に刻印されている方向矢印（UP⇧）を確認して、エアーフィルターユニットをプロジェクターにカチッと音がするまで押し込んでください。

5) エアーフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付けて、プラスドライバーでエアーフィルターカバー固定ねじ（1 本）を締めつける

● 手順 1）の逆の手順で取り付けてください。

お 願 い

● エアーフィルターユニットは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。
● エアーフィルターユニットは水洗いしないでください。水洗いすると、ほこりの吸着能力が低下します。

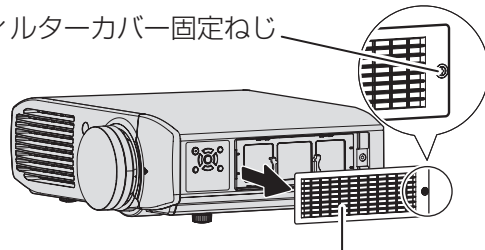
部品交換

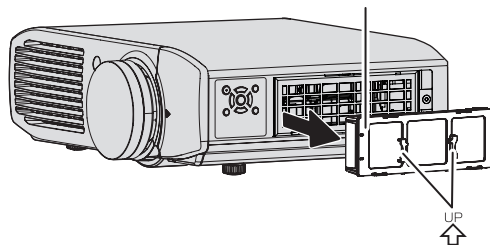
■エアーフィルターおよび静電フィルター

掃除をしてもほこりがとれなくなったら交換時期です。
交換用のエアーフィルター / 静電フィルター（TXFKN01RYNZP）は別売品です。（サービス部品扱い）
ご購入の際は販売店にご相談ください。
また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアーフィルターおよび静電フィルターも交換してください。
（交換用のランプユニット（ET-LAA110）には、エアーフィルターおよび静電フィルターが付属しています。）

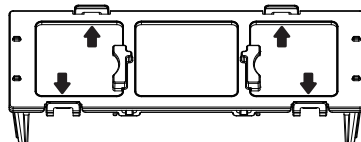
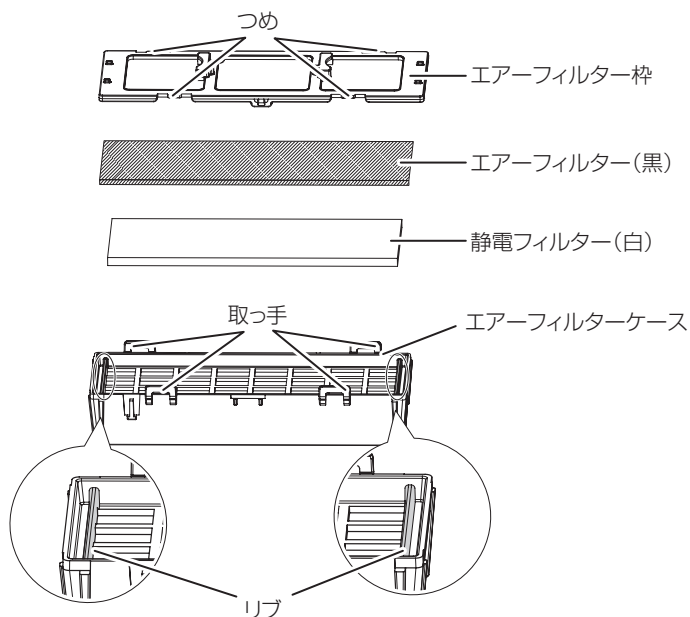
■エアーフィルターおよび静電フィルターの交換手順

1）エアーフィルターカバーを取り外す

● エアーフィルターカバー固定ねじをプラスドライバーで空回りするまで回し、取り外してください。

2）エアーフィルターユニットを取り出す

● エアーフィルターユニットのつまみを持ち、プロジェクターからエアーフィルターユニットを引き出してください。

・エアーフィルターユニットを取り外したあとに、エアーフィルターユニット収納部およびプロジェクター側の吸気口に大きなごみ、ほこりがある場合は取り除いてください。

3）本機から取り出したエアーフィルターユニットの突起を矢印の方向に押し、エアーフィルター枠を取り外す

4) エアーフィルター / 静電フィルターを交換する

- エアーフィルターユニットに入っているエアーフィルターと静電フィルターを新しいものに交換してください。
  - 静電フィルターとエアーフィルターの取り付け順番を間違えないようにご注意ください。

5) エアーフィルターユニットを組み立てる

- 先に静電フィルター（白）を、両端がリブに乗り上げないようにケースの中央に入れます。次にエアーフィルター（黒）を四隅がケース内に収まるように入れてから、エアーフィルター枠を取り付けます。
  - エアーフィルターがエアーフィルター枠とケースに挟まないようにご注意ください。
  - エアーフィルター枠とエアーフィルターケースには向きがありますので、つめと突起を合わせてください。エアーフィルター枠を取り付ける場合は、4 つのつめがカチッと音がするまで、エアーフィルターケースの突起にしっかり嵌合していることをご確認ください。

6) エアーフィルターユニットをプロジェクターに取り付ける

- 手順 2）と逆の手順でエアーフィルターユニットをプロジェクターに取り付けます。
  - エアーフィルター枠に刻印されている方向矢印（UP）を確認して、エアーフィルターユニットをプロジェクターにカチッと音がするまで押し込んでください。

7) エアーフィルターカバーを取り付け、エアーフィルターカバー固定ねじ（1 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける

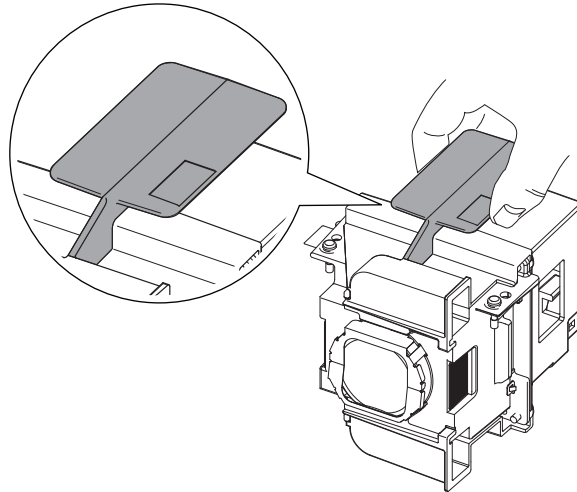
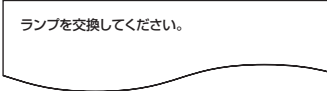
■ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。交換時期については、“ランプユニットの交換時期”（☞ 98 ページ）をご覧ください。
交換用ランプユニット（ET-LAA110：サービス部品扱い）をご購入の際は、販売店にご相談ください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う

カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

■ランプユニットの交換上のお願い

- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットを分解したり、改造したりしないでください。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。

- ランプは破裂することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また、本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お 願 い

- 必ず、指定のランプユニットを使用してください。

■ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 3 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、3 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めの交換用ランプユニットの準備をお勧めします。
3 000 時間 *1 を過ぎても交換しないまま使用すると、ランプが破裂する可能性が高くなるため、約 10 分後に自動的に電源が切れます。

	オンスクリーン表示 ランプを交換してください。	ランプインジケーター LAMP
2 800*1 時間以降	30 秒間表示されます。30 秒以内に本体操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
3 000*1 時間以降	いずれかのボタンを押すまで、メッセージは表示されたままです。	

*1： メニューの［プロジェクター設定］→［ランプ使用時間］（☞ 63 ページ）で表示されるランプの使用時間（換算値）です。

お知らせ

- ランプの交換時期を予測するには、［プロジェクター設定］の［ランプ使用時間］（☞ 63 ページ）で表示されるランプの使用時間（換算値）をご確認ください。
- 3 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については“保証とアフターサービス”（☞ 115 ページ）をご覧ください。

■ランプユニットの交換手順

お 願 い

- ランプユニットの交換時期 3 000 時間（ランプの使用時間（換算値））を超えた場合は、電源を入れてから約 10 分間のみ本機を作動させることができます。（☞ 98 ページ）
  手順 **14）～ 17）**の操作を 10 分以内に行ってください。
- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業しないでください。
- 天面パネルはランプ交換以外は開けないようにしてください。
- 天面パネルを開けた状態で本機を使用しないでください。
- ランプユニット交換時には、必ずエアーフィルターと静電フィルターも交換してください。
- ランプユニットやランプカバーは確実に取り付けてください。

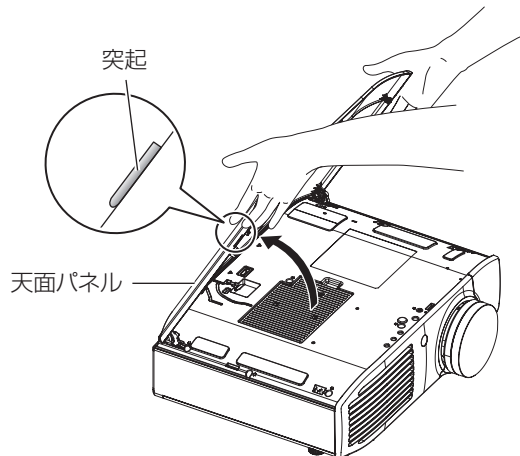
1）“電源を切る”（☞ 33 ページ）の手順を守り、主電源〈MAIN POWER〉スイッチの〈OFF〉側を押して電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する

2）接続端子部に接続している映像ケーブルを取り外す

お 願 い

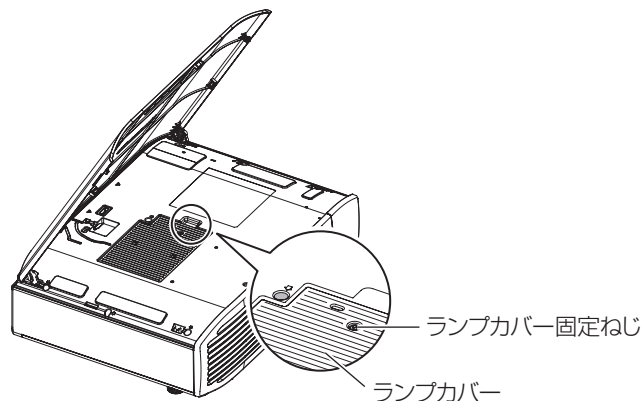
- 天面パネルを開き切ると映像ケーブルなどのコネクタ部分などに接触して映像ケーブルなどを傷つけることがあります。天面パネルを開くときは接続している映像ケーブルなどを取り外してから、天面パネルを開くようにしてください。

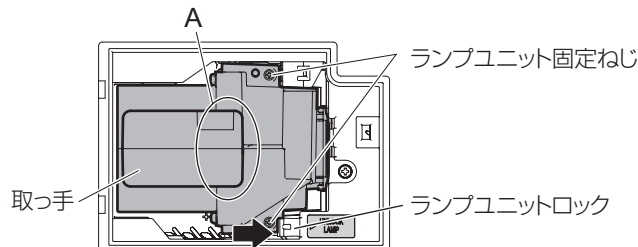
3）プロジェクターの天面パネルの左右前側の突起を持ち、天面パネルを開く

● 天井に取り付けている場合は、プロジェクターのレンズ側に立って天面パネルの開閉を行ってください。

お願い

● 天面パネルを開き過ぎないようにご注意ください。天面パネルがはずれてしまった場合は、“天面パネルの取り付けかた”（☞ 100 ページ）をご覧ください。

4）ランプカバー固定ねじ（1 本）をプラスドライバーで空回りするまで回して、ランプカバーを取り外す

● ランプカバーは、ゆっくりとプロジェクターから取り外してください。

5）ランプユニット固定ねじ（2 本）をプラスドライバーで空回りするまで回す

6）ランプユニットロックを矢印の方向に押しながら、ランプユニットの取っ手を持って、ゆっくりとプロジェクターから垂直方向に引き出す

7）新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじ（2 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける

● 挿入時、特に A 部をよく押し込んでください。

8) ランプカバーを取り付け、ランプカバー固定ねじ（1 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける

9) プロジェクターの天面パネルを閉める
- 手順 3）と逆の手順で天面パネルを閉め、天面パネルの中央部を押します。

10)接続端子部に 2）で外した映像ケーブルを接続する

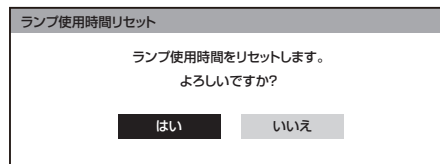
11)エアーフィルターと静電フィルターを交換する
- 交換方法については、“エアーフィルターおよび静電フィルターの交換手順”（☞ 95 ページ）をご覧ください。

12)電源プラグをコンセントに差し込んで、主電源〈MAIN POWER〉スイッチの〈ON〉側を押して電源を入れる

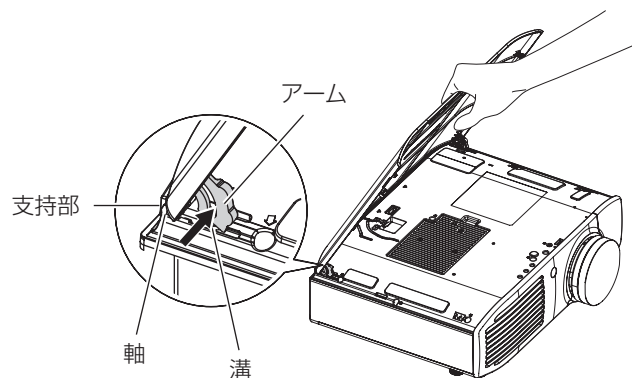
13)プロジェクター本体操作部またはリモコンの電源〈⏻/|〉ボタンを押し、映像投写を開始する

14)〈MENU〉ボタンを押してメニュー画面を表示させ、▲▼ボタンで［プロジェクター設定］を選択する

15)〈ENTER〉ボタンを押し、▲▼ボタンで［ランプ使用時間］の項目を選択する

16)〈ENTER〉ボタンを約 3 秒間押し続ける
- ［ランプ使用時間リセット］確認メッセージが表示されます。

17)◀ ▶ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- ランプの使用時間（換算値）が 0 にリセットされ、電源が切れます。しばらくするとスタンバイ状態になります。

■天面パネルの取り付けかた

天面パネルを下図のように持って軸を支持部に合わせ、アームを矢印（本体内側）方向に押しながら溝に押し込む

故障かな！？

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にしていませんか。	33
	● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● ランプインジケーター〈LAMP〉または温度インジケーター〈TEMP〉が点灯または点滅していませんか。	91、92
	● ランプユニットは確実に取り付けられていますか。	98
映像がでない	● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。	27
	● 入力切り換えは正しく選択されていますか。	36
	● ［明るさ］の調整が最小になっていませんか。	44
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	36
	● レンズカバーが取り付けられたままではありませんか。	32
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	34
	● 投写距離は適切ですか。	22
	● レンズが汚れていませんか。	13
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	—
色が薄い / 色あいが悪い	● ［色の濃さ］は正しく調整されていますか。	44
	● ［色あい］は正しく調整されていますか。	44
	● 本体に接続している機器は正しく調整されていますか。	27
音声が出ない	●〈AUDIO IN〉端子は正しく接続されていますか。	19
	● 音量調整が最小になっていませんか。	38
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	36
	● ［音声設定］の［音声入力選択］を確認してください。	67
リモコンがはたらかない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	20
	● リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。	17
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	17
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	17
	● ［操作設定］の［リモコン］の設定が［無効］になっていませんか。	72
	● ID ナンバーの設定の操作を間違えていませんか。	20
本体操作部のボタンがはたらかない	● ［操作設定］の［本体操作部］の設定が［無効］になっていませんか。	72
正常な映像が映らない	● ［TV システム］の選択は正しく行われていますか。	49
	● ［RGB/YC$_B$C$_R$］、［RGB/YP$_B$P$_R$］の選択は正しく行われていますか。	50
	● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	110

症状	ここをお調べください	ページ
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。（10 m 以下にしてください。） ● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。 – 例：「Fn」＋「F3」キーを同時に押すと、外部出力設定が切り換わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。	— 57
HDMI 対応機器の映像が出ない、乱れる	● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。 ● 本体の電源および接続機器の電源を切 / 入してください。 ● 本機が対応できない信号が入力されていませんか？	29 30 110
HDMI 対応機器の音声がでない	● 外部接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。 ●［音声設定］の［音声入力選択］を確認してください。 ● HDMI ケーブル接続で音声がでない場合は、〈AUDIO IN〉端子を使用してください。	— 67 19
電源ボタンを押していないのに投写を始める	● メニューの［プロジェクター設定］→［起動方法］が［オンスタート］に設定されていませんか。 ● 前回使用時に、投写中に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にして終了しませんでしたか。 – メニューの［プロジェクター設定］→［起動方法］を［ラストメモリー］に設定していて、前回使用時にダイレクトパワーオフ機能（☞ 33 ページ）を使用して終了した場合、主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈ON〉にすると投写を開始します。 ● 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にした直後に電源〈⏻/│〉ボタンを押していませんか。 – メニューの［プロジェクター設定］→［起動方法］を［ラストメモリー］に設定していて、電源オフ状態から主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にした直後に電源〈⏻/│〉ボタンを押した場合、次回使用時に主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈ON〉にしただけで投写を開始することがあります。 – 主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にした後、電源インジケーター〈ON（G）/STANDBY（R）〉が赤色に点灯または点滅している間は、リモコンまたは本体操作部の電源〈⏻/│〉ボタンを押さないでください。	62 32 —

お 願 い

● 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。（☞ 115 ページ）

付録

PJLink プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してコンピューターからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態問い合わせの操作ができます。

■対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

<table>
<tr><th>コマンド</th><th>制御内容</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>POWR</td><td>電源制御</td><td>パラメーター
0= スタンバイ
1= 電源入</td></tr>
<tr><td>POWR?</td><td>電源状態問い合わせ</td><td>パラメーター
0= スタンバイ　1= 電源入
2= クーリング中　3= ウォームアップ中</td></tr>
<tr><td>INPT</td><td>入力切り換え</td><td rowspan="2">パラメーター
11=COMPUTER　21=VIDEO
22=S-VIDEO　23=COMPONENT
31=HDMI 1　32=HDMI 2</td></tr>
<tr><td>INPT?</td><td>入力切り換え問い合わせ</td></tr>
<tr><td>AVMT</td><td>AV ミュート制御</td><td rowspan="2">パラメーター
30=AV ミュート機能オフ
31=AV ミュート機能オン</td></tr>
<tr><td>AVMT?</td><td>AV ミュート状態問い合わせ</td></tr>
<tr><td>ERST?</td><td>エラー状態問い合わせ</td><td>パラメーター
1 バイト目：ファンエラーを意味し、0 ～ 2 のいずれか
2 バイト目：ランプエラーを意味し、0 ～ 2 のいずれか
3 バイト目：温度エラーを意味し、0 ～ 2 のいずれか
4 バイト目：0 固定
5 バイト目：フィルター警告を意味し、0 ～ 2 のいずれか
6 バイト目：その他のエラーを意味し、0 ～ 2 のいずれか
0 ～ 2 の各意味は下記のとおり
0= エラーを検知していない　1= 警告　2= エラー</td></tr>
<tr><td>LAMP?</td><td>ランプ状態問い合わせ</td><td>パラメーター
1 つ目の数字（1 ～ 5 桁）：ランプ使用時間
2 つ目の数字：0= ランプ消灯、1= ランプ点灯</td></tr>
<tr><td>INST?</td><td>入力切り換え一覧問い合わせ</td><td>パラメーターは下記の値を応答します
「11 21 22 23 31 32」</td></tr>
<tr><td>NAME?</td><td>プロジェクター名問い合わせ</td><td>［ネットワーク］の［プロジェクター名変更］で設定した名称を応答します</td></tr>
<tr><td>INF1?</td><td>メーカー名問い合わせ</td><td>「Panasonic」と応答します</td></tr>
<tr><td>INF2?</td><td>機種名問い合わせ</td><td>「LZ370」と機種名を応答します</td></tr>
<tr><td>INFO?</td><td>その他情報問い合わせ</td><td>バージョン番号などを応答します</td></tr>
<tr><td>CLSS?</td><td>クラス情報問い合わせ</td><td>「1」と応答します</td></tr>
</table>

■PJLink セキュリティー認証

PJLink で使用するパスワードは、WEB ブラウザーコントロールで設定したパスワードと同じです。
認証なしで使用する場合は、WEB ブラウザーコントロールのパスワードをなしに設定してください。

- PJLink に関する仕様については、（社）ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。
  URL http://pjlink.jbmia.or.jp/

LAN 経由の制御コマンドについて

■WEB コントロールアドミニストレーター権限パスワード設定時（プロテクトモード）

●接続方法

1）プロジェクターの IP アドレスとポート番号（初期設定値 =1024）を取得してプロジェクターへ接続を要求する

IP アドレスはプロジェクター本体のメニュー画面から、ポート番号は WEB コントロールページから取得できます。

IP アドレス	メインメニュー→［ネットワーク］→［ステータス］から取得
ポート番号	WEB コントロールの［詳細設定］→［コマンドポート設定］ページから取得

2）プロジェクターからの応答を確認する

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
“NTCONTROL” （ASCII 文字列）	‘ ’ 0x20	‘1’ 0x31	‘ ’ 0x20	“zzzzzzzz” （ASCII コード 16 進数）	（CR） 0x0d
9 bytes	1 byte	1 byte	1 byte	8 bytes	1 byte

モード：1= プロテクトモード

3）MD5 アルゴリズムを用いて以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成する

“xxxxxx:yyyyy:zzzzzzzz”

xxxxxx	WEB コントロールのアドミニストレーター権限ユーザー名（デフォルトのユーザー名は “admin1”）
yyyyy	上記アドミニストレーター権限ユーザーのパスワード（デフォルトのパスワードは “panasonic”）
zzzzzzzz	手順 **2）**で取得した 8 バイトの乱数

●コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー			データ部	終端記号
ハッシュ値 （“接続方法”（☞104ページ））	‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	制御コマンド （ASCII 文字列）	（CR） 0x0d
32 bytes	1 byte	1 byte	不定長	1 byte

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	制御コマンド （ASCII 文字列）	（CR） 0x0d
1 byte	1 byte	不定長	1 byte

エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
“ERR1”	未定義の制御コマンド	（CR） 0x0d
“ERR2”	パラメーター範囲外	
“ERR3”	ビジー状態または受け付け不可期間	
“ERR4”	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
“ERR5”	データ長不正	
“ERRA”	パスワード不一致	
4 bytes		1 byte

■WEBコントロールアドミニストレーター権限パスワード非設定時（非プロテクトモード）

●接続方法

1) プロジェクターのIPアドレスとポート番号（初期設定値＝1024）を取得してプロジェクターへ接続を要求する

IPアドレスはプロジェクター本体のメニュー画面から、ポート番号はWEBコントロールページから取得できます。

IPアドレス	メインメニュー→［ネットワーク］→［ステータス］から取得
ポート番号	WEBコントロールの［詳細設定］→［コマンドポート設定］ページから取得

2) プロジェクターからの応答を確認する

応答データ

データ部	空白	モード	終端記号
“NTCONTROL” （ASCII文字列）	‘ ’ 0x20	‘0’ 0x30	（CR） 0x0d
9 bytes	1 byte	1 byte	1 byte

モード：0＝非プロテクトモード

●コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	制御コマンド （ASCII文字列）	（CR） 0x0d
1 byte	1 byte	不定長	1 byte

受信データ

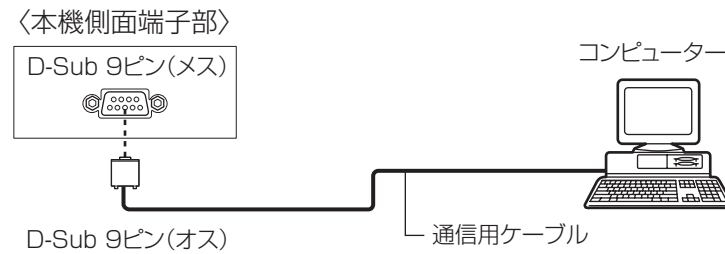
ヘッダー		データ部	終端記号
‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	制御コマンド （ASCII文字列）	（CR） 0x0d
1 byte	1 byte	不定長	1 byte

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
“ERR1”　未定義の制御コマンド “ERR2”　パラメーター範囲外 “ERR3”　ビジー状態または受け付け不可期間 “ERR4”　タイムアウトまたは受け付け不可期間 “ERR5”　データ長不正 “ERRA”　パスワード不一致	（CR） 0x0d
4 bytes	1 byte

〈SERIAL〉端子について

本機の接続端子部の〈SERIAL〉端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御できます。

■接続

■ピン配列と信号名

<table>
<tr><th rowspan="10">D-Sub 9 ピン（メス）
外側から見た図

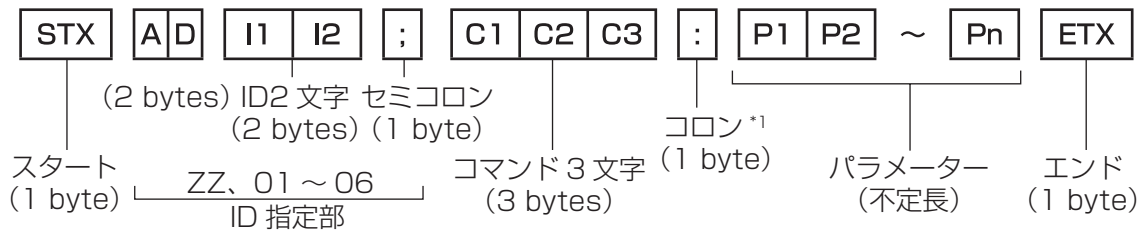
(6) → (9)
(1) → (5)</th><th>ピン No.</th><th>信号名</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>(1)</td><td>—</td><td>NC</td></tr>
<tr><td>(2)</td><td>TXD</td><td>送信データ</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td>RXD</td><td>受信データ</td></tr>
<tr><td>(4)</td><td>—</td><td>NC</td></tr>
<tr><td>(5)</td><td>GND</td><td>グラウンド</td></tr>
<tr><td>(6)</td><td>—</td><td>NC</td></tr>
<tr><td>(7)</td><td>CTS</td><td rowspan="2">内部で接続されています</td></tr>
<tr><td>(8)</td><td>RTS</td></tr>
<tr><td>(9)</td><td>—</td><td>NC</td></tr>
</table>

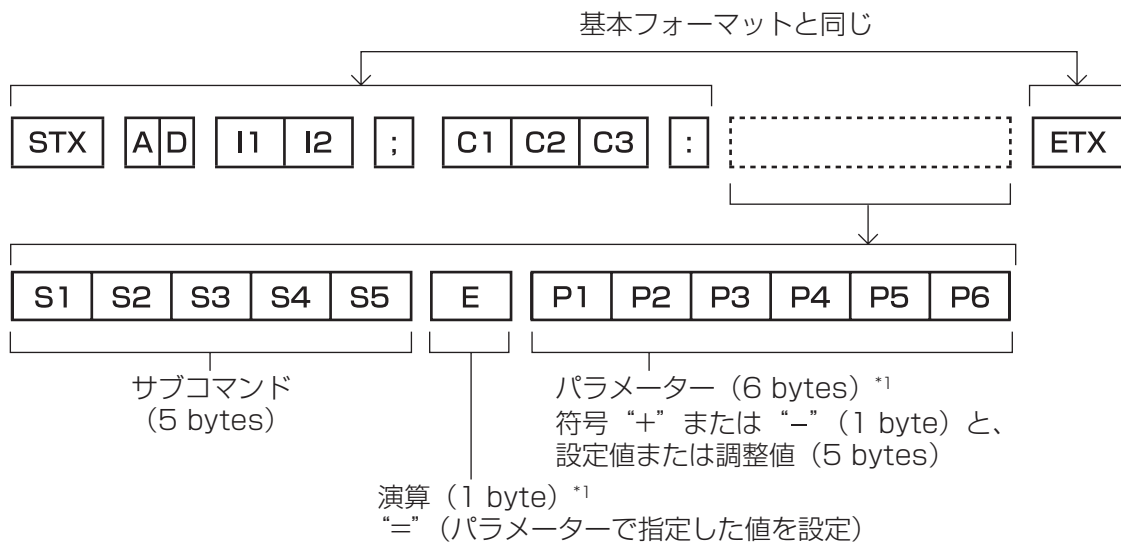
■通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

*1： パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（：）は必要ありません。

■基本フォーマット（サブコマンドあり）

*1： パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、演算（E）とパラメーターは必要ありません。

お 願 い

- ランプ点灯開始直後にコマンドを送信すると、応答が遅く返ってきたり、コマンドが実行できなかったりすることがあります。60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。

お知らせ

- PT-F300/PT-FW300 などと同様の ID 指定部のないフォーマットの使用も可能です。
- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がコンピューター側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がコンピューター側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は ZZ（オール）と 01 ～ 06 の対応になっています。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみコンピューターへの応答を返します。
  - 本機の［プロジェクター ID］（☞ 61 ページ）と一致した場合
  - 本機の［プロジェクター ID］（☞ 61 ページ）が［オール］の場合
- STX と ETX はキャラクターコードです。STX は 16 進数で表すと 02、ETX は 16 進数で表すと 03 となります。

■ケーブル仕様

●コンピューターと接続する場合

■制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

●操作コマンド

コマンド	内容	備考（パラメーター）		
PON	電源入	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。		
POF	電源切	ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約 85 秒経過しないと点灯制御を開始しません。		
AVL	音量	（パラメーター） 000（調整値 0）～ 063（調整値 63）		
IIS	入力信号切り換え	（パラメーター） VID= ビデオ HD1=HDMI 1	 SVD=S ビデオ HD2=HDMI 2	 RG1= コンピューター YUV= コンポーネント
Q$S	ランプ点灯状態問い合わせ	（コールバック） 0= スタンバイ 1= ランプ点灯制御中 2= ランプ点灯 3= ランプ消灯制御中		
OSH	AV ミュート機能	映像と音声を一時的に消します。 コマンドを送信するごとにオン / オフが切り換わります。（☞ 36 ページ） 短時間でのオン / オフの切り換えは行わないでください。		

メニューロックパスワードについて

パスワードを初期設定に戻す場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表のとおりです。

対応信号	信号名表示	解像度（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数（MHz）	フォーマット*1	プラグアンドプレイ対応	
			水平（kHz）	垂直（Hz）			コンピューター	HDMI
NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60	—	720 × 480i	15.7	59.9	—	V/S	—	—
PAL/PAL-N/SECAM	—	720 × 576i	15.6	50.0	—	V/S	—	—
525i（480i）	480i	720 × 480i	15.7	59.9	13.5	R/Y	—	—
625i（576i）	576i	720 × 576i	15.6	50.0	13.5	R/Y	—	—
525p（480p）	480p	720 × 483	31.5	59.9	27.0	R/Y/H	—	✓
625p（576p）	576p	720 × 576	31.3	50.0	27.0	R/Y/H	—	✓
750（720）/60p	720/60p	1 280 × 720	45.0	60.0	74.3	R/Y/H	—	✓
750（720）/50p	720/50p	1 280 × 720	37.5	50.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1125（1080）/60i	1080/60i	1 920 × 1 080i	33.8	60.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1125（1080）/50i	1080/50i	1 920 × 1 080i	28.1	50.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1125（1080）/24p	1080/24p	1 920 × 1 080	27.0	24.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1125（1080）/60p	1080/60p	1 920 × 1 080	67.5	60.0	148.5	R/Y/H	—	✓
1125（1080）/50p	1080/50p	1 920 × 1 080	56.3	50.0	148.5	R/Y/H	—	✓
VESA400	VGA85	640 × 400	37.9	85.1	31.5	R	—	—
VGA	VGA70	640 × 400	31.5	70.1	25.2	R	—	—
	VGA60	640 × 480	31.5	59.9	25.2	R/H	✓	✓
	VGA67	640 × 480	35.0	66.7	30.2	R	—	—
	VGA73	640 × 480	37.9	72.8	31.5	R	—	—
	VGA75	640 × 480	37.5	75.0	31.5	R	—	—
	VGA85	640 × 480	43.3	85.0	36.0	R	—	—
SVGA	SVGA56	800 × 600	35.2	56.3	36.0	R	—	—
	SVGA60	800 × 600	37.9	60.3	40.0	R/H	✓	✓
	SVGA72	800 × 600	48.1	72.2	50.0	R	—	—
	SVGA75	800 × 600	46.9	75.0	49.5	R	—	—
	SVGA85	800 × 600	53.7	85.1	56.3	R	—	—
MAC16	MAC16	832 × 624	49.7	74.6	57.3	R	—	—
XGA	XGA50	1 024 × 768	39.6	50.0	51.9	R	—	—
	XGA60	1 024 × 768	48.4	60.0	65.0	R/H	✓	✓
	XGA70	1 024 × 768	56.5	70.1	75.0	R/H	✓	✓
	XGA75	1 024 × 768	60.0	75.0	78.8	R/H	✓	✓
	XGA85	1 024 × 768	68.7	85.0	94.5	R/H	—	—
MXGA	MXGA70	1 152 × 864	64.0	70.0	94.2	R	—	—
	MXGA75	1 152 × 864	67.5	74.9	108.0	R	—	—
	MXGA85	1 152 × 864	77.1	85.0	120.0	R	—	—
MAC21	MAC21	1 152 × 870	68.7	75.1	100.0	R	—	—
1280 × 720	1280 × 720/50	1 280 × 720	37.1	49.8	60.5	R/H	—	—
	1280 × 720/60	1 280 × 720	44.8	59.9	74.5	R/H	✓	—
1280 × 768	1280 × 768/50	1 280 × 768	39.6	49.9	65.3	R/H	—	—
	1280 × 768/60	1 280 × 768	47.8	59.9	79.5	R/H	—	—
1280 × 800	1280 × 800/50	1 280 × 800	41.3	50.0	68.0	R	—	—
	1280 × 800/60	1 280 × 800	49.7	59.8	83.5	R	✓	—

その他

対応信号	信号名表示	解像度（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数（MHz）	フォーマット*1	プラグアンドプレイ対応	
			水平（kHz）	垂直（Hz）			コンピューター	HDMI
MSXGA	MSXGA60	1 280 × 960	60.0	60.0	108.0	R	—	—
SXGA	SXGA60	1 280 × 1 024	64.0	60.0	108.0	R/H	✓	✓
	SXGA75	1 280 × 1 024	80.0	75.0	135.0	R	—	—
	SXGA85	1 280 × 1 024	91.1	85.0	157.5	R	—	—
SXGA+	SXGA+60	1 400 × 1 050	64.0	60.0	108.0	R	—	—
	SXGA+60	1 400 × 1 050	65.2	60.0	122.6	R/H	✓	✓
	SXGA+75	1 400 × 1 050	82.2	75.0	155.9	R	—	—
WXGA+	WXGA+60	1 440 × 900	55.9	59.9	106.5	R	✓	—
UXGA	UXGA60	1 600 × 1 200	75.0	60.0	162.0	R/H	✓	✓
WSXGA+	WSXGA+60	1 680 × 1 050	65.3	60.0	146.3	R	—	—
1920 × 1080	1920 × 1080/60	1 920 × 1 080 *2	66.6	59.9	138.5	R/H	✓	—
	1920 × 1080/50	1 920 × 1 080	55.6	49.9	141.5	R/H	—	—
WUXGA	WUXGA60RB	1 920 × 1 200 *2	74.0	60.0	154.0	R	—	—

*1： フォーマットを表す記号は下記のとおりです。
V：ビデオ
S：S ビデオ
R：RGB
Y：YC_BC_R/YP_BP_R
H：HDMI
*2： VESA CVT-RB（Reduced Blanking）準拠。

お知らせ

- PT-LZ370 の表示ドット数は、1 920 × 1 080 です。
  解像度が異なる信号は、表示ドット数に変換されて表示されます。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

仕様

本機の仕様は下表のとおりです。

品番		PT-LZ370
使用電源		AC100 V　50 Hz/60 Hz
消費電力		100 V 350 W（4.2 A）
		［ECO マネージメント］の［スタンバイモード］を［ECO］に設定時 0.08 W ［ECO マネージメント］の［スタンバイモード］を［ノーマル］に設定時 7 W ［音声設定］の［スタンバイ時動作］を［オン］に設定時 10 W
液晶パネル	サイズ	0.74 型 LCD（アスペクト比 16：9）
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式
	駆動方式	アクティブマトリクス方式
	画素数	2 073 600 画素 （1 920 × 1 080 ドット）× 3 枚
レンズ		マニュアルズーム（2 倍）・フォーカス F 2.0 ～ 3.4、f 21.5 mm ～ 43.0 mm
光源ランプ		280 W UHM ランプ
光出力 *1		3 000 lm
対応走査周波数 *2	RGB 信号時	水平 15.6 kHz ～ 91.1 kHz　垂直 24.0 Hz ～ 85.1 Hz PIAS（Panasonic Intelligent Auto Scanning）方式
		ドットクロック周波数 162 MHz 以下
	YC_BC_R/YP_BP_R 信号時	[525i（480i）]　水平 15.75 kHz　垂直 60.0 Hz [525p（480p）]　水平 31.5 kHz　垂直 60.0 Hz [750（720）/60p]　水平 45.0 kHz　垂直 60.0 Hz [1125（1080）/60i]　水平 33.75 kHz　垂直 60.0 Hz [1125（1080）/60p]　水平 67.5 kHz　垂直 60.0 Hz [625i（576i）]　水平 15.63 kHz　垂直 50.0 Hz [625p（576p）]　水平 31.25 kHz　垂直 50.0 Hz [750（720）/50p]　水平 37.5 kHz　垂直 50.0 Hz [1125（1080）/50i]　水平 28.13 kHz　垂直 50.0 Hz [1125（1080）/50p]　水平 56.25 kHz　垂直 50.0 Hz [1125（1080）/24p]　水平 27.0 kHz　垂直 24.0 Hz ●3 値 SYNC には対応していません。
	ビデオ信号時 （S ビデオ含む）	水平 15.75 kHz/15.63 kHz 垂直 50.0 Hz/60.0 Hz
	HDMI 信号時	525p（480p）、625p（576p）、750（720）/60p、750（720）/50p、 1125（1080）/60i、1125（1080）/50i、1125（1080）/60p、 1125（1080）/50p、1125（1080）/24p ●表示可能解像度：VGA ～ UXGA（ノンインターレース） ●ドットクロック周波数：25.2 MHz ～ 162.0 MHz
カラー方式		7 方式（NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60）
投写画面サイズ		40 ～ 300 型
画面アスペクト比		16：9
投写方式		フロント天つり / フロント床置き / リア天つり / リア床置き
コントラスト比 *1		10 000：1（全白 / 全黒）

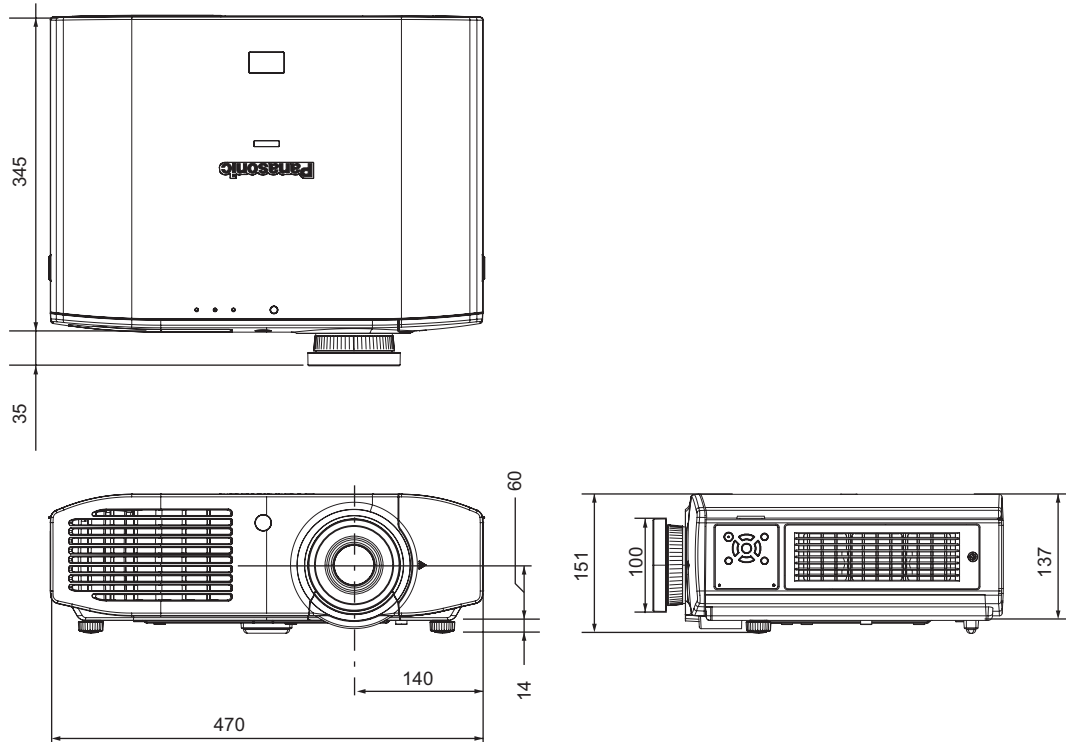
*1： 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。
*2： 本機が投写できる映像信号について詳しくは、“対応信号リスト”（☞ 110 ページ）をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2">品番</th><th>PT-LZ370</th></tr>
<tr><td rowspan="11">接続端子</td><td>〈COMPUTER IN〉端子</td><td>1 系統　高密度 D-Sub 15 p（メス）
[RGB 信号]　0.7 V [p-p] 75 Ω（SYNC ON GREEN 時　1.0 V [p-p] 75 Ω）
SYNC/HD　TTL ハイインピーダンス　正 / 負極性自動対応
VD　TTL ハイインピーダンス　正 / 負極性自動対応
[YP_BP_R 信号]　Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P_BP_R：0.7 V [p-p] 75 Ω</td></tr>
<tr><td>〈COMPONENT IN〉端子</td><td>1 系統　RCA ピンジャック　3 本
Y：　1.0 V [p-p] 同期信号を含む 75 Ω
P_B/C_B, P_R/C_R　0.7 V [p-p] 75 Ω</td></tr>
<tr><td>〈VIDEO IN〉端子</td><td>1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω</td></tr>
<tr><td>〈S-VIDEO IN〉端子</td><td>1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応</td></tr>
<tr><td>〈HDMI IN 1〉/
〈HDMI IN 2〉端子</td><td>2 系統 HDMI 19 ピン（HDCP、Deep color 対応）
音声信号：リニア PCM（サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz）</td></tr>
<tr><td>〈SERIAL〉端子</td><td>1 系統 D-Sub 9 p RS-232C 準拠 コンピューター制御用</td></tr>
<tr><td>〈AUDIO IN〉端子</td><td>1 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上</td></tr>
<tr><td>〈AUDIO OUT〉端子</td><td>1 系統 M3 ステレオミニジャック（モニター出力、ステレオ対応可）
0 V [rms] ～ 2.0 V [rms]（可変）、出力インピーダンス 2.2 k Ω以下</td></tr>
<tr><td>〈LAN〉端子</td><td>1 系統　RJ-45　ネットワーク接続用　PJLink 対応　10Base-T/100Base-TX</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源コードの長さ</td><td>2.0 m</td></tr>
<tr><td colspan="2">外装ケース</td><td>樹脂成型品</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>横幅：470 mm 高さ：151 mm（脚最小時）奥行：380 mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約 8.6 kg *3</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用環境条件</td><td>使用環境温度 *4：0℃～ 40℃
使用環境湿度：20% ～ 80%（結露のないこと）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">リモコン</td><td>使用電源</td><td>DC 3 V（単 3 形乾電池 2 コ）</td></tr>
<tr><td>操作距離</td><td>約 15 m（受信部正面）</td></tr>
<tr><td>質量</td><td>117 g（乾電池含む）</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td>横幅：48 mm 高さ：163 mm 奥行：24.5 mm</td></tr>
</table>

*3：平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
*4：高地（海抜 1 400 m ～ 2 700 m）で使用する場合、使用環境温度は 0℃～ 35℃になります。

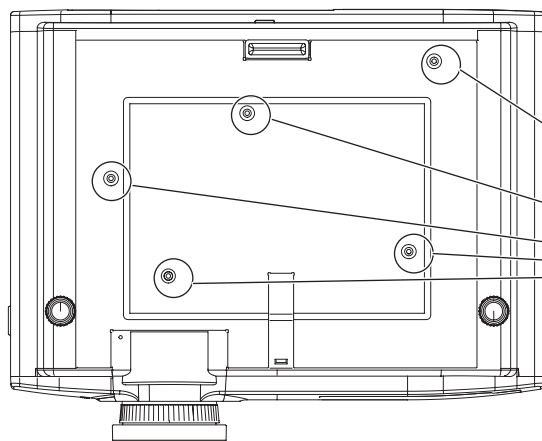
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
 (This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

外形寸法図

＜単位：mm＞

天つり金具取り付け時の注意事項

- 本製品を天井に取り付ける場合は、当社指定の天つり金具（品番:ET-PKA110H（高天井用)、ET-PKA110S（低天井用)）を使用してください。
- 工事は専門の技術者にご依頼ください。
- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門の技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーまたは、六角トルクレンチを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 詳しくは、天つり金具の工事説明書をお読みください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

天つり金具品番： ET-PKA110H（高天井用）
ET-PKA110S（低天井用）

保証とアフターサービス　よくお読みください

故障・修理・お取扱い・メンテナンス などのご相談は、まず、 **お買い上げの販売店** へ、お申し付けください。	お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、パナソニックプロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。 * 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* ただし、光源ランプは 6 ヵ月またはランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間 8 年

当社では、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。
* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
品番	PT-LZ370
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら　0120-872-601　**受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）**
9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00

URL：http://panasonic.biz/projector/

* 書面や電話 /FAX でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがございます。
* お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

さくいん

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。

EU

パナソニック株式会社　プロジェクタービジネスユニット

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号　 電話 0120-872-601

W0112NN0 -YI